

資料 2 - 2

津市

## 令和 5 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 市町別総合評価シート

## 1. 基礎情報「令和 5 年度版三重県市町要覧」「令和 4 年度版森林・林業統計書」による

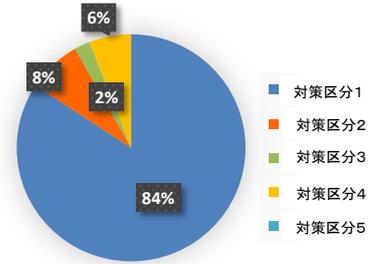
市町名	津市	三重県
人口 (人)	269,973	1,731,863
年少人口割合 (%) * 1	11.8%	11.6%
森林面積 (ha)	41,532.42	372,030.08
民有林面積 (ha) * 2	40,791.91	348,561.87
森林率 (%)	58.0%	64.0%
都市公園面積 (㎡/人口) * 3	7.9	10.6

\* 1 : 全人口に占める15歳未満の人の割合

\* 2 : 国有林以外の森林 (個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。)

\* 3 : 都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合



## 2. 令和 5 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠・加算枠) 事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額 (円) (当年度交付金額 + 基金活用額)							
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立	
1	1	津市林地残材搬出促進事業	28,250,500	28,250,442	28,250,442						
2	2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	10,190,278	2,547,570		2,547,570					
3	3	津市森林環境教育事業	483,688	483,688			483,688				
4	3	美里水源の森「林業体験」事業	251,600	250,000			250,000				
5	4	子育て支援センターにおける木育環境整備事業	432,300	432,300				432,300			
6	4	コミュニティ施設における木育環境整備事業	1,916,343	1,564,000				1,564,000			
計			41,524,709	33,528,000	28,250,442	2,547,570	733,688	1,996,300	0	0	

## 3. 令和 5 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金 (連携枠) (防災枠) 事業実績

事業区分	事業量 (ha・m)	事業費 (円)	内交付金充当額 (円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	58.82ha	36,848,900	36,848,900	特定水源地域の森林の調整伐
森林再生力強化対策事業	6,998m	5,680,907	5,680,907	獣害防護柵設置
災害からライフラインを守る事前伐採事業	伐採137本 植栽244本	10,190,278	2,547,569	ライフラインを寸断する恐れのある立木の伐採

## 4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針
<ul style="list-style-type: none"> <li>本市の森林面積は、総面積711km<sup>2</sup>の58.4%にあたる415km<sup>2</sup>を占めており、人工林率は82%と古くからスギ、ヒノキの造林が盛んに行われている森林が多い。一方で、高速道路や鉄道、海上アクセスなど交通インフラ、大学や短期大学など高等教育機関、大学病院等の医療機関など県都として都市機能が集積されていることから、流域の上流のみならず、下流の市民の方々も森林の恩恵を受けている。</li> <li>上流から下流の市民の生命と財産を守るため、森林に対して直接県民税を投じて災害に強い森林づくりを図るとともに、下流域の市民の方々にターゲットとした森林環境教育事業、木育環境整備事業等を併せて進めていく。</li> </ul>
事業実施により期待される効果
<ul style="list-style-type: none"> <li>林地残材の減少により河川への流出危険性が減少し、減災効果が得られた。また、バイオマス発電燃料として未利用材の有効活用が進んだ。</li> <li>直接木に触れることや、森林のはたらきについて学ぶことで、循環可能な資源である木材を利用する意義を知るとともに、森林の持つ公益的機能の理解を深めることができ、森を育む人としてのきっかけづくりの場を提供することができた。</li> <li>木育ができる環境整備を行い、木に触れあっていただくことで、木のぬくもりや質感を感じ、木づくりに興味関心を持っていただくことが期待できる。</li> </ul>
情報発信への取組
<ul style="list-style-type: none"> <li>事業実施箇所については、税ののぼり旗により啓発を行った。</li> <li>県民税の活用についてホームページや広報誌等に掲載した。</li> <li>森林環境教育の参加者の募集方法として、「夏休み森と緑の親子塾」「まると林業体験」は広報津を活用し、広く募集に関する周知を図った。</li> <li>アンケートを行い、次回以降の取組へ反映する。</li> <li>市町交付金事業のパネルを市役所庁舎及び県津庁舎に掲示し、PRを行った。</li> </ul>

第 11 号様式 (その 1) (参考資料)

## 令和 5 年度森林環境譲与税事業の実績

事業 番号	事業カテゴリー	事業費	
		(千円)	内、譲与税 (千円)
1	② 意向調査	38,863	38,863
2	② 意向調査	35,332	35,332
3	③ 私有林整備	59,696	59,696
4	③ 私有林整備	6,652	6,652
5	⑯ その他 (木材・普及啓発関係)	1,500	1,500
6	⑩ 専門員の雇用	5,023	5,023
7			
8			
9			
10			
	合計	147,066	147,066

## 【記載要領】

ア. 事業カテゴリーの欄は下記の項目から該当するものを選択し記載するものとする。

事業カテゴリーの項目
① 意向調査の準備作業
② 意向調査
③ 私有林整備
④ 公有林整備(財産区有林含む)
⑤ 森林保護対策
⑥ 林道・林専道の整備等
⑦ その他(森林整備)
⑧ 担い手確保
⑨ 林業就業者の育成
⑩ 専門員の雇用
⑪ 新たな組織の設立
⑫ その他(人材育成等)
⑬ 木造公共建築物の整備等
⑭ 木質バイオマス利用推進
⑮ 森林・林業・木材普及活動等
⑯ その他(木材・普及啓発関係)
⑰ 基金積立(森林整備等)
⑱ 基金積立(人材育成等)
⑲ 基金積立(木材利用等)
⑳ 基金積立(執行残額等)

第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

## 令和 5 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	1. 土砂や流木による被害を出さない森林づくり	市町名	津市	新規・継続の別	継続
番号	事業名				
1	津市林地残材搬出促進事業				
事業費	28,250,500 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			28,250,442	0	58

1. 事業の目的					
<p>間伐等で発生する林地残材等が豪雨時に河川を閉塞させる流木の発生原因となることを防ぐため、採算の合いくい林地からの搬出・運搬に関し、間伐施業地から山土場、山土場からチップ工場への搬出経費を支援することにより林地残材の減少を図り、河川等へ流出を防ぐことで流木を出さない災害に強い森林づくりを進める。</p> <p>また、搬出された林地残材については、津市バイオマス産業都市構想に位置付けられている木質バイオマス事業へ有効活用し、再生可能エネルギーの推進を図る。</p>					
2. 事業実績概要					
【事業内容】					
間伐施業地から山土場まで、及び、山土場からチップ工場までの搬出経費の一部を支援する。					
【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】					
津市内の木質バイオマス発電証明ガイドライン認定事業者15者					
【実施個所及び箇所数】					
中勢森林組合 津市白山町藤地内ほか					
木原造林株式会社美杉事務所 津市芸濃町河内地内					
大河内林産 津市美杉町奥津地内					
woodjob株式会社 津市美杉町上多気地内ほか					
【事業量】					
林地残材搬出量	5,741 t	中勢森林組合	4,351 t		
		木原造林(株)美杉事務所	1,300 t		
		大河内林産	20 t		
		woodjob(株)	70 t		
3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】					
【事業実施により期待される効果】					
林地残材の減少を図ることにより、河川等に林地残材が流出する危険性が減少し、また、認定事業者や森林所有者の山をきれいにしようとする意識の向上が期待できる。併せて、放置された間伐材等の林地残材の有効利用が図られるとともに、再生可能エネルギーの利用が促進される。					
【効果を発揮させるための工夫・取組】					
流木を出さない災害に強い森林づくりが目的であるため、事業者には可能な限り、河川や沢に近い箇所を重点的に搬出するよう、口頭にてお願いしている。					
【新たな対策・視点及び改善点】					
より一層多くの業者が本事業に取り組むよう、ホームページやチラシを作成し、事業の周知に努める。					

## 令和 5 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	1. 土砂や流木による被害を出さない森林づくり	市町名	津市	新規・継続の別	継続
番号	事業名				
1	津市林地残材搬出促進事業				
事業費	28,250,500 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			28,250,442	0	58

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】				
【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】				
①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
補助事業	その他	定額補助	間伐施業地→山土場上限5,120円/t 山土場→チップ工場上限960円/t	津市内の木質バイオマス発電証明ガイドライン認定事業者15者
【委託先及び補助対象者等の選定理由】				
間伐材を適正に仕分け及び証明等を行うことができる、木質バイオマス発電証明ガイドライン認定事業者を補助対象者としている。				
【主な経費内訳】 (別紙のとおり)				
5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】				
【受益者及び、期待する波及効果】				
受益者	森林所有者及び下流域の住民			
期待する波及効果	林地残材を搬出して整理することにより巡視等が行いやすくなり、森林管理の意欲向上に繋がることが期待できる。このことにより、将来的に森林の有する多面的機能の発揮を促すことができる。			
【公的関与の必要性】				
林内に残される林地残材を放置することにより想定される林野災害を防止するためには、事業負担の軽減を図る必要があり、地域住民の不安解消という観点においても非常に重要な取り組みである。 また、津市バイオマス産業都市構想におけるバイオマスエネルギー原料として有効活用している。				
【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】				
規制は設けていないが、森林所有者が引き続き適切な管理を行う。				
6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】				
【情報発信の内容】				
手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）		
HP掲載	実施前・中・後	県民税の活用及び事業内容について掲載		
のぼり設置	実施中	林地残材を搬出している現場に設置した。		
パネル展示	実施前・中・後	市庁舎や県庁舎で県民税による取組に関するパネルを設置した。		
7. 写真及びその他資料				
別紙のとおり				
8. その他特記事項（受益者の反応等）				
津市バイオマス産業都市構想に合致する取り組みである。 森林所有者や事業者から、本事業を行ったことで山がきれいになった、災害を防ぐ為に続けていく必要がある、との意見をいただいている。				



## 第11号様式（その2）（評価委員会資料）

対策区分	1. 土砂や流木による被害を出さない森林づくり	市町名	津市	新規・継続の別	継続
------	-------------------------	-----	----	---------	----

事業名	津市林地残材搬出促進事業
-----	--------------

## 7の(1). 写真



写真1

林地残材除去後の森林



写真2

林地残材集積状況



写真3

林地残材の積込状況（山土場）



写真4

林地残材の積込状況（山土場）



写真5

林地残材の積込状況（山土場）



写真6

林地残材の搬入状況（チップ工場）

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

令和 5 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	津市	新規・継続の別	継続
番号	事業名				
2	災害からライフラインを守る事前伐採事業				
事業費	10,190,278 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			2,547,570	0	7,642,708

1. 事業の目的
台風等で発生した倒木による配電線の断線等による停電は、市民生活や行政の防災機能に大きな支障を及ぼし、災害後の処理作業には多大な労力とコスト、危険が伴うことから、ライフラインを寸断する恐れのある危険木の事前伐採を行うことで、未然に災害防止策を講じることを目的としている。
2. 事業実績概要
<p>【事業内容】</p> <p>津市美杉町川上地内における電線路を寸断の恐れがある立木の伐倒整理</p> <p>【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】</p> <p>津市</p> <p>【実施個所及び箇所数】</p> <p>1 箇所 (美杉町川上地内) 約0.294ha</p> <p>【事業量】</p> <p>伐採 1 3 7 本</p> <p>植栽 2 4 4 本</p>
3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】
<p>【事業実施により期待される効果】</p> <p>台風などの倒木被害によりライフラインを寸断する恐れのある危険木の事前伐採を行うことで、ライフラインを守り、安全・安心の暮らしを確保する。</p> <p>【効果を発揮させるための工夫・取組】</p> <p>市道の通行止を行う必要があった為、地元の自治会において通行止及び事前伐採事業に関する文書を回覧していただき、地元の方々の御理解、御協力を求めた。また、事業実施箇所の上流に位置する三重大学附帯施設演習林にも、通行止及び事前伐採事業について周知、説明をした。</p> <p>【新たな対策・視点及び改善点】</p> <p>令和 6 年度に美杉町川上地内を実施することにより、当初計画に挙がっていた箇所が一段落するため、今後の候補地の選定をライフライン事業者及び三重県と検討していく必要がある。</p>

## 令和 5 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	津市	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
2	災害からライフラインを守る事前伐採事業					
事業費	10,190,278 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			2,547,570	0	7,642,708	

## 4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

## 【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	林業事業者	補助事業ではない		ライフライン事業者1/2、みえ森と緑の県民税市町交付金（防災枠）1/4、みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）1/4

## 【委託先及び補助対象者等の選定理由】

指名競争入札による選定（伐採等の事業を安全かつ確実に完遂できる、林業の専門的な知識と高い技術が求められることから、津市競争入札参加資格者名簿に登録されている業者の内、認定林業事業者の3者を指名。）

## 【主な経費内訳】

（別紙のとおり）

## 5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

## 【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	事業実施箇所の周辺住民
期待する波及効果	台風時における倒木を起因とする停電の未然防止

## 【公的関与の必要性】

当該事業は住民の生活に密着したライフラインを保全する地域密着型の事業であることから、津市が事業主体となり、県、市、ライフライン事業者の三者で協議して、事前伐採に取り組む。

## 【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

規制は設けていないが、森林所有者が引き続き適切な管理を行う。

## 6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

## 【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
HP掲載	実施前・中・後	本事業が県民税を活用して実施していることを周知した。
のぼり設置	実施中	事業実施箇所において、税ののぼり旗により啓発を行った。
パネル展示	実施前・中・後	市庁舎や県庁舎で県民税による取組に関するパネルを設置した。
アンケート実施	実施中	当該事業に係る文書を美杉地域の自治会に送付

## 7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

## 8. その他特記事項（受益者の反応等）

地元の方々から、断線の恐れが軽減された、見栄えが良くなったとの声をいただいている。



## 第11号様式(その2)(評価委員会資料)

対策区分	2.暮らしに身近な森林づくり	市町名	津市	新規・継続の別	継続
------	----------------	-----	----	---------	----

事業名	災害からライフラインを守る事前伐採事業
-----	---------------------

## 7の(1).写真



写真1

災害からライフラインを守る事前伐採事業  
(美杉町川上地内 実施前)



写真2

災害からライフラインを守る事前伐採事業  
(美杉町川上地内 実施中)



写真3

災害からライフラインを守る事前伐採事業  
(美杉町川上地内 実施中)



写真4

災害からライフラインを守る事前伐採事業  
(美杉町川上地内 実施中)



写真5

災害からライフラインを守る事前伐採事業  
(美杉町川上地内 実施後)



写真6

災害からライフラインを守る事前伐採事業  
(美杉町川上地内 実施後)

第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

## 令和 5 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	津市	新規・継続の別	継続
番号	事業名				
3	津市森林環境教育事業				
事業費	483,688 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			483,688	0	0

## 1. 事業の目的

【森と緑の親子塾】市内在住・在学の小学生と保護者を対象に、森林や木材について学び、ふれあう場を提供して、木のぬくもりや良さを知ってもらう。

【まるごと林業体験】一般の方を対象に森林や林業について現場での体験を通して正しく理解してもらい、森林に携わる人材を育てていく。

## 2. 事業実績概要

## 【事業内容】

【森と緑の親子塾】木工体験 (プランター・本立て等)、林業体験 (丸太切り・丸太皮むき)

【まるごと林業体験】高性能林業機械による搬出間伐の現場見学、マイ箸づくり、間伐体験

## 【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】

津市

## 【実施個所及び箇所数】

森と緑の親子塾：1回

まるごと林業体験：1回

## 【事業量】

森と緑の親子塾：1回、45名

まるごと林業体験：1回、13名

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

## 【事業実施により期待される効果】

参加者が森林環境教育を通じて、森林・林業に興味を持ち理解を深めることで、将来的に森林を支える一員として寄与することが期待される。

## 【効果を発揮させるための工夫・取組】

広報誌を活用して、イベント開催の周知を図った。また、イベント時には、みえ森づくりサポートセンターより「森のはたらき」パネルを借用し、森林への理解を深めることを図った。

## 【新たな対策・視点及び改善点】

アンケート調査によると、木材の加工や利用方法を知りたい、植樹をしてみたいという意見が多かったため、今後のイベントの内容について検討していく必要がある。

## 令和 5 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	津市	新規・継続の別	継続
番号	事業名				
3	津市森林環境教育事業				
事業費	483,688 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			483,688	0	0

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】				
【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】				
①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	林業事業体	補助事業ではない		親子塾：美杉木材協同組合 まるとと：中勢森林組合
【委託先及び補助対象者等の選定理由】				
夏休み森と緑の親子塾：津市競争入札参加資格者名簿において森林に関する希望を出している者のうち、「三重県木材業者・製材業者会員名簿」に登録されている4者から選定。				
まるとと林業体験：津市競争入札参加資格者名簿において森林に関する希望を出している者のうち、認定林業事業体である3者から選定。				
【主な経費内訳】 (別紙のとおり)				
5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】				
【受益者及び、期待する波及効果】				
受益者	参加者（58名）			
期待する波及効果	森林・林業に対する理解を深める効果（参加者家族への波及効果が期待される。）			
【公的関与の必要性】				
森林の公益的価値や機能を学ぶ森林環境教育は、人材育成だけでなく、国土の2/3を占める森林が身近で大切な資産であり、守り育てることの大切さを理解してもらう上で、非常に重要である。				
【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】				
体験学習の開催であり、該当しない。				
6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】				
【情報発信の内容】				
手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）		
のぼり設置	実施中	実施箇所に設置。		
広報誌掲載	実施前	「広報つ」に県民税の活用及び募集案内を掲載。		
HP掲載	実施前・後	県民税の活用事業、募集案内、実施報告を掲載。		
アンケート実施	実施後	参加者アンケートを実施。		
パネル展示	実施前・中	サポートセンターからパネルを借り、会場に展示。		
啓発物品配布	実施中	クリアファイル、リーフレット、副読本を配布。		
その他	実施前	森林教室の開催について、三重県が企画するラジオ番組で告知を実施。		
7. 写真及びその他資料				
別紙のとおり				
8. その他特記事項（受益者の反応等）				
アンケートを実施した結果、概ね良い評価をいただいた。				



第11号様式(その2)(評価委員会資料)

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	津市	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	----	---------	----

事業名	津市森林環境教育事業
-----	------------

## 7の(1). 写真



写真1

親子塾：パネル展示状況



写真2

親子塾：木工体験



写真3

親子塾：丸太切り体験



写真4

まるごと：搬出間伐の現場見学



写真5

まるごと：マイ箸づくり



写真6

まるごと：間伐体験

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

## 令和 5 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり		市町名	津市	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
4	美里水源の森「林業体験」事業					
事業費	251,600 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			250,000	0	1,600	

## 1. 事業の目的

美里水源の森の水源涵養林等を活かしながら、自然や環境保全を学べる場として市内の小学生を対象に、野外体験や林業体験を通して自然や森林・林業の魅力を感じてもらい、森林に対する理解を深める。

## 2. 事業実績概要

## 【事業内容】

平成26年度から平成30年度にかけて市町交付金を活用して整備した美里水源の森をフィールドとして自然に親しむ市民の憩いの場、青少年の自然・環境体験学習の場として、市内在学の小学生を対象に、林業体験（シイタケ菌打ち、植樹）を実施。

## 【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

長野川流域環境保全協議会

## 【実施個所及び箇所数】

美里水源の森「林業体験」：1回 「きのこづくり体験と植樹体験」3月17日開催

## 【事業量】

美里水源の森「林業体験」：1回 市内在学の幼稚園・小学生と保護者4組9名

## 3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

## 【事業実施により期待される効果】

きのこづくり体験：シイタケの菌打ち体験を通じて、森のはたらきや、森と人との関わり、林業や産業への理解を深めることができた。また実のなる木の植樹も実施し、植物に触れ生活の関わりについて考えることができた。

## 【効果を発揮させるための工夫・取組】

市内の小中学校すべてに案内を行い、幅広く参加者を募集している。

## 【新たな対策・視点及び改善点】

美里水源の森の自然環境に触れることができるような森林環境教育を今後も実施する。

## 令和 5 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり		市町名	津市	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
4	美里水源の森「林業体験」事業					
事業費	251,600 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			250,000	0	1,600	

## 4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

## 【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
負担金	その他	補助事業ではない		長野川流域環境保全協議会

## 【委託先及び補助対象者等の選定理由】

協議会が主体となって行う森林環境教育事業の費用を市が一部負担して、協議会が実施することで、水源の森の活用を進めてきており、令和 5 年度においても、同様に実施した。

## 【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

## 5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

## 【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	参加者（9人）
期待する波及効果	森林・林業に対する理解を深める効果（参加者の家族への波及効果が期待できる。）

## 【公的関与の必要性】

森林の公益的価値や機能を学ぶ森林環境教育は、人材育成だけでなく、国土の2/3を占める森林を身近で大切な資産であり、守り育てることの大切さを理解していただく上で、非常に重要である。

## 【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

体験学習の開催であり、該当しない。

## 6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

## 【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
チラシ等配布	実施前	市内の小学4、5年生の児童の保護者へチラシを配布し、イベント開催の周知を図る。
のぼり設置	実施中	のぼりを設置し、県民税事業を啓発する。
HP掲載	実施後	美里水源の森専用のHPを作成し、事業のPRを行う。
広報誌掲載	実施後	地域広報誌でイベントの内容について掲載した。
パネル展示	実施後	市町交付金事業のパネルを庁舎（白山）に掲示し、PRを行っている。

## 7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

## 8. その他特記事項（受益者の反応等）

参加者からは、普段できない体験で楽しかった。また機会があれば、ぜひ参加したい。との声をいただいている。



第11号様式(その2)(評価委員会資料)

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	津市	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	----	---------	----

事業名	美里水源の森「林業体験」事業
-----	----------------

7の(1). 写真



写真1

県民税 旗



写真2

きのこづくり体験



写真3

きのこづくり体験



写真4

きのこづくり体験



写真5

植樹



写真6

植樹

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

## 令和 5 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	津市	新規・継続の別	継続
番号	事業名				
5	子育て支援センターにおける木育環境整備事業				
事業費	432,300 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			432,300		

1. 事業の目的
桜橋子育て支援センターに木製遊具や木製幼児用机を導入し、みえ森林教育ステーション整備支援事業と連携して、0歳から就園前の子どもと保護者が木のぬくもりや質感を学べる場を創出することを図る。
2. 事業実績概要
<p>【事業内容】</p> <p>桜橋子育て支援センターに木製遊具や木製幼児用机を導入する。</p> <p>【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】</p> <p>津市</p> <p>【実施個所及び箇所数】</p> <p>桜橋子育て支援センター</p> <p>【事業量】</p> <p>木製遊具 1 台、木製幼児用机 2 台</p>
3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】
<p>【事業実施により期待される効果】</p> <p>桜橋子育て支援センターにおいて親子で木に触れ合っていたくことで、木のぬくもりや質感を感じ、木に興味をもっていただくことが期待できる。また、みえ森林教育ステーション整備支援事業の認定を受けて、来場者の親子を対象に、木育活動が継続的に行われることが期待できる。</p> <p>【効果を発揮させるための工夫・取組】</p> <p>みえ森林教育ステーションに認定されている安濃子育て支援センターで10月に、桜橋子育て支援センターにおいて11月にそれぞれ木育を目的として、みえ森づくりサポートセンターから大型遊具を借用し、1週間程度の木育週間を設け、親子で木に触れながら遊べるイベントを開催。今年度はより多くの方に利用いただくことができた。また、日々の運営の中で実施している手遊び、読み聞かせの時間に、木や森等をテーマとしたものを定期的実施することで、本事業で導入した遊具等と合わせて、木に対して興味を持ってもらえるよう継続して取り組む。</p> <p>【新たな対策・視点及び改善点】</p> <p>市内で3か所目となるみえ森林教育ステーションを芸濃子育て支援センターに設置予定のため、みえ森林教育ステーションの認定を受けた各子育て支援センターで木育を実施する環境づくりを行い、より多くの未就園児と保護者を対象とした木育を進めていく。</p>

## 令和 5 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	津市	新規・継続の別	継続
番号	事業名				
5	子育て支援センターにおける木育環境整備事業				
事業費	432,300 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			432,300		

## 4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

## 【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
物品購入	木工製造業者	補助事業ではない		

## 【委託先及び補助対象者等の選定理由】

当該木製遊具は、「津の木と遊び、津の木と育つ」をコンセプトに、学校法人高田学苑高田短期大学で、保育を学ぶ学生たちが保育園・幼稚園などで使う遊具として自由な発想でデザインした、乳幼児の木育に適切な物品であり、また木製幼児用机は、三重県が普及する「みえの木育製品カタログ」に掲載されているもので、親子でのままごと遊びに活用できる木育に適切な物品であり、使用する木材は共に三重県産材であるため。

## 【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

## 5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

## 【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	桜橋子育て支援センターを利用する親子（不特定） 参考：R5年4月～11月の利用者数（月平均）1007.4人
期待する波及効果	支援センターでの木育により個々の家庭への波及効果も期待できる。

## 【公的関与の必要性】

導入した物品については市のHPに掲載することで周知を図り、また日々の手遊びの時間や、毎月のイベントなどでも県民税を活用し導入された物品として紹介することで、利用率向上を目指している。

## 【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

導入した物品には県民税のシールを貼り、森林教育ステーションに設置しており、転用や目的外使用は想定されない。また森林教育ステーションとしての活動として、年に1回の木育イベント、日々の手遊び等の時間に木や森等をテーマとしたものを定期的実施することとしている。

## 6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

## 【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
HP掲載	実施後	木製品を導入後、HPで導入したことをPR
ロゴマーク掲示 (シール・プレート等)	実施後	木製品に県民税のシールや焼印を掲示
パネル展示	実施前・中・後	市庁舎や県庁舎で県民税による取組に関するパネルを設置する。
その他	実施後	日々の手遊び時間やイベント開催時に木製品導入について県民税を活用した取組であることをアナウンスした。

## 令和 5 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり		市町名	津市		新規・継続の別	継続
番号	事業名						
5	子育て支援センターにおける木育環境整備事業						
事業費	432,300 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金		その他	
			432,300				
7. 写真及びその他資料							
別紙のとおり							
8. その他特記事項（受益者の反応等）							
導入された木製品は、利用者に非常に好評で、小さなお子さんと保護者が導入された木製遊具で遊ぶ姿や、木製幼児用机で仲良くまごとをしながら楽しそうに遊ぶ姿がみられている。木の匂いがとても気持ちよく、利用者からもリラックスできるという声が聞かれている。							

## 第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	津市
事業名	子育て支援センターにおける木育環境整備事業		

## 4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単 位	数 量	単 価	金 額	備 考
桜橋子育て支援センター	木製遊具	式	1.00	220,000	220,000	地域材使用
桜橋子育て支援センター	木製幼児用机	台	2.00	86,500	173,000	地域材使用
				小計	393,000	
				消費税	39,300	10%
			合計		432,300	

第11号様式(その2)(評価委員会資料)

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	津市	新規・継続の別	新規
------	-------------------	-----	----	---------	----

事業名	子育て支援センターにおける木育環境整備事業
-----	-----------------------

## 7の(1). 写真



写真1  
森林教育ステーションに導入された木製遊具



写真2  
森林教育ステーションに導入された木製幼児用机



写真3  
木製遊具に貼り付けた県民税のシール



写真4  
導入された机で遊ぶ親子



写真5  
「ころんころんころん」のお話



写真6  
どんぐりくりくりまつぼっくりの手遊び

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

## 令和 5 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	津市	新規・継続の別	新規
番号	事業名				
6	コミュニティ施設における木育環境整備事業				
事業費	1,916,343 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			1,564,000		352,343

<b>1. 事業の目的</b>
安東コミュニティセンターを県産材を活用した木のぬくもりのある施設として整備するとともに、「みえの木育ネットワーク」を活用して木製遊具や木工教室など木育の場を創出することを図る。
<b>2. 事業実績概要</b>
<p><b>【事業内容】</b> 安東コミュニティセンターの整備にあたり、内装に県産材を活用する。</p> <p><b>【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】</b> 津市</p> <p><b>【実施個所及び箇所数】</b> 安東コミュニティセンター</p> <p><b>【事業量】</b> 安東コミュニティセンター内研修室等への県産材内装の実施 (3室、107.2㎡)</p>
<b>3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】</b>
<p><b>【事業実施により期待される効果】</b> 安東コミュニティセンターにおいて広い世代を対象とした各サロンの開催にあたり、木に触れ合っただくことで、木のぬくもりや質感を感じ、木に興味関心をもっただくことが期待できる。</p> <p><b>【効果を発揮させるための工夫・取組】</b> 木質化した研修室等において、木育をテーマにしたサロンを開催し、また、各サロンでみえの木育ネットワークを活用して、具体的な木育の機会を設けることで、広い世代に木育を実施していくことができる。</p> <p><b>【新たな対策・視点及び改善点】</b> 木質化した研修室等の利用頻度を高めるため、施設に関してHP等でPRを行う予定。(コミュニティ施設は令和6年7月16日オープン予定) また、各サロンにおいて木育をテーマとした積極的に実施し、多くの方に木に触れ合う機会を設ける。</p>

## 令和 5 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	津市	新規・継続の別	新規
番号	事業名				
6	コミュニティ施設における木育環境整備事業				
事業費	1,916,343 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			1,564,000		352,343

## 4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

## 【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
工事請負	建設業者	補助事業ではない		

## 【委託先及び補助対象者等の選定理由】

一般競争入札による選定

## 【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

## 5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

## 【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	安東地区コミュニティ施設利用者（不特定） 参考：利用者数見込（月平均）800人
期待する波及効果	コミュニティ施設での木育により個々の家庭への波及効果も期待できる。

## 【公的関与の必要性】

施設について市のHPに掲載することで周知を図り、県民税を活用し内装を木質化したことを紹介することで、利用率向上を目指している。

## 【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

津市会館の設置及び管理に関する条例に基づき施設が利用されるため、転用や目的外使用は想定されない。  
また、施設の管理は市民交流課が行い、適正に管理される。

## 6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

## 【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
HP掲載	実施後	木製の内装を導入後、HPで導入したことをPR
広報誌掲載	実施後	施設完成時の紹介ページで県産材を活用したことをPR
ロゴマーク掲示	実施後	木質化した腰壁に県民税のシールを掲示
パネル展示	実施後	施設や市庁舎で県民税による取組に関するパネルを設置する。

## 7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

## 8. その他特記事項（受益者の反応等）

## 第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	津市
事業名	コミュニティ施設における木育環境整備事業		

## 4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
<直接工事費>						
腰壁	(三重県産材 塗装仕上げ) 複合フローリング	m <sup>2</sup>	62.50	13,900	868,750	
	(三重県産材 塗装仕上げ) 巾木	m <sup>2</sup>	79.60	2,950	234,820	
	(三重県産材 塗装仕上げ) 壁 羽目板	m <sup>2</sup>	61.40	10,400	638,560	
				小計	1,742,130	
				消費税	174,213	10%
			合計		1,916,343	

第11号様式(その2)(評価委員会資料)

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	津市	新規・継続の別	新規
------	-------------------	-----	----	---------	----

事業名	コミュニティ施設における木育環境整備事業
-----	----------------------

7の(1). 写真



写真1  
木質化した研修室



写真2  
認証シールの掲示



写真3  
木質化したホール



写真4



写真5



写真6

資料 2 - 2

## 松 阪 市

## 令和5年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 市町別総合評価シート

## 1. 基礎情報「三重県市町要覧（令和5年度版）」「令和4年度版森林・林業統計書」による

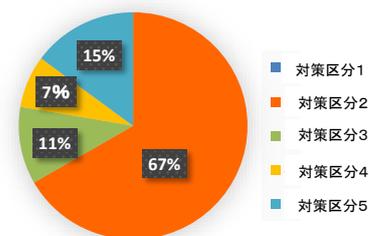
市町名	松阪市	三重県
人口（人）	155,119	1,731,863
年少人口割合（％）*1	12.0%	11.6%
森林面積(ha)	42,802.00	372,030.08
民有林面積(ha)*2	41,341.14	348,561.87
森林率(%)	69.0%	64.0%
都市公園面積（㎡/人口）*3	11.9	10.6

\*1：全人口に占める15歳未満の人の割合

\*2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。）

\*3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合



## 2. 令和5年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	2	里山の森林安全安心対策事業	13,030,600	12,931,500		12,931,500				
2	2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	20,113,937	5,000,000		5,000,000				
3	3	森林環境学習事業	2,887,500	2,887,500			2,887,500			
4	3	松阪の木魅力発信活動事業	217,655	72,000			72,000			
5	4	保育園木育推進事業	3,073,400	2,000,000				2,000,000		
6	5	都市公園整備事業	4,599,100	4,000,000					4,000,000	
計			43,922,192	26,891,000	0	17,931,500	2,959,500	2,000,000	4,000,000	0

## 3. 令和5年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）（防災枠）事業実績

事業区分	事業量 (ha・m)	事業費 (円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	11.76ha	4,530,900	4,530,900	間伐11.76ha、現地調査8箇所ほか
森林再生力強化対策事業	11,969m	7,652,501	7,652,501	防護柵補助11,969m
災害からライフラインを守る事前伐採事業	1.98ha	20,113,937	5,000,000	危険木伐採1,861本

## 4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針
<p>松阪市ではみえ森と緑の県民税市町交付金の活用主旨に則り「災害につよい森林づくり」を目指しつつ川上から川下まで普く当該交付金を有効に活用すべく7つの事業を実施した。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 里山の森林安全安心対策事業…民家裏、重要施設付近、幹線道路沿線等において懸案となっている支障木を伐採し、住民の安全安心を確保する目的で実施。</li> <li>2. 災害からライフラインを守る事前伐採事業…台風や近年多発するゲリラ豪雨等による倒木被害に起因する停電被害を防止すべく、リスクマネジメントの一環として、被害想定箇所の事前伐採を実施し、県民・市民の安全安心を確保する。</li> <li>3. 森林環境整備事業…管内小学校を対象に森林環境教育を実施。</li> <li>4. 松阪の木魅力発信活動事業…松阪地域の林業、木材産業に携わる若手後継者で構成する団体「松阪地区青和会」が開催する、学校等における木育や森林教育イベントの活動補助等を実施。</li> <li>5. 保育園木育推進事業…市内の保育園の備品を木質化し、森林や木材について学び、幼少期より木との関係を深める。</li> <li>6. 都市公園整備事業…都市公園内に地域産材を使用した東屋を設置し、利用者に木の持つ「温かみ」「やすらげる空間」を提供すると共に、森林、緑、水辺の自然と親しむ環境整備を実施。</li> </ol>
事業実施により期待される効果
<p>里山の森林安全安心対策事業及び災害からライフラインを守る事前伐採事業については、自助努力により対応できない箇所について、配電事業者や地域と連携しながら実施したことにより、物理的な安全安心の確保に加え森林所有者による事業実施後の管理意識の向上に繋がった。森林環境学習については、小学校の従来のカリキュラムである清掃工場における環境学習に加え当該事業を実施したことにより、飛躍的に森林の公益的機能の理解が定着すると好評を得ている。</p>
情報発信への取組
<p>森林整備・都市公園整備遂行にあたり、地域住民への回覧等による情報伝達時に併せて県民税のPRチラシ配布し積極的な啓発を行っている。森林環境学習については、報道機関へ情報提供を行い、新聞紙上において、情報を発信した。</p>

第 11 号様式 (その 1) (参考資料)

## 令和 5 年度森林環境譲与税事業の実績

事業 番号	事業カテゴリー	事業費	
		(千円)	内、譲与税 (千円)
1	⑦ その他 (森林整備)	103,129	81,644
2	④ 公有林整備 (財産区有林含む)	13,131	13,131
3	⑮ 森林・林業・木材普及活動等	19,737	18,411
4	⑥ 林道・林専道の整備等	12,561	12,561
5			
6			
7			
8			
9			
10			
	合計	148,558	125,747

## 【記載要領】

ア. 事業カテゴリーの欄は下記の項目から該当するものを選択し記載するものとする。

事業カテゴリーの項目
① 意向調査の準備作業
② 意向調査
③ 私有林整備
④ 公有林整備 (財産区有林含む)
⑤ 森林保護対策
⑥ 林道・林専道の整備等
⑦ その他 (森林整備)
⑧ 担い手確保
⑨ 林業事業者の育成
⑩ 専門員の雇用
⑪ 新たな組織の設立
⑫ その他 (人材育成等)
⑬ 木造公共建築物の整備等
⑭ 木質バイオマス利用推進
⑮ 森林・林業・木材普及活動等
⑯ その他 (木材・普及啓発関係)
⑰ 基金積立 (森林整備等)
⑱ 基金積立 (人材育成等)
⑲ 基金積立 (木材利用等)
⑳ 基金積立 (執行残額等)

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

## 令和 5 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	松阪市	新規・継続の別	継続
番号	事業名				
1	里山の森林安全安心対策事業				
事業費	13,030,600 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			12,931,500		99,100

## 1. 事業の目的

集落や公共施設周辺の森林で、森林の持つ公益的機能が発揮されない状態にある森林を対象に、森林所有者や地域の自治会等と連携し、集落の安全と安心を確保することを目的に森林整備を行う。

## 2. 事業実績概要

## 【事業内容】

該当地域において、関係者と連携して現地調査を行い、森林の境界確認・測量及び間伐等の森林整備を行う。

## 【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】

松阪市

## 【実施箇所及び箇所数】

森林整備箇所 22 箇所

## 【事業量】

間伐 1 箇所 (2.78ha)、支障木伐採 21 箇所 (323本)

## 3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

## 【事業実施により期待される効果】

集落周辺の森林が整備されたことにより、地域住民の生活環境の向上や道路の安全性が確保される。又、地域の自主防災組織や自治会長と連携することにより、地域の里山の在り方を見直す良いきっかけとなり、継続的な取組が可能となる。

## 【効果を発揮させるための工夫・取組】

森林所有者の自助努力の底上げを促すべく、アンケート調査等を行うなどPDCAサイクルの構築に繋げている。

## 【新たな対策・視点及び改善点】

事業実施前、実施時にチラシを配布、ポスター掲示により、みえ森と緑の県民税市町交付金事業のPRと森林、林業の啓発を行う。事業実施後は関係者へのアンケート調査を実施し、事業のフィードバックを行う。またHP等を活用し幅広く情報発信を行う。

## 令和5 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	松阪市	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
1	里山の森林安全安心対策事業					
事業費	13,030,600 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			12,931,500		99,100	

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】				
【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】				
①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	森林組合	補助事業ではない		
【委託先及び補助対象者等の選定理由】				
森林所有者、認定林業事業体及び市の3者において、長期にわたる森林の機能向上を図るべく「災害に強い森林づくり協定」を締結しているため。				
【主な経費内訳】				
(別紙のとおり)				
5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】				
【受益者及び、期待する波及効果】				
受益者	受益戸数57戸、市道・国県道・公共施設等の受益約24件			
期待する波及効果	地域の里山の在り方を見直すきっかけとなる			
【公的関与の必要性】				
地域の懸案箇所整備が中心であり、官民協働の横断的な調整が必要であることから公的関与が不可欠である。				
【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】				
森林所有者との協定により、適切な維持管理と転用等制限を担保している。				
6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】				
【情報発信の内容】				
手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）		
標識・標柱等設置	実施後	みえ森と緑の県民税市町交付金活用のPR		
ポスター掲示	実施前・中・後	森林のはたらきや当該交付金の主旨説明とPR		
チラシ等配布	実施前	森林のはたらきや当該交付金の主旨説明とPR		
施工看板に掲示	実施前・中	みえ森と緑の県民税市町交付金活用のPR		
のぼり設置	実施中	みえ森と緑の県民税市町交付金活用のPR		
アンケート実施	実施後			
7. 写真及びその他資料				
別紙のとおり				
8. その他特記事項（受益者の反応等）				
平成26年度から継続実施。平成26年度～令和5年度の実績128箇所				



## 第11号様式(その2)(評価委員会資料)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	松阪市	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	里山の森林安全安心対策事業
-----	---------------

## 7の(1). 写真

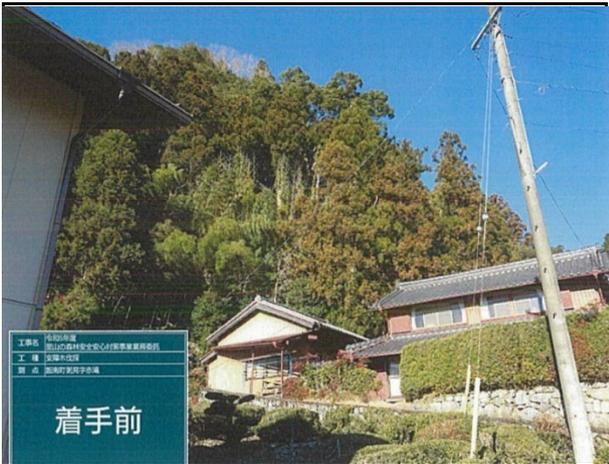


写真1  
支障木伐採(着手前)松阪市飯南町粥見地内  
国道筋の人家浦で倒木の恐れがあり、危険であった



写真2  
支障木伐採(完成)松阪市飯南町粥見地内  
事業実施により危険が解消された



写真3  
支障木伐採(完成)松阪市飯南町粥見地内  
事業実施により危険が解消された



写真4  
支障木伐採(施工状況)松阪市飯南町深野地内

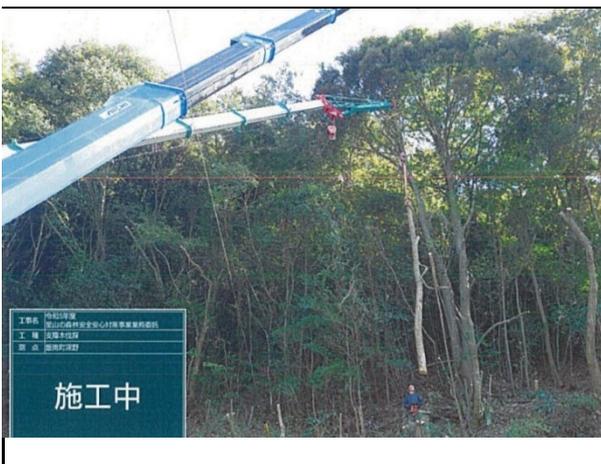


写真5  
支障木伐採(施工状況)松阪市飯南町深野地内



写真6  
みえ森と緑の県民税市町交付金事業PR用標柱設置状況

## 第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	松阪市	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	里山の森林安全安心対策事業
-----	---------------

## 7 の (2) . その他資料

## ・ アンケート (自治会、山林所有者対象)

🌲 アンケートご協力のお願ひ 🌲

「みえ森と緑の県民税」は、「災害に強い森林づくり」と「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるために、平成 26 年 4 月から三重県が導入した税金です。

松阪市では、この税を活用して、里山の森林安全安心対策事業を実施しました。  
今後の事業実施の参考にするため、この事業の感想と、森林に対する想いを聞かせてください。

**里山の森林安全安心対策事業の感想を聞かせてください。**

- ① この事業を実施していることを知っていた  
・知っていた     事業実施時に知った    ・知らなかった
- ② この事業にこの税を使っていることを知っていた  
・知っていた     事業実施時に知った    ・知らなかった
- ③ 台風等の自然災害での被害の心配が軽減された  
 そう思う    ⇔    そう思わない  
 4    3    2    1



**森林に対する想いを聞かせてください。**

- ① 安全、快適に暮らすためには、森林の手入れが大切だと思う  
 そう思う    ⇔    そう思わない  
 4     3    2    1
- ② 木を使うことは、森林の手入れにつながると思う  
 そう思う    ⇔    そう思わない  
 4     3    2    1
- ③ これからは身近な森林 (里山) や竹林の手入れをしようと思う (手入れに参加しようと思う)  
 そう思う    ⇔    そう思わない  
 4    3     2    1
- ④ 災害に強い森林づくりのために、これからは幅広い用途で木材利用をしようと思う。  
 そう思う    ⇔    そう思わない  
 4     3    2    1
- ⑤ みえ森と緑の県民税について、ご意見があればご記入ください

自然災害により被害が軽減されたので  
 税率を継続してほしい。

ご協力ありがとうございました。

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

## 令和 5 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	松阪市	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
2	災害からライフラインを守る事前伐採事業					
事業費	20,113,937 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			5,000,000		15,113,937	

1. 事業の目的	
<p>松阪市管内において、平成30年に発生した台風21号及び24号時の倒木被害を起因とする、送配電線の断線が多発し、大規模な停電被害をもたらした。また、災害時のライフラインの寸断は、行政の防災機能停滞等、多大な影響を及ぼすことから、被害想定箇所の事前伐採を実施することにより、災害時の防災・減災対策を図り、加えて市民生活の安全安心に繋げる。</p>	
2. 事業実績概要	
<p><b>【事業内容】</b></p> <p>送配電事業者が作成した被害想定箇所一覧をベースに、関係者連携のもと現地調査を行い、事業計画を立案し、段階的に事前伐採を実施する。</p> <p><b>【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】</b></p> <p>松阪市</p> <p><b>【実施箇所及び箇所数】</b></p> <p>事前伐採箇所：4箇所</p> <p><b>【事業量】</b></p> <p>事前伐採：1,861本</p>	
3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】	
<p><b>【事業実施により期待される効果】</b></p> <p>事業実施により、ライフラインの寸断防止、停電の抑制が図られることから、市民生活の安全安心に繋がる。</p> <p><b>【効果を発揮させるための工夫・取組】</b></p> <p>優先度の高い箇所から計画的に実施している。</p> <p><b>【新たな対策・視点及び改善点】</b></p> <p>事前伐採により、停電のリスクが抑制されるとともに、地域と協働で事業を進めることにより、防災意識の向上が図られる。</p>	

## 令和5 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	松阪市	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
2	災害からライフラインを守る事前伐採事業					
事業費	20,113,937 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			5,000,000		15,113,937	

## 4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

## 【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	林業事業体	補助事業ではない		

## 【委託先及び補助対象者等の選定理由】

専門的な技術を必要とするため。

## 【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

## 5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

## 【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	受益戸数2,000戸、市道、県道、国道
期待する波及効果	地域と連携して事業を実施することにより、森林整備が推進されることに加え、防災意識の底上げにも繋がる。

## 【公的関与の必要性】

地域の懸案箇所整備が中心であり、官民協働の横断的な調整が必要であることから公的関与が不可欠である。

## 【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

実施後は森林所有者が適正な維持管理を担っているが、地元自治会等協力のもと、再度荒廃することの無いよう働きかける必要がある。

## 6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

## 【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
施工看板に掲示	実施前・中	みえ森と緑の県民税市町交付金活用のPR
のぼり設置	実施中	みえ森と緑の県民税市町交付金活用のPR
回覧板・掲示板	実施前	みえ森と緑の県民税市町交付金活用のPR

## 7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

## 8. その他特記事項（受益者の反応等）

## 第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	松阪市
事業名	災害からライフラインを守る事前伐採事業		

## 4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単 位	数 量	単 価	金 額	備 考
予備調査		式	1.00	560,076	560,076	
事前伐採	1,98ha、1,861本	式	1.00	17,765,924	17,765,924	4箇所
立木補償	612本	式	1.00	1,787,937	1,787,937	
			事業費		20,113,937	

第11号様式（その2）（評価委員会資料）

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	松阪市	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	災害からライフラインを守る事前伐採事業
-----	---------------------

7の(1). 写真



写真1  
事前伐採(完成)松阪市与原町地内



写真2  
事前伐採(施工中)松阪市与原町地内



写真3  
事前伐採(施工中)電線近接部における高性能林業機械(スイングヤーダ)使用状況



写真4  
合同安全講習会実施状況



写真5  
みえ森と緑の県民税のぼり設置によるPR状況



写真6  
回覧した事業啓発用チラシ

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

## 令和 5 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり		市町名	松阪市	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
3	森林環境学習事業					
事業費	2,887,500 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			2,887,500		0	

## 1. 事業の目的

市内小学校の児童を対象に体験型の学習を通して、地域の環境保全等につながることや森林及び木材について学び、森林環境教育を実施する。

また、松阪地域の木材を使用して小学校の内装の一部を木質化し、その空間を体感してもらう機会とし、木育の推進を行う。

## 2. 事業実績概要

## 【事業内容】

管内小学生を対象に森林環境保全や森林整備についての森林環境教育を実施する。また、その小学校で松阪産の木材を使用し、教室等の木質化を行う。

## 【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】

松阪市

## 【実施個所及び箇所数】

市内小学校2校 (松阪市立幸小学校、松阪市立西黒部小学校)

## 【事業量】

森林環境学習及び、小学校の玄関、図書室等の木質化：2校

## 3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

## 【事業実施により期待される効果】

森林環境学習を実施することにより、木材の活用や森林づくりへの理解が深まる。また、理解や興味を持ったところで、木質化された教室等で学ぶことにより、さらに木材とのふれあいも進むなどの相乗効果が期待できる。

## 【効果を発揮させるための工夫・取組】

森林環境学習、製材工場・バイオマス工場等見学、木工教室等複合的なアプローチで事業を実施することにより、効率的な木育に繋がる。

## 【新たな対策・視点及び改善点】

環境学習実施後のアンケートでは「森のはたらきの大切さが分かった」「丸太切りが楽しかった」など、高評価を得た。さらに、「ウッドピアにまた行ってみたい」という林業・木材への関心の向上も見られた。しかし、事業開始から9年が経過するも、いまだ市内の約半数の学校で事業実施に至っておらず、次世代の担い手育成に繋がる学習・体験ができていない学校が存在する現状であるため、今後も当県民税の周知及びPRを行いたい。

## 令和5 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり		市町名	松阪市	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
3	森林環境学習事業					
事業費	2,887,500 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			2,887,500		0	

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】				
【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】				
①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	活動団体	補助事業ではない		
【委託先及び補助対象者等の選定理由】				
森林・林業に携わる関係者による組織であり、森林・林業に精通し、又、恒常的に小学生を対象とした森林に纏わる学習イベントを開催するなど、適切な教育を実施することができるため。				
【主な経費内訳】				
(別紙のとおり)				
5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】				
【受益者及び、期待する波及効果】				
受益者	幸小学校4年生(児童68名)、西黒部小学校3・4・5年生(児童数26名)			
期待する波及効果	学習終了後も校舎を木質化することにより学校全体への波及効果が見込める			
【公的関与の必要性】				
市内小学校と協働し、当市における環境側面のカリキュラムとの相乗効果をはかりながら、森林環境を推進していく事を鑑みると公的関与の必要性大である。				
【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】				
木質化を行った構造物については、実施した施設にて適正な管理を行うこととしている。				
6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】				
【情報発信の内容】				
手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）		
TV（行政チャンネル等）	実施後	報道機関への情報提供を行い、みえ森と緑の県民税を活用した取り組みであることを周知		
のぼり設置	実施中	学習実施時にのぼりを設置し、当該交付金活用事業であることをPR		
啓発物品配布	実施前	森林のはたらきをテーマとした絵本を作製し、市内小学校・保育園・幼稚園に配布		
アンケート実施	実施後	対象児童全員に実施		
ロゴマーク掲示（シール・プレート等）	実施後	校舎の木質化を行った後にプレートを設置し、当該事業活用の取組であることを周知		
7. 写真及びその他資料				
別紙のとおり				
8. その他特記事項（受益者の反応等）				
平成26年度から継続実施。平成26年度～令和5年度の実績19校				

## 第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	松阪市
事業名	森林環境学習事業		

## 4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単 位	数 量	単 価	金 額	備 考
環境学習人件費	講師等	人・日	12.00	15,000	180,000	2校実施分
環境学習直接経費	木工工作 (材料費)、丸太切り (原木) 等	式	1.00	280,000	410,000	
環境学習直接経費	移動用大型バス	台	2.00	100,000	300,000	2校実施分
環境学習直接経費	木工工作指導員謝礼	人	10.00	10,000	100,000	指導員5人 (2校実施分)
環境学習直接経費	活動報告書	部	10.00	1,000	10,000	
木質化施工費	木質化施工費	式	1.00	620,000	620,000	玄関、図書室等の木質化40㎡程度 (2校実施分)
木質化施工費	杉坂、下地材、金物等	式	1.00	620,000	620,000	
木質化施工費	塗装	式	1.00	160,000	160,000	
木質化施工費	清掃等	式	1.00	100,000	100,000	
諸経費	交通費、通信費	式	1.00	123,000	125,000	
消費税					262,500	
合計					2,887,500	(税込)

## 第11号様式（その2）（評価委員会資料）

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	松阪市	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	森林環境学習事業
-----	----------

## 7の(1). 写真



写真1

森林環境学習（製材工場見学）



写真2

森林環境学習（木工教室状況）



写真3

森林環境学習（森林環境教育状況）



写真4

みえ森と緑の県民税のぼり設置によるPR状況

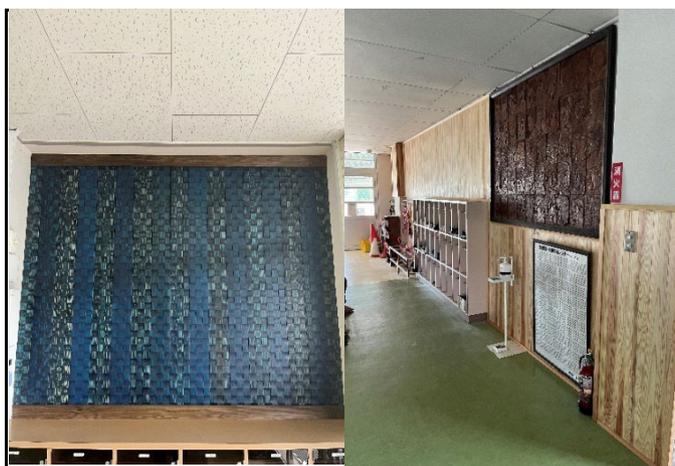


写真5

小学校玄関木質化（完成）

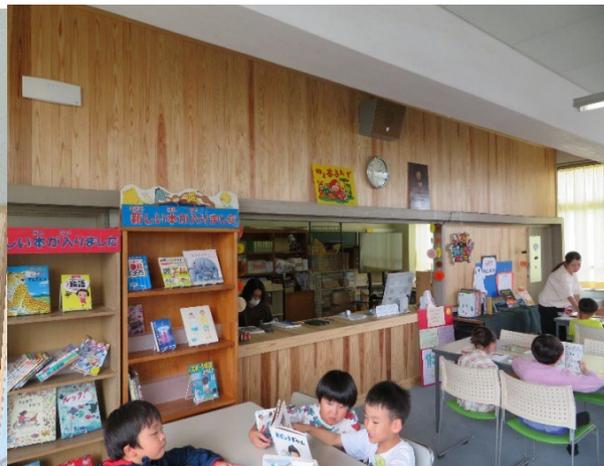


写真6

小学校図書室木質化（完成）

第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	松阪市	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	森林環境学習事業
-----	----------

7 の (1) . 写真



写真1

新聞記事 (令和5年10月5日 夕刊三重)



写真2

写真2



写真3

写真3



写真4

写真4



写真5

写真5



写真6

写真6

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

## 令和 5 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり		市町名	松阪市	新規・継続の別	リニューアル
番号	事業名					
4	松阪の木魅力発信活動事業					
事業費	217,655 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			72,000		145,655	

## 1. 事業の目的

松阪地域の林業・木材産業に携わる若手後継者で構成する団体「松阪地区青和会」主催で松阪市の基幹産業である林業・木材産業について飯南高校での出前授業を実施し、間伐体験、棟上げ体験、森林教育を行う。

また、松阪地区青和会により木製演台や木製賞状などを作製し、公共スペースに設置及び寄贈することにより、木製品の肌触りや外観を通して多くの人に木の温もりや良さを知っていただき、木の魅力を感じてもらい木育を推進する。

木と林業・木材産業に携わる人とふれあうことで、森林からの恩恵、木の良さを学ぶと共に地域の林業・木材産業を身近に感じていただくきっかけの場を提供することを目的とする。

## 2. 事業実績概要

## 【事業内容】

## ①木製賞状寄贈

▽日程 令和5年11月5日(日) ▽場所 松阪市総合運動公園スケートパーク

※内容：小中学校生等を対象に開催された市長杯スケートボード大会用の木製賞状を製作・寄贈。

## ②木製演台寄贈

▽日程 令和5年12月11日(月) ▽場所 松阪市役所 ※内容：市長記者会見用木製演台を製作・寄贈。

## ③飯南高校出前授業

▽日程 令和6年1月26日(金) ▽場所 三重県立飯南高校 ※内容：飯南校生を対象に間伐体験、森林や木材に関する青空教室、棟上げ体験を実施。

## 【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】

松阪地区青和会

## 【実施個所及び箇所数】

三重県立飯南高校、松阪市役所、松阪市総合運動公園スケートパーク

## 【事業量】

出前授業、木工製品一式寄贈

## 3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

## 【事業実施により期待される効果】

木と林業・木材産業に携わる人とふれあうことで、森林からの恩恵、木の良さを学ぶと共に地域の林業・木材産業を身近に感じていただくきっかけの場を提供できた。

木製演台や木製賞状などを作製し、公共スペースに設置及び寄贈することにより、木製品の肌触りや外観を通して多くの人に木の温もりや良さを知っていただき、木の魅力を感じてもらい木育を推進する。

## 【効果を発揮させるための工夫・取組】

幅広い年齢層に木の魅力等を伝えるため、小学生・中学生・高校生を対象に木育を実施した。

## 【新たな対策・視点及び改善点】

## 令和5 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり		市町名	松阪市	新規・継続の別	リニューアル
番号	事業名					
4	松阪の木魅力発信活動事業					
事業費	217,655 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			72,000		145,655	

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】				
【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】				
①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
補助事業	活動団体	その他		③1/3以内
【委託先及び補助対象者等の選定理由】				
当該地域の林業・木材産業に携わる若手後継者で構成する団体であり、森林・林業に関する専門的な知識や技術を有しているため				
【主な経費内訳】				
(別紙のとおり)				
5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】				
【受益者及び、期待する波及効果】				
受益者	対象者約2,000名			
期待する波及効果	参加者の家族や友人への波及効果が期待できる。			
【公的関与の必要性】				
林業・木材産業団体、市内学校等と協働、推進していく事を鑑みると公的関与の必要性大である。				
【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】				
施設整備等ではなく、転用や目的外使用は想定されない。				
6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】				
【情報発信の内容】				
手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）		
その他	実施前	報道機関への情報提供を行った。		
TV（行政チャンネル等）	実施後	みえ森と緑の県民税を活用した取り組みであることを周知し、行政チャンネルで放送を行った。		
7. 写真及びその他資料				
別紙のとおり				
8. その他特記事項（受益者の反応等）				

第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	松阪市
------	-------------	-----	-----

事業名	松阪の木魅力発信事業
-----	------------

## 4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
資材及び加工費		式	1.00	164,500	164,500	木工製品用資材費及び加工費
役務費		式	1.00	1,430	1,430	木製賞状送料
消耗品費等		式	1.00	21,725	21,725	ブルーシート15m×15m
設計費		式	1.00	30,000	30,000	木製演台設計代金
				事業費	217,655	(1/3以内)
				補助額	72,000	

## 第11号様式（その2）（評価委員会資料）

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	松阪市	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	松阪の木魅力発信事業
-----	------------

## 7の(1). 写真

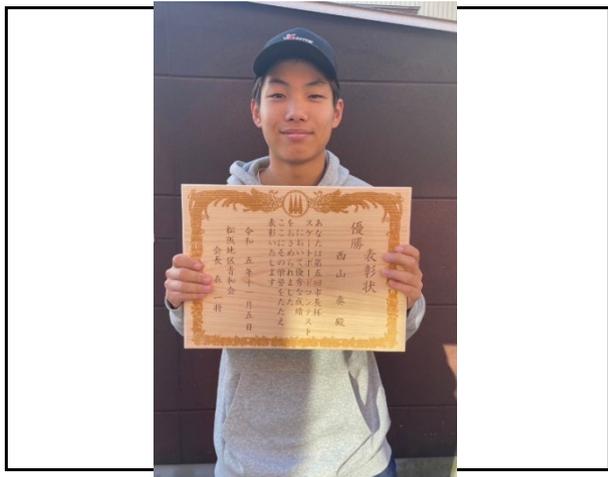


写真1

木製賞状寄贈



写真2

木製演台寄贈



写真3

木製演台寄贈



写真4

間伐体験



写真5

間伐体験

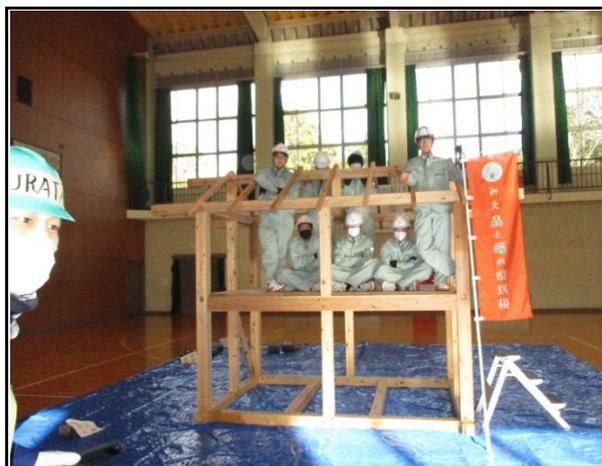


写真6

棟上げ体験

第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	松阪市	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	松阪の木魅力発信事業
-----	------------

7 の (1) . 写真

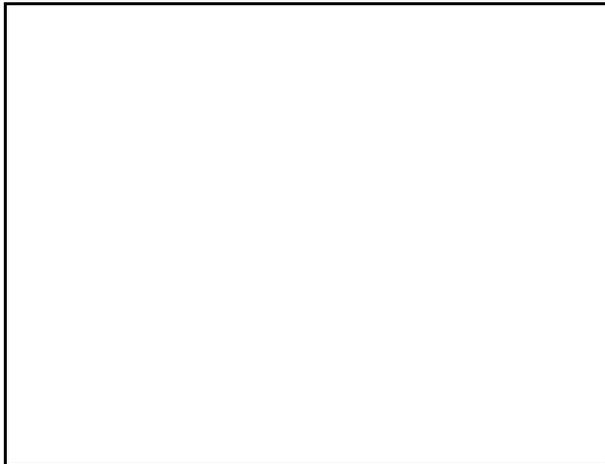


写真1  
新聞記事 (令和5年12月15日 夕刊三重)



写真2



写真3



写真4



写真5



写真6

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

## 令和 5 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	松阪市	新規・継続の別	継続
番号	事業名				
5	保育園木育推進事業				
事業費	3,073,400 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			2,000,000		1,073,400

1. 事業の目的					
市内の公立保育園・こども園の備品を木質化し、木材と市民の関係を深める。					
2. 事業実績概要					
【事業内容】					
市内の公立保育園・こども園の備品を市産材で木質化する。また、森林環境学習の一環として、みえ森と緑の県民税市町交付金事業にて作製した、児童及び園児向けの森林環境学習用絵本の読み聴かせ等を行う。					
【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】					
松阪市					
【実施個所及び箇所数】					
公立こども園1園					
【事業量】					
松阪市立三雲南こども園への木育推進のための木製備品導入一式					
3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】					
【事業実施により期待される効果】					
園児たちが市産材で木質化された備品に触れることで、木材とのふれあいが進む。					
【効果を発揮させるための工夫・取組】					
木製備品を導入するだけでなく、空間整備と併せて森林環境学習用絵本の読み聞かせを行うことで、幼少期からの木育を推進する。					
【新たな対策・視点及び改善点】					
森林環境学習用絵本の読み聞かせによる木育推進のほか、保育園だよりなど等に森のはたらきや交付金事業活用について記載する。					

## 令和5 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり		市町名	松阪市	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
5	保育園木育推進事業					
事業費	3,073,400 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			2,000,000		1,073,400	

## 4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

## 【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
物品購入	その他	補助事業ではない		②一般競争入札により決定 ③物品購入

## 【委託先及び補助対象者等の選定理由】

一般競争入札を実施する事により公平性の担保と経費削減に繋がることから

## 【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

## 5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

## 【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	保育園・こども園21園（園児数約1,700名）
期待する波及効果	保護者への波及効果も期待できる

## 【公的関与の必要性】

市の管理施設であるため、公的関与は必要である。

## 【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

維持管理は市が主体的に実施する。転用、目的外

## 6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

## 【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
回覧板・掲示板	実施前・後	園関係者や保護者に対して、園だより掲載により、当該交付金事業の活用をPR
ロゴマーク掲示（シール・プレート等）	実施後	木製備品にシールを貼り付け、当該事業活用の取組であることを周知

## 7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

## 8. その他特記事項（受益者の反応等）

## 第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	松阪市
事業名	保育園木育推進事業		

## 4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単 位	数 量	単 価	金 額	備 考
	スタッキングテーブル0歳児用	台	2.00	68,000	136,000	
	スタッキングテーブル2歳児用	台	4.00	68,000	272,000	
	スタッキングテーブル3歳児用	台	3.00	68,000	204,000	
	スタッキングテーブル4歳児用	台	14.00	68,000	952,000	
	スタッキングチェア1歳児用	脚	20.00	15,000	300,000	
	スタッキングチェア4歳児用	脚	60.00	15,500	930,000	
					2,794,000	
				消費税(10%)	279,400	
				合計	3,073,400	

第11号様式(その2)(評価委員会資料)

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	松阪市	新規・継続の別	継続
------	-------------------	-----	-----	---------	----

事業名	保育園木育推進事業
-----	-----------

## 7の(1). 写真



写真1

木製机納品状況



写真2

木製椅子納品状況



写真3

県民税を活用し、松阪市にて作製した木育用絵本の読み聴かせ状況



写真4

掲示板で「みえ森と緑の県民税」の周知と森林の大切さや必要性を説明

写真5

写真6

写真5

写真6

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

## 令和 5 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	松阪市	新規・継続の別	継続
番号	事業名				
6	都市公園整備事業				
事業費	4,599,100 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			4,000,000		599,100

## 1. 事業の目的

公共空間である公園において、市民が公園内の緑や木・付近の森林や河川を眺めながら休憩のできる東屋を市産材で建設し、自然を親しみ楽しめる環境づくりを行う。

## 2. 事業実績概要

## 【事業内容】

都市公園内に市産材の木製東屋を設置。

## 【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】

松阪市

## 【実施個所及び箇所数】

1箇所 (中村川桜つつみ公園)

## 【事業量】

東屋 1棟

## 3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

## 【事業実施により期待される効果】

多くの市民が利用される公園において、森林や河川を眺めながら休憩のできる東屋を市産材で建設することにより、自然と市民がふれあう機会が増え、木材の活用や森林づくりへの理解が深まる。

## 【効果を発揮させるための工夫・取組】

地域住民の憩いの場、遠足の目的地など、多用途で利用されている施設であり、建築に併せてパネル展示等により、森林・林業について幅広く啓発が可能。

## 【新たな対策・視点及び改善点】

多くの県民、市民が利用する公園に木製東屋を設置することで、木材に接する機会を増加・強化できる。

## 令和 5 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり		市町名	松阪市	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
6	都市公園整備事業					
事業費	4,599,100 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			4,000,000		599,100	

## 4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

## 【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
工事請負	建設業者	補助事業ではない		

## 【委託先及び補助対象者等の選定理由】

競争入札により、専門的な技術を有する事業者を選定。これにより、公平性の担保と経費の削減にも繋がる。

## 【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

## 5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

## 【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	施設利用者約3,000名
期待する波及効果	利用者の家族や友人への波及効果も期待できる。

## 【公的関与の必要性】

市が管理者である公園の整備であり、公的関与は必要である。

## 【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

維持管理は市が主体的に実施する。転用、目的外使用については、公共施設であるため想定されない。

## 6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

## 【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
回覧板・掲示板	実施後	みえ森と緑の県民税市町交付金活用のPR
のぼり設置	実施中	みえ森と緑の県民税市町交付金活用のPR

## 7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

## 8. その他特記事項（受益者の反応等）

平成26年度からの継続事業。平成26年度～令和5年度の実績28箇所。

第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	松阪市
------	--------------------	-----	-----

事業名	都市公園整備事業
-----	----------

## 4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単 位	数 量	単 価	金 額	備 考
東屋設置		棟	1.00	4,000,000	4,000,000	
			補助対象事業費		4,000,000	
その他 (コンクリート工)		式	1.00	599,100	599,100	
			全体事業費		4,599,100	

第11号様式（その2）（評価委員会資料）

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	松阪市	新規・継続の別	継続
------	--------------------	-----	-----	---------	----

事業名	都市公園整備事業
-----	----------

7の(1). 写真

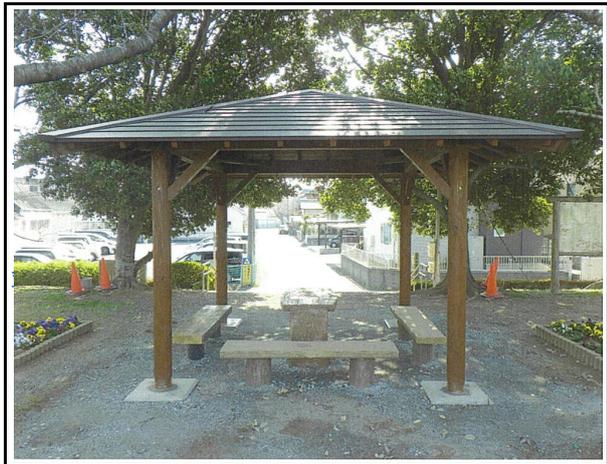


写真1  
都市公園整備 東屋  
中村川桜づつみ公園



写真2  
施工中 啓発用のぼり設置状況

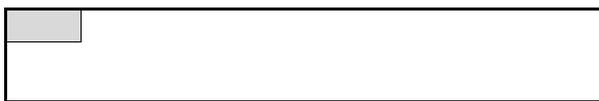
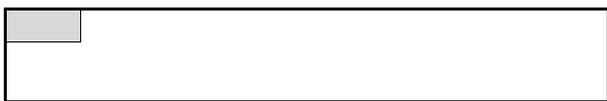
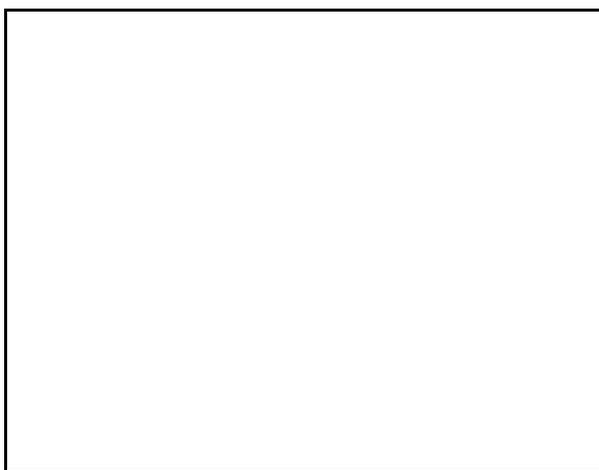
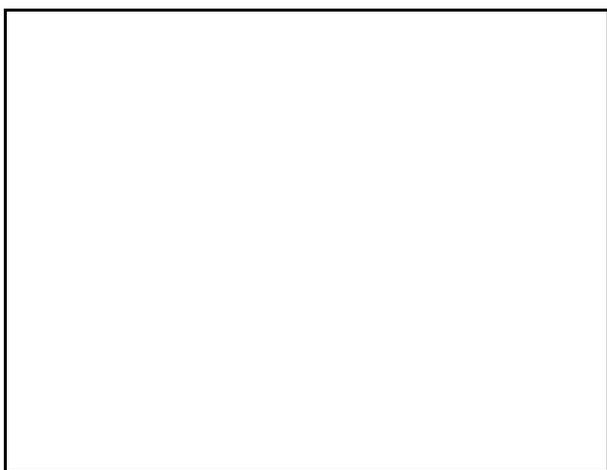


写真3  
回覧及び配布した啓発用チラシ



写真4

写真4



資料 2 - 2

多 気 町

## 令和5年度 みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 市町別総合評価シート

## 1. 基礎情報「三重県市町要覧 (令和5年度版)」 「令和4年度版森林・林業統計書」による

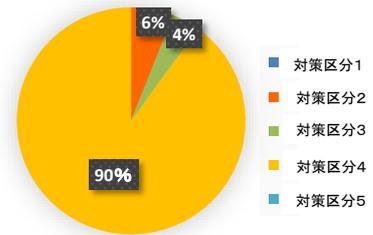
市町名	多気町	三重県
人口 (人)	13,538	1,731,863
年少人口割合 (%) * 1	11.8%	11.6%
森林面積 (ha)	5,915.33	372,030.08
民有林面積 (ha) * 2	5,915.33	348,561.87
森林率 (%)	57.0%	64.0%
都市公園面積 (㎡/人口) * 3	24.5	10.6

\* 1 : 全人口に占める15歳未満の人の割合

\* 2 : 国有林以外の森林 (個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。)

\* 3 : 都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合



## 2. 令和5年度 みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠・加算枠) 事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額 (円) (当年度交付金額 + 基金活用額)						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	2,887,500	700,000		700,000				
2	3	木とふれあう教育支援事業	570,460	456,104			456,104			
3	4	木とふれあう環境づくり事業	10,458,800	10,458,800				10,458,800		
計			13,916,760	11,614,904	0	700,000	456,104	10,458,800	0	0

## 3. 令和5年度 みえ森と緑の県民税市町交付金 (連携枠) (防災枠) 事業実績

事業区分	事業量 (ha・m)	事業費 (円)	内交付金充当額 (円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	13.67ha	4,602,400	4,602,400	
森林再生力強化対策事業	1,306m	2,014,985	2,014,985	
災害からライフラインを守る事前伐採事業 (伐採調査)	0.66ha	2,887,500	700,000	
災害からライフラインを守る事前伐採事業 (伐採施工)	0.1ha			

## 4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針	<p>多気町は、三重県のほぼ中央部に位置し、森林面積は約57%を占めている。地域住民の生活に密着した里山から、林業生産活動が実施されるべき人工林等多様な森林構成になっている。しかしながら、森林所有者の高齢化にともない維持管理が難しい状況である。そのため、森林の荒廃、里山では竹林の増加といった問題がある。そのため県民税を利用し、地域住民に木に触れる機会を提供し、森林の役割について理解を促す。また、地域住民が安心・安全に生活ができるようライフラインを守る事前伐採事業を実施する。</p>
事業実施により期待される効果	<p>県産木材を利用した木製備品を小学校、保育園に導入・配置したことにより、木に対する関心がたかまり、また多くの地域住民が集まる公共野外施設 (天啓公園) や令和6年7月 (予定) にリニューアルオープン の「ごかつら池ふるさと村どうぶつパーク (花と動物ふれあい広場)」に木製遊具等を配置したことにより、多くの方に木の素晴らしさを実感していただくことができる。</p> <p>危険木を実践に伐採することにより、より安全・安心した住民生活を送ることができる。</p>
情報発信への取組	<p>多くの地域住民の方に、木製備品の素晴らしさを理解してもらい、また危険木の伐採により安全・安心した生活を送ることができるということを広報誌等で情報発信した。</p>

第 11 号様式 (その 1) (参考資料)

## 令和 5 年度 森林環境譲与税事業の実績

事業 番号	事業カテゴリー	事業費	
		(千円)	内、譲与税 (千円)
1	② 意向調査	385	385
2	③ 私有林整備	8,058	8,058
3	⑥ 林道・林専道の整備等	1,000	1,000
4	⑩ 専門員の雇用	807	797
5	⑩ 専門員の雇用	56	56
6	⑦ その他 (森林整備)	220	220
7	⑦ その他 (森林整備)	440	440
8			
9			
10			
	合計	10,966	10,956

## 【記載要領】

ア. 事業カテゴリーの欄は下記の項目から該当するものを選択し記載するものとする。

事業カテゴリーの項目
① 意向調査の準備作業
② 意向調査
③ 私有林整備
④ 公有林整備(財産区有林含む)
⑤ 森林保護対策
⑥ 林道・林専道の整備等
⑦ その他(森林整備)
⑧ 担い手確保
⑨ 林業就業者の育成
⑩ 専門員の雇用
⑪ 新たな組織の設立
⑫ その他(人材育成等)
⑬ 木造公共建築物の整備等
⑭ 木質バイオマス利用推進
⑮ 森林・林業・木材普及活動等
⑯ その他(木材・普及啓発関係)
⑰ 基金積立(森林整備等)
⑱ 基金積立(人材育成等)
⑲ 基金積立(木材利用等)
⑳ 基金積立(執行残額等)

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

## 令和 5 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	多気町	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
1	災害からライフラインを守る事前伐採事業					
事業費	2,887,500 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			700,000		2,187,500	

1. 事業の目的	
町、県及びライフライン事業者と連携し、大規模な停電を未然に防止し、地域住民の安全・安心な暮らしを守るため、台風等により倒木となり、電線などを寸断する恐れのある樹木をあらかじめ伐採する。	
2. 事業実績概要	
【事業内容】 台風等の倒木被害によりライフラインを寸断する恐れのある危険木の事前伐採を行う。	
【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】 多気町	
【実施個所及び箇所数】 多気町古江地内1箇所	
【事業量】 伐採調査0.66ha (選木900本) 伐採施工0.1ha (114本)	
3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】	
【事業実施により期待される効果】 台風等による倒木被害によりライフラインを寸断するおそれなくなり、地域住民の生活環境の向上になる。	
【効果を発揮させるための工夫・取組】 危険木を事前に伐採することで、暮らしに身近な森林の整備が進み、安全・安心な生活環境の確保につながる。	
【新たな対策・視点及び改善点】 地域住民に対し実施した箇所を周知し、事業の意義を伝えることで、事業の拡大につなげる。	

## 令和5 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	多気町	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
1	災害からライフラインを守る事前伐採事業					
事業費	2,887,500 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			700,000		2,187,500	

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】				
【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】				
①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	森林組合	補助事業ではない		
【委託先及び補助対象者等の選定理由】				
<p>作業場所が傾斜地や足場の悪い場所もあり、作業上の経験、知識を特に必要になるため、町内の森林整備で実績のある宮川森林組合に委託した。</p>				
【主な経費内訳】				
(別紙のとおり)				
5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】				
【受益者及び、期待する波及効果】				
受益者	地域住民（古江地区：235人）			
期待する波及効果	地域住民のみならず町内全体に森林整備の必要性への理解が広がる。			
【公的関与の必要性】				
生活に欠かすことができないライフラインを守る取組であり、公的関与の必要性が高い。				
【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】				
伐採後、森林を適正に管理してもらうように森林所有者に説明する。				
6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】				
【情報発信の内容】				
手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）		
のぼり設置	実施前・中	伐採の前及び施工中に、みえ森と緑の県民税の事業であることをのぼり旗でPRした。		
広報誌掲載	実施後	広報誌「広報たき1月号」において、事業内容を掲載した。		
7. 写真及びその他資料				
別紙のとおり				
8. その他特記事項（受益者の反応等）				



第11号様式（その2）（評価委員会資料）

対策区分	2.暮らしに身近な森林づくり	市町名	多気町	新規・継続の別	継続
------	----------------	-----	-----	---------	----

事業名	災害からライフラインを守る事前伐採事業
-----	---------------------

7の(1).写真



写真1  
多気町古江地内（施工前）



写真2  
多気町古江地内（施工後）



写真3  
多気町古江地内（検査）

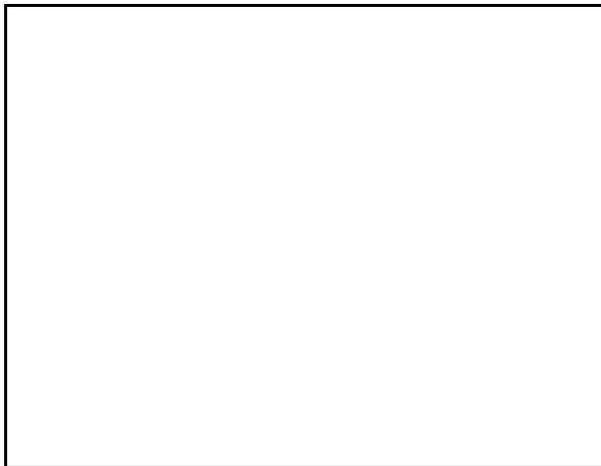


写真4



写真5



写真6

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

## 令和 5 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり		市町名	多気町	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
2	木とふれあう教育支援事業					
事業費	570,460 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			456,000	104	114,356	

<b>1. 事業の目的</b>						
小学生・保育園児に身近な森林で木を切ったり、木工製作を体験したりすることで、森林に触れ、木の温もりや良さに気づき、木と親しむ機会を提供する。そのような体験の中で、自然の大切さを学び、自然に対する機会を深め、より森林に関心を持つことができる人づくりを目的とする。						
<b>2. 事業実績概要</b>						
<b>【事業内容】</b>						
小学生に対して木に触れてもらう機会を提供するため、木工教室を実施する。また講義中に、森林に関する話なども併せて行った。						
保育園児に丸太切り・オブジェ・園名看板作りなど木育教室を実施した。						
<b>【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】</b>						
多気町						
<b>【実施個所及び箇所数】</b>						
外城田小学校・相可保育園・津田認定こども園・多気の杜こども園・佐奈保育園・勢和保育園						
<b>【事業量】</b>						
小学校：木工授業、箸						
保育園：丸太切り・オブジェ・園名看板						
<b>3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】</b>						
<b>【事業実施により期待される効果】</b>						
子供たちに森林・環境の大切さや役割を学んでもらい、自ら県産材に触れて木工工作等を体験することで、県産材を身近に感じ、「ものを作る喜び」を知ってもらうことができる。体験を通して自然の大切さを学び、自然に対する理解を深め、より森林に関心を持つきっかけとなる。						
子供たちが保護者の方へ体験したことを話すことで、子供から大人への森林への関心にも繋がる。						
<b>【効果を発揮させるための工夫・取組】</b>						
小学生に対しては、教えてもらったことに対して、図鑑で調べ、スライドを使ってクイズ形式でグループごとが教え合う共有の場を設けた。それにより、聞くだけでなく、自分で調べ、考える力を身につけてもらうよう工夫をした。						
保育園児に対しては、木について身近に感じてもらうため、木材から自分だけの作品を作ることで楽しさや、木材を見る、触れる、香る、木の話を書くなど五感を感じながら木と親しむ体験を行うよう工夫した。また、作品づくりや過程を保護者の方へ伝えることで、保護者への森林に対する関心も繋がられた。						
<b>【新たな対策・視点及び改善点】</b>						
小学校：自ら県産材の木材を利用し、作品を制作することで森林に関心を持つことが期待できるため、全ての小学校で森づくりサポートセンターの協力のもと、多くの生徒が木に触れる機会を設ける。						
保育園：森づくりサポートセンターの協力のもと、木材を見る、触れる、香る、木の話を書くなど五感を感じながら木と親しむ体験を設ける。						

## 令和5 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり		市町名	多気町	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
2	木とふれあう教育支援事業					
事業費	570,460 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			456,000	104	114,356	

## 4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

## 【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	森林組合	補助事業ではない		外城田小学校
委託事業	登録者	補助事業ではない		保育園5箇所

## 【委託先及び補助対象者等の選定理由】

みえ森づくりサポートセンターの紹介

## 【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

## 5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

## 【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	小学生（10人） 保育園児（111人）
期待する波及効果	利用者及び保護者にも同様に森林に対する理解が広がる。

## 【公的関与の必要性】

木工工作等を体験することで森林教育活動が継続的に行われる。

## 【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

なし

## 6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

## 【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
広報誌掲載	実施後	広報誌「広報たき12月号及び4月号」において、事業内容を掲載した。

## 7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

## 8. その他特記事項（受益者の反応等）

## 第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	多気町
事業名	木とふれあう教育支援事業		

## 4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
外城田小学校						
報償費	講師 (宮川森林組合)	人	1.00	9,800	9,800	木工授業
準備費	打合せ等	式	1.00	5,600	5,600	木工授業
諸経費		式	1.00	2,600	2,600	木工授業
報償費	講師 (宮川森林組合)	人	2.00	9,800	19,600	記念品製作
材料費	ヤマザクラ材 蜜蝋	式	1.00	14,500	14,500	記念品製作
準備費	打合せ等	式	1.00	5,600	5,600	記念品製作
諸経費		式	1.00	7,900	7,900	記念品製作
相可保育園						
報償費	講師 (秘密基地研究会)	人	4.00	10,000	40,000	木育教室
準備費	オブジェ製作材料準備	人	1.00	4,000	4,000	木育教室
準備費	丸太切り材料準備	人	1.00	2,000	2,000	木育教室
材料費	26面ストレージゲーム	個	1.00	9,900	9,900	木育教室
材料費	オクタラインズ	個	1.00	9,350	9,350	木育教室
材料費	なみのりバブル	個	1.00	9,900	9,900	木育教室
諸経費		式	1.00	6,850	6,850	木育教室
津田認定こども園						
報償費	講師 (秘密基地研究会)	人	2.00	10,000	20,000	木育教室
準備費	丸太切り材料準備	人	1.00	2,000	2,000	木育教室
準備費	看板板、文字板加工	式	1.00	10,000	10,000	木育教室
材料費	看板材	枚	1.00	5,000	5,000	木育教室
材料費	ペンキ5色	セット	1.00	3,032	3,032	木育教室
材料費	ひのきコースター	式	1.00	16,500	16,500	木育教室
材料費	なみのりバブル	個	1.00	9,900	9,900	木育教室
諸経費		式	1.00	6,568	6,568	木育教室
多気の杜認定こども園						
報償費	講師 (秘密基地研究会)	人	4.00	10,000	40,000	木育教室
準備費	オブジェ製作材料準備	人	1.00	4,000	4,000	木育教室
準備費	丸太切り材料準備	人	1.00	2,000	2,000	木育教室
準備費	整備士セット	個	1.00	19,800	19,800	木育教室
材料費	26面ストレージゲーム	個	1.00	9,900	9,900	木育教室
材料費	なみのりバブル	個	1.00	9,900	9,900	木育教室
材料費	食材セット	個	1.00	13,200	13,200	木育教室
諸経費		式	1.00	9,200	9,200	木育教室

佐奈保育園						
報償費	講師（秘密基地研究会）	人	3.00	10,000	30,000	木育教室
準備費	オブジェ製作材料準備	人	1.00	4,000	4,000	木育教室
準備費	丸太切り材料準備	人	1.00	2,000	2,000	木育教室
準備費	釘打ち体験資材等準備	式	1.00	5,000	5,000	木育教室
材料費	26面ストレージゲーム	個	1.00	9,900	9,900	木育教室
材料費	オクタライズ	個	2.00	9,350	18,700	木育教室
諸経費		式	1.00	6,400	6,400	木育教室
勢和保育園						
報償費	講師（秘密基地研究会）	人	4.00	10,000	40,000	木育教室
準備費	オブジェ製作材料準備	人	1.00	4,000	4,000	木育教室
準備費	丸太切り材料準備	人	1.00	2,000	2,000	木育教室
準備費	整備士セット	個	1.00	19,800	19,800	木育教室
材料費	26面ストレージゲーム	個	1.00	9,900	9,900	木育教室
材料費	働く自動車	個	5.00	700	3,500	木育教室
材料費	ふるさと三重かるた	個	1.00	25,000	25,000	木育教室
諸経費		式	1.00	9,800	9,800	木育教室
		小計			518,600	
		消費税及び地方税相当額			51,860	
		合計			570,460	

第11号様式(その2)(評価委員会資料)

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	多気町	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	木とふれあう教育支援事業
-----	--------------

## 7の(1). 写真



写真1

木工授業(外城田小学校)



写真2

木育教室(佐奈保育園)



写真3

木育教室(相可保育園)



写真4

木育教室(津田認定こども園)



写真5

木育教室(多気の杜こども園)



写真6

木育教室(勢和保育園)

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

## 令和 5 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	多気町	新規・継続の別	継続
番号	事業名				
3	木とふれあう環境づくり事業				
事業費	10,458,800 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			6,479,000	3,979,800	0

1. 事業の目的					
木材は柔らかく温かみのある感触を有する。次世代を担う地域住民が日常的に利用する場所で、県産材について学びふれあう機会を提供する。					
2. 事業実績概要					
【事業内容】					
野外公共施設 (天啓公園) (ごかつら池ふるさと村どうぶつパーク (花と動物ふれあい広場))、各保育園・小学校・中学校に木製備品を設置した。					
【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】					
多気町					
【実施個所及び箇所数】					
野外公共施設 (天啓公園) (ごかつら池ふるさと村どうぶつパーク (花と動物ふれあい広場))、各保育園 (1箇所)、各小学校 (5校)、勢和中学校					
【事業量】					
天啓公園：テーブルベンチ5台					
ごかつら池ふるさと村どうぶつパーク (花と動物ふれあい広場)：木製遊具購入1基、テーブルベンチ5台					
各保育園・小学校・中学校：木製書架6台、木製整理棚1台、天板120台、					
3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】					
【事業実施により期待される効果】					
県産材の木材を利用することにより木材のもつ温かみ、素晴らしい特質を感じ木に関心を持ち、森林の役割を理解できる。					
【効果を発揮させるための工夫・取組】					
木製備品を納品する際、木製備品が完成する過程を説明し、森林に関心をもってもらう。					
【新たな対策・視点及び改善点】					
導入した施設の利用者からは、木の特性をいかした木製備品に対する評判はよい。このことから、より多くの利用者のある、自然豊かな野外公共施設に設置することで、多くの地域住民の方に身近で自然を感じ、より木の良さを実感してもらえる場を提供できる。					

## 令和5 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり		市町名	多気町	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
3	木とふれあう環境づくり事業					
事業費	10,458,800 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			6,479,000	3,979,800	0	

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】				
【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】				
①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
物品購入	森林組合	補助事業ではない		
【委託先及び補助対象者等の選定理由】				
県産材木材の取引があり、各施設の要望に応じることができる加工製品化を行っている松阪飯南森林組合に委託した。				
【主な経費内訳】				
(別紙のとおり)				
5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】				
【受益者及び、期待する波及効果】				
受益者	地域住民、小中学生（808人）、保育園児（105人）			
期待する波及効果	利用者及び保護者にも同様に森林に対する理解が広がる。			
【公的関与の必要性】				
導入した木製備品を利用することで森林教育活動が継続的に行われる。				
【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】				
各施設の管理者が定期的に点検を行う。				
6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】				
【情報発信の内容】				
手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）		
広報誌掲載	今後	広報誌「広報たき6月号」において、事業内容を掲載予定。		
7. 写真及びその他資料				
別紙のとおり				
8. その他特記事項（受益者の反応等）				

第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	多気町
------	-------------------	-----	-----

事業名	木とふれあう環境づくり事業
-----	---------------

## 4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単 位	数 量	単 価	金 額	備 考
花と動物ふれあい広場	木製遊具	基	1.00	4,950,000	4,950,000	
花と動物ふれあい広場	テーブルベンチ	台	5.00	363,000	1,815,000	
天啓公園	ベンチ	台	5.00	138,600	693,000	
勢和保育園	木製書架	台	1.00	132,000	132,000	
相可小学校	天板	台	1.00	12,523	12,523	
			44.00	12,483	549,252	
津田小学校	天板	台	1.00	12,492	12,492	
			9.00	12,483	112,347	
外城田小学校	天板	台	1.00	12,496	12,496	
			13.00	12,483	162,279	
佐奈小学校	天板	台	1.00	12,503	12,503	
			21.00	12,483	262,143	
勢和小学校	天板	台	1.00	12,509	12,509	
			28.00	12,483	349,524	
勢和小学校	木製書架 (2段2連傾斜片面)	台	2.00	213,400	426,800	
勢和小学校	木製書架 (展示台付傾斜片面)	台	2.00	266,750	533,500	
勢和小学校	木製書架 (展示台両面)	台	1.00	298,760	298,760	
勢和中学校	木製整理棚	台	1.00	111,672	111,672	
合計					10,458,800	

第11号様式（その2）（評価委員会資料）

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	多気町	新規・継続の別	継続
------	-------------------	-----	-----	---------	----

事業名	木とふれあう環境づくり事業
-----	---------------

## 7の(1). 写真



写真1

木製遊具（花と動物ふれあい広場）



写真2

テーブルベンチ（花と動物ふれあい広場）



写真3

ベンチ（天啓公園）



写真4

木製書架（勢和保育園）



写真5

木製書架（勢和小学校）



写真6

木製整理棚（勢和中学校）

資料 2 - 2

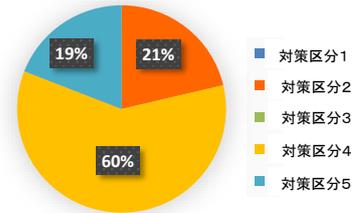
明 和 町

## 令和 5 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 市町別総合評価シート

## 1. 基礎情報「三重県市町要覧 (令和5年度版)」 「令和4年度版森林・林業統計書」による

市町名	明和町	三重県
人口 (人)	22,215	1,731,863
年少人口割合 (%) * 1	12.9%	11.6%
森林面積 (ha)	310.97	372,030.08
民有林面積 (ha) * 2	310.97	348,561.87
森林率 (%)	8.0%	64.0%
都市公園面積 (㎡/人口) * 3	13.2	10.6

対策区分別事業費割合



\* 1 : 全人口に占める15歳未満の人の割合

\* 2 : 国有林以外の森林 (個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。)

\* 3 : 都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

## 2. 令和 5 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠・加算枠) 事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額 (円) (当年度交付金額 + 基金活用額)						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	2	松林整備事業	1,485,000	1,300,000		1,300,000				
2	2	危険木除去事業	699,600	600,000		600,000				
3	4	学校木製備品導入事業	4,620,000	4,512,000				4,512,000		
4	4	木製ブース設置事業	1,060,664	800,000				800,000		
5	5	木造施設設置事業	3,113,000	1,700,000					1,700,000	
計			10,978,264	8,912,000	0	1,900,000	0	5,312,000	1,700,000	0

## 3. 令和5年度 みえ森と緑の県民税市町交付金 (連携枠) (防災枠) 事業実績

事業区分	事業量 (ha・m)	事業費 (円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
森林再生力強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業				

## 4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針
<p>明和町は三重県の中南部に位置し、総面積41.04平方キロメートルで、民有林面積は310.97ha、保安林は33.87ha (うち防風保安林は18.90ha) あります。そのうち、マツの面積が210.24haであり、その占める割合は67.6%であり県平均 (7.9%) よりかなり高い値です。しかし、松くい虫被害等により森林の持つ公益的機能の低下が懸念されることから、本町においては次に挙げる事業を行う。</p> <p>「災害に強い森林づくり」の推進として、沿岸沿いの防災林の役割及び景観を保持するため、松林の継続的な保護に取り組み、また、危険木の伐倒を行い地域住民等の安心と安全を確保する。また、「県民全体で森林を支える社会づくり」として小学生のみでなく、多くの地域の方に三重県産材の備品に触れていただくことで、森林の大切さや自然環境について考える場を提供する。</p>
事業実施により期待される効果
<p>防風林としての役割維持。</p> <p>景観保持及び憩いの場としての提供。</p> <p>整備による利用者増及び森林理解を深める。</p> <p>子どもたちに日常的に木質の良さと温かさを実感してもらい、県産材の活用促進を図る。</p> <p>災害時の二次被害の拡大を抑制する。</p>
情報発信への取組
<p>町ホームページやポスター等を通して事業内容や森林保全に係る事項、効果等に関する周知を行う。</p>

第 11 号様式 (その 1) (参考資料)

## 令和 5 年度森林環境譲与税事業の実績

事業 番号	事業カテゴリー	事業費	
		(千円)	内、譲与税 (千円)
1	⑱ 基金積立 (木材利用等)	3,104	3,104
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
	合計	3,104	3,104

## 【記載要領】

ア. 事業カテゴリーの欄は下記の項目から該当するものを選択し記載するものとする。

事業カテゴリーの項目
① 意向調査の準備作業
② 意向調査
③ 私有林整備
④ 公有林整備(財産区有林含む)
⑤ 森林保護対策
⑥ 林道・林専道の整備等
⑦ その他(森林整備)
⑧ 担い手確保
⑨ 林業就業者の育成
⑩ 専門員の雇用
⑪ 新たな組織の設立
⑫ その他(人材育成等)
⑬ 木造公共建築物の整備等
⑭ 木質バイオマス利用推進
⑮ 森林・林業・木材普及活動等
⑯ その他(木材・普及啓発関係)
⑰ 基金積立(森林整備等)
⑱ 基金積立(人材育成等)
⑲ 基金積立(木材利用等)
⑳ 基金積立(執行残額等)

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

## 令和 5 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	明和町	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
1	松林整備事業					
事業費	1,485,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			1,300,000		185,000	

1. 事業の目的
<p>町内沿岸部 (川尻・大淀地内) にかけて広がる山林・保安林指定箇所において、松くい虫による松林の立ち枯れが顕在化している。当該地域には、キャンプ場や飲食店もあり多くの利用者が見込まれている。交付金の活用により松林整備を行うことで、防風林としての役割及び景観を保持して、地域住民や観光客の安心と憩いの場を提供する。</p>
2. 事業実績概要
<p><b>【事業内容】</b></p> <p>当該地域に植生している松林の保全のため、薬剤の地上散布・伐倒を実施する。</p> <p><b>【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】</b></p> <p>明和町</p> <p><b>【実施箇所及び箇所数】</b></p> <p>明和町大淀地内、明和町川尻地内</p> <p><b>【事業量】</b></p> <p>地上散布 9.7ha (大淀地内2.7ha、川尻地内7.0ha)、伐倒 22m<sup>3</sup></p>
3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】
<p><b>【事業実施により期待される効果】</b></p> <p>南海トラフ地震発生時に懸念されている津波の影響を緩和させる及び防風林としての役割を維持する。キャンプ場、観光地としての景観保持を行い、憩いの場として提供する。</p> <p><b>【効果を発揮させるための工夫・取組】</b></p> <p>町ホームページやポスター等を通して事業内容や森林保全に係る事項、効果等に関する周知を行う。</p> <p><b>【新たな対策・視点及び改善点】</b></p> <p>松枯れによる伐倒については、このまま進んでいくと保安林の役割をはたせなくなってしまうため、植林などによる対策を検討していく。</p>

## 令和 5 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	明和町	新規・継続の別	継続
番号	事業名				
1	松林整備事業				
事業費	1,485,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			1,300,000		185,000

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】				
【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】				
①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	森林組合	補助事業ではない		
【委託先及び補助対象者等の選定理由】				
高度な技術と専門知識を有しており、適切な事業実施が見込まれるため				
【主な経費内訳】 (別紙のとおり)				
5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】				
【受益者及び、期待する波及効果】				
受益者	施設利用者、周辺住民等（約30,000人）			
期待する波及効果	景観保持をすることで施設利用者の増加が見込まれる。			
【公的関与の必要性】				
保安林のため、森林組合等専門知識を有する機関と連携しながら進めていく必要がある。				
【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】				
保安林や地区保全森林であるため、転用の恐れはない。				
6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】				
【情報発信の内容】				
手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）		
HP掲載	実施後	取組事業についてまとめて掲載。		
ポスター掲示	実施後	県民税のポスターを掲示。		
7. 写真及びその他資料				
別紙のとおり				
8. その他特記事項（受益者の反応等）				



第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	明和町	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	松林整備事業
-----	--------

7 の ( 1 ) . 写真



写真1  
伐採前



写真2  
伐採後



写真3  
地上散布施工状況



写真4  
地上散布施工状況



写真5

写真5



写真6

写真6

第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

## 令和 5 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	明和町	新規・継続の別	新規
番号	事業名					
2	危険木除去事業					
事業費	699,600 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			600,000		99,600	

1. 事業の目的						
池村・上村地区において、台風等により倒木となり、下方の人家等に被害を及ぼす可能性のある危険木の調査・除去を行い、災害に強い森林づくりを進めることで、地域住民が安心・安全に暮らせる地域を創る。						
2. 事業実績概要						
【事業内容】						
池村・上村地区の危険木の選定調査、除去を行う。						
【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】						
明和町						
【実施個所及び箇所数】						
池村地内急傾斜地						
【事業量】						
危険木処理数：17本						
3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】						
【事業実施により期待される効果】						
台風等により倒木となり、下方の人家等に被害を及ぼす可能性のある危険木を事前に除去することで、被害の軽減を図る。						
【効果を発揮させるための工夫・取組】						
事前に受託者である宮川森林組合の担当者に、専門的な見地から枯死している樹木などの危険木を選定した上で事業に取り組んだ。						
【新たな対策・視点及び改善点】						
林業が低迷し、森林所有者だけでは管理が不足する森林が増加している中、新たに、人家裏等の危険木を除去し、地域住民の安全を確保する対策を実施する。						

## 令和 5 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	明和町	新規・継続の別	新規
番号	事業名					
2	危険木除去事業					
事業費	699,600 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			600,000		99,600	

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】				
【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】				
①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	森林組合	補助事業ではない		
【委託先及び補助対象者等の選定理由】				
高度な技術と専門知識を有しており、適切な事業実施が見込まれるため。				
【主な経費内訳】 (別紙のとおり)				
5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】				
【受益者及び、期待する波及効果】				
受益者	集落住民			
期待する波及効果	集落住民の倒木に対する不安の解消が期待できる			
【公的関与の必要性】				
急傾斜地であり、専門的知識を有する機関との連携を取りながら整備していく必要がある。				
【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】				
宮川森林組合に事業を委託したことにより、適切に整備されており、転用の恐れはない。				
6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】				
【情報発信の内容】				
手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）		
HP掲載	実施後	取組内容について町HPにて掲載。		
その他	実施後	地元自治会の総会等での事業の周知。		
7. 写真及びその他資料				
別紙のとおり				
8. その他特記事項（受益者の反応等）				
地域住民からは安心して生活できると感謝の言葉をいただいた。				



第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	明和町	新規・継続の別	新規
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	危険木除去事業
-----	---------

7 の ( 1 ) . 写真



写真1  
伐採前



写真3



写真5



写真2  
伐採後



写真4



写真6

第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

## 令和 5 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	明和町	新規・継続の別	継続
番号	事業名				
3	学校木製備品導入事業				
事業費	4,620,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			4,512,000		108,000

<b>1. 事業の目的</b>					
三重県産材の小学校備品(机・椅子)を購入し、普段の学校生活において使用する中で、生徒に木のぬくもりを感じてもらい、森林への理解・大切にすることを育む。					
<b>2. 事業実績概要</b>					
<b>【事業内容】</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 町内公共設備に三重県産材を活用した木質構造物を整備することで、三重県産材の利用促進をはかる。</li> <li>・ 整備した公共施設、木質構造物を用いて木育等を実施。町民の森林や環境問題への意識向上と、県民税の周知、理解を深めた。また上御糸小学校では9月25日に5年生を対象に出前事業を行った。</li> </ul>					
<b>【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】</b>					
明和町					
<b>【実施個所及び箇所数】</b>					
町内小学校3校					
<b>【事業量】</b>					
机・椅子 120組					
<b>3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】</b>					
<b>【事業実施により期待される効果】</b>					
日常的に利用する机・椅子に県産材を利用することで、木質の良さと温かさを実感してもらう。					
<b>【効果を発揮させるための工夫・取組】</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 従来品を改良 (天板や座面を木質化) し、軽量化や耐久性の強化を図り、児童が使いやすいように工夫している。</li> <li>・ 本事業と併せて、木育事業を実施することで、より事業効果を高める取組をおこなっている。</li> </ul>					
<b>【新たな対策・視点及び改善点】</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実際に使用する現場 (小学校) の利用状況を確認し、今後の検討材料としていく。</li> </ul>					

## 令和 5 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	明和町	新規・継続の別	継続
番号	事業名				
3	学校木製備品導入事業				
事業費	4,620,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			4,512,000		108,000

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】				
【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】				
①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
物品購入	森林組合	補助事業ではない		
【委託先及び補助対象者等の選定理由】				
入札により業者決定				
【主な経費内訳】				
(別紙のとおり)				
5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】				
【受益者及び、期待する波及効果】				
受益者	児童、保護者、教育関係者（約400人）			
期待する波及効果	児童をはじめ保護者や教育関係者など幅広い世代に木の良さを感じてもらう。			
【公的関与の必要性】				
町が管理する公共施設であるため				
【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】				
町が管理しているため目的外使用の恐れはない。				
6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】				
【情報発信の内容】				
手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）		
HP掲載	実施後	取組内容について町HPにて掲載。		
ロゴマーク掲示	実施後	机・椅子にロゴマークを掲示。		
7. 写真及びその他資料				
別紙のとおり				
8. その他特記事項（受益者の反応等）				



第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	明和町	新規・継続の別	継続
------	-------------------	-----	-----	---------	----

事業名	学校木製備品購入事業
-----	------------

7の(1). 写真



写真1  
・写真の状況や撮影場所などを記載する。



写真2



写真3



写真4



写真5



写真6

第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

## 令和 5 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	明和町	新規・継続の別	新規
番号	事業名				
4	木製ブース設置事業				
事業費	1,060,664 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			800,000		260,664

<b>1. 事業の目的</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・町主催のイベント等で三重県産材を活用した木製ブース(組み立て式)を子どもたちと一緒に組み立てる等、木に触れ、ぬくもりを感じていただくと共に、三重県産材の利用促進をはかる。</li> <li>・イベント実施時以外は観光交流施設等に、森林啓発を兼ねた授乳施設等として常設し、木のぬくもりに触れる機会を創出することで、木や森林について理解を深めてもらう。</li> <li>・イベント等で木製ブースを利用することで町民の森林や環境問題への意識向上を図ると共に、県民税の周知、理解を深める。</li> </ul>					
<b>2. 事業実績概要</b>					
<b>【事業内容】</b>					
組み立て式ブースを2基購入し、イベント開催時及び観光交流施設に設置し、活用した。					
イベント：令和 5 年10月15日、令和 6 年 3 月10日					
<b>【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】</b>					
明和町					
<b>【実施個所及び箇所数】</b>					
町内各イベント及び観光交流施設					
<b>【事業量】</b>					
「つな木」組み立て式ブース2基					
<b>3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】</b>					
<b>【事業実施により期待される効果】</b>					
様々な用途に使えることから、三重県産材に触れていただく機会が増え、木質の良さと温かさを実感してもらう。					
<b>【効果を発揮させるための工夫・取組】</b>					
同一イベント会場で、みえ森づくりサポートセンターによる「森の学校&ミエトイキャラバン」を開催し、三重県産材に触れていただく機会を増やす工夫・取組をした。					
<b>【新たな対策・視点及び改善点】</b>					
イベントや観光交流施設で新たに木製ブースを利用することにより、より多くの方に木材を身近なものとして、木の良さを知るきっかけとする。					

## 令和5 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	明和町	新規・継続の別	新規
番号	事業名				
4	木製ブース設置事業				
事業費	1,060,664 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			800,000		260,664

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】				
【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】				
①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	建設業者	補助事業ではない		
【委託先及び補助対象者等の選定理由】				
町内の建築業者に対して指名競争入札を実施したが、不調であったため、随意契約に変更して業者決定。				
【主な経費内訳】 (別紙のとおり)				
5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】				
【受益者及び、期待する波及効果】				
受益者	集落住民			
期待する波及効果	三重県産材に触れていただく機会が増え、木質の良さと温かさを体感してもらう。			
【公的関与の必要性】				
町イベント等で使用するため				
【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】				
町管理のため目的外使用の恐れはない。				
6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】				
【情報発信の内容】				
手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）		
HP掲載	実施後	取組内容について町HPにて掲載。		
7. 写真及びその他資料				
別紙のとおり				
8. その他特記事項（受益者の反応等）				



第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	明和町	新規・継続の別	新規
------	-------------------	-----	-----	---------	----

事業名	木製ブース設置事業
-----	-----------

7 の ( 1 ) . 写真



写真1  
イベント使用時



写真3

写真3



写真5

写真5



写真2  
納品時



写真4

写真4



写真6

写真6

第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

## 令和 5 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	明和町	新規・継続の別	継続
番号	事業名				
5	木造施設設置事業				
事業費	3,113,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			1,700,000		1,413,000

<b>1. 事業の目的</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 町内公共整備に三重県産材を活用した木質構造物を整備することで、三重県産材の利用促進をはかる。</li> <li>・ 令和3年度に整備した東屋等も活用し、木育等を実施。町民の森林や環境問題への意識向上と、県民税の周知、理解を深める。</li> <li>・ 町南部の自然あふれる斎宮さららの森にて利用客が増加する中、子供連れの利用者から手洗い場施設の要望があり整備をすることとした。</li> </ul>					
<b>2. 事業実績概要</b>					
<b>【事業内容】</b>					
公共施設利用者向けの手洗い場を設置する。					
<b>【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】</b>					
明和町					
<b>【実施個所及び箇所数】</b>					
斎宮さららの森					
<b>【事業量】</b>					
手洗い場 1か所					
<b>3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】</b>					
<b>【事業実施により期待される効果】</b>					
施設整備による利用者の増加及び継続した利用が見込める。また、木材を用いることで森林理解を深めてもらう。					
<b>【効果を発揮させるための工夫・取組】</b>					
町ホームページ等で周知し、利用してもらうよう図っている。					
<b>【新たな対策・視点及び改善点】</b>					
施設利用者の要望を広く聞き取り、より多くの方に利用していただける施設としていく。					

## 令和 5 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	明和町	新規・継続の別	継続
番号	事業名				
5	木造施設設置事業				
事業費	3,113,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			1,700,000		1,413,000

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】				
【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】				
①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
工事請負	建設業者	補助事業ではない		
【委託先及び補助対象者等の選定理由】				
一般競争入札によって業者決定				
【主な経費内訳】				
(別紙のとおり)				
5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】				
【受益者及び、期待する波及効果】				
受益者	公共施設利用者、周辺住民、周辺児童 等 (2,000人見込み)			
期待する波及効果	施設の利用者増			
【公的関与の必要性】				
地域の憩いの場であり、町外問わず遠足等で利用されているから。				
町が管理する公共施設であるため。				
【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】				
町の管理地であるため、転用の恐れはない。				
6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】				
【情報発信の内容】				
手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）		
HP掲載	実施後	取組内容について町HPにて掲載。		
ポスター掲示	実施後	県民税のポスターを掲示		
ロゴマーク掲示(シール・プレート等)	実施後	プレートを掲示。		
7. 写真及びその他資料				
別紙のとおり				
8. その他特記事項（受益者の反応等）				



第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	明和町	新規・継続の別	継続
------	--------------------	-----	-----	---------	----

事業名	木造施設設置事業
-----	----------

7 の ( 1 ) . 写真



写真1  
着工前



写真2  
完成後 外観



写真3  
完成後 内観



写真4



写真5



写真6



資料 2 - 2

## 大 台 町

## 令和5年度 みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 市町別総合評価シート

## 1. 基礎情報「三重県市町要覧 (令和5年度版)」 「令和4年度版森林・林業統計書」による

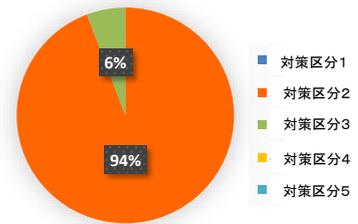
市町名	大台町	三重県
人口 (人)	8,174	1,731,863
年少人口割合 (%) * 1	8.9%	11.6%
森林面積 (ha)	33,760.45	372,030.08
民有林面積 (ha) * 2	27,941.63	348,561.87
森林率 (%)	93.0%	64.0%
都市公園面積 (㎡/人口) * 3		10.6

\* 1: 全人口に占める15歳未満の人の割合

\* 2: 国有林以外の森林 (個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。)

\* 3: 都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区別事業費割合



## 2. 令和5年度 みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠・加算枠) 事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額 (円) (当年度交付金額 + 基金活用額)						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	19,723,299	4,930,000		4,930,000				
2	2	集落周辺等危険木伐採事業	20,508,400	8,227,000		8,227,000				
3	3	森林環境教育事業	803,000	803,000			803,000			
計			41,034,699	13,960,000	0	13,157,000	803,000	0	0	0

## 3. 令和5年度 みえ森と緑の県民税市町交付金 (連携枠) (防災枠) 事業実績

事業区分	事業量 (ha・m)	事業費 (円)	内交付金充当額 (円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	56.69ha	44,569,800	44,348,000	災害緩衝林事業の周囲の間伐
森林再生力強化対策事業	6,848m	5,409,984	5,409,000	獣害防護施設設置に対する補助
災害からライフラインを守る事前伐採事業	0.6ha	19,723,299	4,930,000	ライフラインを寸断する恐れがある樹木の事前伐採(741本)

## 4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

<b>事業方針</b>	「みえ森と緑の県民税」の趣旨である「災害に強い森林づくり」の推進については、防災減災対策の事業として、道路沿いに設置されたライフライン (電線) を風倒木被害から守り、交通障害や停電被害の減少及び孤立集落の発生を予防し地域住民の安全を確保するための危険木伐採を実施しました。集落周辺や人家等への風倒木被害を未然に防ぎ、住民の安全・安心を確保するため、集落の人家裏の人工林を帯状に間伐する事業を実施しました。また、「県民全体で森林を支える社会づくり」の推進については、地元の高校生を対象に森林の循環と森林から生まれる林産物を学習する場としてキノコ栽培実習と原木の植栽実習を奥伊勢フォレストピアで実施しました。
<b>事業実施により期待される効果</b>	災害からライフラインを守る事前伐採事業については、三重県、電力会社との共同の取組として実施し、風倒木被害から交通障害や停電被害の減少と孤立集落の発生を予防し地域住民の安全を確保することができた。また、集落周辺等危険木伐採事業については、地元区長からの要望等の聞き取りにより実施するなど、各関係機関と連携を図りながら実施することにより、地域住民の安全・安心の確保につながった。森林環境教育事業については、農林業を専攻する高校生を対象として実施したことにより、大台町の森林や林産物への関心や理解を深めることができたことと好評を得た。
<b>情報発信への取組</b>	災害からライフラインを守る事前伐採事業については、県民税を活用した事業の趣旨等の情報発信を、広報紙、新聞記事 (読売新聞)、町ホームページにより行った。環境学習については高校生に対して県民税の趣旨説明の情報発信を、広報紙、新聞記事 (夕刊三重)、町ホームページにより行った。その他の事業についても施工中ののぼり旗等の設置や広報紙、町ホームページによる情報発信を行った。

第 11 号様式 (その 1) (参考資料)

令和 5 年度森林環境譲与税事業の実績

事業 番号	事業カテゴリー	事業費	
		(千円)	内、譲与税 (千円)
1	① 意向調査の準備作業	38,229	38,226
2	③ 私有林整備	47,379	47,375
3	⑤ 森林保護対策	2,888	2,888
4	⑥ 林道・林専道の整備等	34,000	17,000
5	⑧ 担い手確保	3,510	3,510
6	⑮ 森林・林業・木材普及活動等	1,332	1,331
7			
8			
9			
10			
	合計	127,338	110,330

## 【記載要領】

ア. 事業カテゴリーの欄は下記の項目から該当するものを選択し記載するものとする。

事業カテゴリーの項目
① 意向調査の準備作業
② 意向調査
③ 私有林整備
④ 公有林整備(財産区有林含む)
⑤ 森林保護対策
⑥ 林道・林専道の整備等
⑦ その他(森林整備)
⑧ 担い手確保
⑨ 林業就業者の育成
⑩ 専門員の雇用
⑪ 新たな組織の設立
⑫ その他(人材育成等)
⑬ 木造公共建築物の整備等
⑭ 木質バイオマス利用推進
⑮ 森林・林業・木材普及活動等
⑯ その他(木材・普及啓発関係)
⑰ 基金積立(森林整備等)
⑱ 基金積立(人材育成等)
⑲ 基金積立(木材利用等)
⑳ 基金積立(執行残額等)

## 第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

## 令和 5 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	大台町	新規・継続の別	継続
番号	事業名				
1	災害からライフラインを守る事前伐採事業				
事業費	19,723,299 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			4,930,000		13,477,373

1. 事業の目的					
台風などの風倒木被害による停電や交通障害によるライフライン被害を未然に予防するため、防災・減災対策としての森づくりを、三重県、電力会社 (中部電力パワーグリッド株)、町の三者で連携し危険木の事前伐採を実施する。					
2. 事業実績概要					
【事業内容】					
台風などの風倒木被害によりライフラインを寸断する恐れのある危険木の事前伐採を行う。					
【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】					
伐採施工 (1号箇所) : (株)フォレストファイターズ、伐採施工 (2号箇所) : E2リバイブ株、植栽施工 : 宮川森林組合、調査業務 : 宮川森林組合					
【実施個所及び箇所数】					
伐採施工 : 2箇所 (1号箇所 : 栃原地内) (2号箇所 : 下楠地内)					
植栽施工 : 1箇所 (桧原地内)					
調査業務 : 1箇所 (滝谷・小切畑地内)					
【事業量】					
伐採施工 : (1号箇所 : A=0.4ha、N=542本) (2号箇所 : A=0.2ha、N=199本)					
植栽施工 : (A=0.38ha、N=908本)					
調査業務 : (A=0.45ha、N=445本)					
3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】					
【事業実施により期待される効果】					
台風などの倒木による停電や交通障害等によるライフライン被害への懸念が解消された。					
【効果を発揮させるための工夫・取組】					
地域住民に対して実施状況を周知することで、取組の有効性を伝え、事業を拡げる。					
【新たな対策・視点及び改善点】					
順調に推進している。					

## 令和 5 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	大台町	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
1	災害からライフラインを守る事前伐採事業					
事業費	19,723,299 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			4,930,000		13,477,373	

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】				
【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】				
①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	林業事業体	補助事業ではない		
【委託先及び補助対象者等の選定理由】				
道路沿いの森林伐採は特殊伐採であり、実績のある認定林業事業体による請負を選定した。				
【主な経費内訳】 (別紙のとおり)				
5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】				
【受益者及び、期待する波及効果】				
受益者	大杉地区の世帯数（105世帯）、人口（187人）（R4.3末時点）			
期待する波及効果	町民にたいして森林整備の必要性の理解が広がる			
【公的関与の必要性】				
事業実施箇所は、幹線道路の電線沿いの森林であり、電力会社等による事前伐採の取組は行われてきたが、伐採の法的制限や地元調整等が課題となる。風倒被害による停電や交通障害を未然に防ぐため、防災・減災の取組として公的機関の関与は必要である。				
【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】				
事業の趣旨について、十分説明を行い、森林所有者が今後の適切な森林管理を行っていくように指導していく。				
6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】				
【情報発信の内容】				
手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）		
施工看板に掲示	実施中	施工時に看板にて表記（第 1 1 号様式（その 2）参照）		
のぼり設置	実施中	施工時にのぼり旗を設置（第 1 1 号様式（その 2）参照）		
HP掲載	今後	町HPにて掲載		
広報誌掲載	今後	町広報誌にて掲載		
その他	実施後	読売新聞に記事が掲載		
7. 写真及びその他資料				
別紙のとおり				
8. その他特記事項（受益者の反応等）				



第11号様式（その2）（評価委員会資料）

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	大台町	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	災害からライフラインを守る事前伐採事業
-----	---------------------

7の(1). 写真



写真1  
・ 伐採前状況（1号箇所）



写真2  
・ 伐採作業状況（1号箇所）



写真3  
・ 伐採完了状況（1号箇所）



写真4  
・ 伐採前状況（2号箇所）



写真5  
・ 伐採作業状況（2号箇所）



写真6  
・ 伐採完了状況（2号箇所）

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

## 令和5年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	大台町	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
2	集落周辺等危険木伐採事業					
事業費	20,508,400 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			8,227,000		12,281,400	

<b>1. 事業の目的</b>
集落周辺や人家裏等に位置する森林の公益的機能を高め、災害に強い森林づくりを行うため風倒木により人家に被害を及ぼす危険木の伐採を実施し、地域住民の安全・安心を確保する。人家裏等に位置する森林は、家屋等に近いなどの理由から伐採経費が高額となる場合が多いため、森林整備が進んでいない箇所が多い。近年では各地で起こる台風被害等もあり、当町でも里山には人工林が多いため被害が懸念されることから、大台町が事業主体となり地域と連携し実施する。
<b>2. 事業実績概要</b>
<p>【事業内容】</p> <p>間伐、危険木伐採の森林整備</p> <p>【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】</p> <p>大台町</p> <p>【実施個所及び箇所数】</p> <p>森林整備：2地区 (1号箇所：上真手地内) (2号箇所：高奈・粟生・上楠地内)</p> <p>【事業量】</p> <p>1号箇所：危険木伐採N=246本、2号箇所：間伐A=7.07ha、危険木伐採N=112本</p>
<b>3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】</b>
<p>【事業実施により期待される効果】</p> <p>集落周辺等の間伐、危険木伐採を実施したことで、地域住民の安全・安心が確保された。</p> <p>【効果を発揮させるための工夫・取組】</p> <p>地域住民に対して実施状況を周知することで、取組の有効性を伝え、事業を拡める。</p> <p>【新たな対策・視点及び改善点】</p> <p>事業の趣旨について、十分説明を行い、森林所有者が今後の適切な森林管理を行っていくように指導していく。</p>

## 令和5年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	大台町	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
2	集落周辺等危険木伐採事業					
事業費	20,508,400 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			8,227,000		12,281,400	

## 4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

## 【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	林業事業体	補助事業ではない		

## 【委託先及び補助対象者等の選定理由】

森林調査業務に精通しており、特殊伐採技術を有している認定林業事業体から選定した。

## 【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

## 5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

## 【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	大台町の世帯数 (3,639世帯) 人口 (8,668人)
期待する波及効果	町民に対して森林整備の必要性の理解が広がる

## 【公的関与の必要性】

事業実施箇所は人家裏等であり、台風等による人家への倒木被害を未然に防ぐ、防災減災対策の取組として町が主体となり実施する必要がある。

## 【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

事業の趣旨について、十分説明を行い、森林所有者が今後の適切な森林管理を行っていくように指導していく。

## 6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

## 【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
HP掲載	実施後	町HPにて掲載
広報誌掲載	今後	町広報誌にて掲載

## 7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

## 8. その他特記事項（受益者の反応等）



## 第11号様式（その2）（評価委員会資料）

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	大台町	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	集落周辺等危険木伐採事業
-----	--------------

## 7の(1). 写真



写真1

・危険木伐採前状況（1号箇所）



写真2

・危険木伐採状況（1号箇所）



写真3

・危険木伐採完了状況（1号箇所）

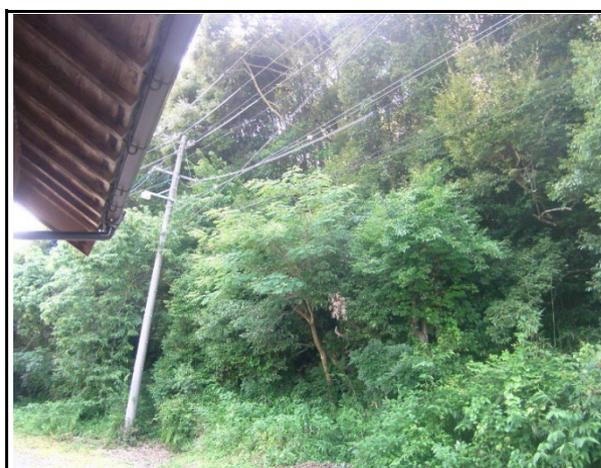


写真4

・危険木伐採前状況（2号箇所）



写真5

・危険木伐採状況（2号箇所）



写真6

・危険木伐採完了状況（2号箇所）

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

## 令和 5 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり		市町名	大台町	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
3	森林環境教育事業					
事業費	803,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			803,000			

1. 事業の目的
森林空間の利活用から、森林とふれあう機会を創設し、森林利用について学ぶ機会を提供するため、地元の昴学園高校の生徒と共同し、キノコ栽培や原木の植栽体験により、森の循環と森林から生まれる林産物の体験を通じた学習の機会を提供する。
2. 事業実績概要
<p><b>【事業内容】</b> 奥伊勢フォレストピア内で、原木の植栽体験からキノコ栽培体験を通じて森の循環学習と森林林産物の活用について学習し、学生に身近な森林についての学習を実施した。</p> <p><b>【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】</b> 大台町</p> <p><b>【実施個所及び箇所数】</b> 実施箇所：1箇所 (菌地内)</p> <p><b>【事業量】</b> 原木：61本、駒菌：1,300個、植栽：11本 (防鹿策11基) 現地学習：2回 (令和5年10月19日、本伏せ作業、収穫作業) (令和6年2月22日、菌打ち作業、仮伏せ作業、植栽及び防鹿策設置)</p>
3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】
<p><b>【事業実施により期待される効果】</b> 参加した高校生は主に農林業を専攻している生徒であることから、本事業により森の循環 (公益機能) や林産物に対する理解をより深め、森林と環境への関心が高まった。</p> <p><b>【効果を発揮させるための工夫・取組】</b> 現地で体験学習を取り入れることにより、林業従事者との交流や林業・林産物への関心を持ってもらえるように促進した。</p> <p><b>【新たな対策・視点及び改善点】</b> 植栽した苗木が将来後輩が行うキノコの原木になることなど、森林や林業が持つ森の循環や生物多様性を実習を通じて体験してもらえるようにした。</p>

## 令和 5 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり		市町名	大台町	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
3	森林環境教育事業					
事業費	803,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			803,000			
4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】						
【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】						
	①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考	
	委託事業	森林組合	補助事業ではない			
【委託先及び補助対象者等の選定理由】						
森林環境教育の実績があり、キノコ栽培に関して技術、知識、経験を有する事業体を選定した。						
【主な経費内訳】						
(別紙のとおり)						
5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】						
【受益者及び、期待する波及効果】						
	受益者	昴学園高等学校 環境技術系列生の生徒（11名）及び教職員（3名）				
	期待する波及効果	次代を担う高校生に森林に直接触れて体験を行うことで森林が持つ生物多様性と森の循環について学習することができた。				
【公的関与の必要性】						
大台町は町内唯一の高校である昴学園高校を支援していく方針であり、農林業を専攻する生徒への学習の場を提供することは重要な政策であるため、公的機関として関与することは必要である。						
【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】						
昴学園高校が適切に管理しており、転用の恐れはない。						
6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】						
【情報発信の内容】						
手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）				
のぼり設置	実施中	現地学習時にのぼり旗を設置（第 1 1 号様式（その 2）参照）				
HP掲載	今後	町HPに掲載				
広報誌掲載	今後	町広報誌に掲載				
啓発物品配布	実施後	クリアファイル、ミニタオル、パンフレットの配布				
その他	実施後	夕刊三重に記事が掲載				
7. 写真及びその他資料						
別紙のとおり						
8. その他特記事項（受益者の反応等）						



## 第11号様式(その2)(評価委員会資料)

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	大台町	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	森林環境教育事業
-----	----------

## 7の(1). 写真



写真1

・各作業の説明状況の様子



写真2

シイタケとマイタケを収穫する生徒達の様子



写真3

協力してホダ木にドリルで接種している生徒達の様子



写真4

菌打ちをしている生徒達



写真5

植栽と防鹿柵の設置をしている生徒達



写真6

夕刊三重に掲載(電子版より抜粋)



資料 2 - 2

## 伊勢市

## 令和5年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 市町別総合評価シート

## 1. 基礎情報「三重県市町要覧（令和5年度版）」「令和4年度版森林・林業統計書」による

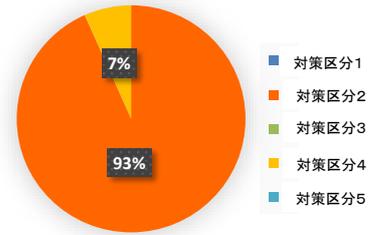
市町名	伊勢市	三重県
人口（人）	119,444	1,731,863
年少人口割合（％）*1	11.3%	11.6%
森林面積(ha)	10,956.43	372,030.08
民有林面積(ha)*2	10,956.43	348,561.87
森林率(%)	53.0%	64%
都市公園面積（㎡/人口）*3	9.7	10.6

\*1：全人口に占める15歳未満の人の割合

\*2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。）

\*3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区別事業費割合



## 2. 令和5年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	2	森林整備事業	11,752,400	11,752,400		11,752,400				
2	2	危険木除去事業	5,292,100	5,292,100		5,292,100				
3	4	絆の森ウッドデッキ整備事業	1,265,000	1,215,387				1,215,387		
計			18,309,500	18,259,887	0	17,044,500	0	1,215,387	0	0

## 3. 令和5年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）（防災枠）事業実績

事業区分	事業量	事業費 (円)	内交付金充 当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
森林再生力強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業				

## 4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針
<p>①森林整備事業 伊勢市の沿岸部には防風林として松林が広がっているが、近年の病虫害被害により枯れ松が激増し、保安林としての機能が低下し、倒木被害が心配されていることから病虫害被害を未然に防ぎ、地域住民の安全や防風林の機能維持を図る。</p> <p>②危険木除去事業 市内にある三郷山、音無山に残存している危険木を除去することで危険木による自然災害を防ぎ、地域住民に安全・安心な環境を提供する。</p> <p>③絆の森ウッドデッキ整備事業 朝熊町にある絆の森において、木育体験や森林とのふれあいを目的に様々なイベントを行っているが、当施設内に設置されているウッドデッキは腐食が著しく、一部破損している箇所もあり、施設利用者に危険を及ぼしている。このことを踏まえ早期に「森と人をつなぐ学びの場」として再整備し、森林教育等のフィールドとしてさらなる活用を図る。</p>
事業実施により期待される効果
<p>①病虫害被害を最小限にとどめることにより、防風林の役割を担っている海岸林の景観保全及び倒木による住民への被害防止を図ることが出来た。</p> <p>②三郷山、音無山にある危険木を除去することで危険木による自然災害を防ぎ、地域住民に安心・安全な環境の提供を図ることが出来た。</p> <p>③絆の森内にあるウッドデッキを再整備することにより施設利用者、地域住民が安全・快適に利用することができるとともに、森林教育等のフィールドとしての活用を促進することが出来た。</p>
情報発信への取組
<p>①施工前に地元自治会を通じて案内チラシを回覧することで、地元への周知を図っている。また、施工期間中は現地にのぼり旗の設置、訪れた人が目に付く場所に県民税のPR看板を設置して情報発信に努めている。</p> <p>②施工前に地元自治会を通じて案内チラシを回覧することで、地元への周知を図っている。また、施工期間中は現地にのぼり旗の設置、訪れた人が目に付く場所に県民税のPR看板を設置して情報発信に努めている。</p> <p>③施工期間中は現地にのぼり旗を設置している。また、訪れた人が目に付く場所に県民税のPR看板を設置して情報発信に努めている。</p>

第11号様式（その1）（参考資料）

## 令和5年度森林環境譲与税事業の実績

事業 番号	事業カテゴリー	事業費	
		(千円)	内、譲与税 (千円)
1	② 意向調査	29,733	29,733
2	③ 私有林整備	8,490	8,490
3	① 意向調査の準備作業	6,484	6,484
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
	合計	44,707	44,707

## 【記載要領】

ア. 事業カテゴリーの欄は下記の項目から該当するものを選択し記載するものとする。

事業カテゴリーの項目
① 意向調査の準備作業
② 意向調査
③ 私有林整備
④ 公有林整備(財産区有林含む)
⑤ 森林保護対策
⑥ 林道・林専道の整備等
⑦ その他(森林整備)
⑧ 担い手確保
⑨ 林業就業者の育成
⑩ 専門員の雇用
⑪ 新たな組織の設立
⑫ その他(人材育成等)
⑬ 木造公共建築物の整備等
⑭ 木質バイオマス利用推進
⑮ 森林・林業・木材普及活動等
⑯ その他(木材・普及啓発関係)
⑰ 基金積立(森林整備等)
⑱ 基金積立(人材育成等)
⑲ 基金積立(木材利用等)
⑳ 基金積立(執行残額等)

第11号様式（その2）（評価委員会資料）

## 令和5年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	伊勢市	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
1	森林整備事業					
事業費	11,752,400 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			11,752,400	0	0	

## 1. 事業の目的

伊勢市の沿岸部にある防風林は、近年の病虫害被害により枯松が激増し、保安林としての機能が低下している。このまま放置すると倒木被害の心配もあることから、当該交付金を活用して病虫害被害を未然に防止し、地域住民や観光客の安全を図る。

また、以前新たに植樹した松の苗木が育ち、密集状態となっている二見町今一色の防風林の間伐、及び下刈を行うことで、森林機能の公益的な向上を図る。

## 2. 事業実績概要

## 【事業内容】

沿岸部に植生した松の病虫害被害を防止するため、地上散布、樹幹注入、伐倒破碎を行う。  
また、密集している防風林の間伐、及び下刈を行う。

## 【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

伊勢市

## 【実施箇所及び箇所数】

7箇所（二見町茶屋、二見町荘、二見町西、二見町今一色、村松町、東豊浜町、東大淀町）市有林  
※一部自治会管理の私有林あり

## 【事業量】

地上散布 6.73ha、 樹幹注入 244本、 伐倒破碎 17.6m<sup>3</sup>、 間伐 496本、 下刈 3.68ha

## 3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

## 【事業実施により期待される効果】

病虫害被害を最小限にとどめることにより、防風林の役割を担っている海岸林の景観保全及び倒木による住民への被害防止を図ることが出来た。

## 【効果を発揮させるための工夫・取組】

地上散布、樹幹注入、伐倒破碎を一連で施工することにより、病虫害被害を最小限に留めるよう工夫した。

## 【新たな対策・視点及び改善点】

密集状態となっている部分の間伐、及び松の下刈を実施し、防風林の積極的な機能維持を図った。

## 令和5 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	伊勢市	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
1	森林整備事業					
事業費	11,752,400 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			11,752,400	0	0	

## 4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

## 【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	造園業者	補助事業ではない		

## 【委託先及び補助対象者等の選定理由】

専門的な知識と資格が必要なため。

## 【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

## 5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

## 【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	付近住民：4,051世帯 9,107人 (R6.3) 観光客：2,332,675人(R5年度)
期待する波及効果	観光客数の低下防止、倒木被害の防止

## 【公的関与の必要性】

地域住民の安心・安全な暮らしを守るために必要である。

## 【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

無断伐採や不法投棄がないよう、地域住民と協力しあって監視体制を強化していきたい。

なお、転用は想定されない。

## 6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

## 【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
チラシ等配布	実施前	施工前に地元自治体へ業務の案内チラシを配布し、地域住民に周知を図る。
施工看板に掲示	実施前・中	施工前、施工中は県民税のPR看板を設置してPRを実施。
のぼり設置	実施前・中	施工前、施工中は県民税ののぼりを設置してPRを実施。
HP掲載	実施後	みえ森と緑の県民税市町交付金事業を財源とした事業であることのPR。

## 7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

## 8. その他特記事項（受益者の反応等）

伐倒破碎、地上散布等を行うことで、倒木被害の防止、害虫の駆除を行うことができ、観光客等の安全を守ることが出来た。



第11号様式 (その2) (評価委員会資料)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	伊勢市	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	森林整備事業(地上散布)
-----	--------------

7の(1). 写真



写真1  
材料確認



写真2  
薬剤調合



写真3  
散布状況(東大淀)



写真4  
散布状況(村松)



写真5  
散布状況(二見町西)



写真6  
散布状況(二見町今一色)



写真7  
空容器検収



写真8  
PR状況

第11号様式（その2）（評価委員会資料）

## 令和5年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	伊勢市	新規・継続の別	新規
番号	事業名					
2	危険木除去事業					
事業費	5,292,100 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			3,905,600	1,386,500	0	

1. 事業の目的
近年の予想できない自然災害等で倒木の恐れがある危険木の除去を行うことにより、危険木による自然災害を防ぎ、地域住民に安全・安心な環境を提供する。
2. 事業実績概要
<p>【事業内容】</p> <p>市内にある三郷山、音無山に残存している危険木の除去を行い、危険木による自然災害を防ぎ、地域住民に安全・安心な環境の提供を図る。</p> <p>【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】</p> <p>伊勢市</p> <p>【実施個所及び箇所数】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・三郷山(N=2本、L=90m)</li> <li>・音無山(N=5本)</li> </ul> <p>【事業量】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・三郷山(N=2本、L=90m)</li> <li>・音無山(N=5本)</li> </ul>
3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】
<p>【事業実施により期待される効果】</p> <p>三郷山、音無山にある危険木を除去することで危険木による自然災害を防ぎ、地域住民に安全・安心な環境の提供を図ることが出来た。</p> <p>【効果を発揮させるための工夫・取組】</p> <p>散策者数が増える春を迎える前に施工することで散策者の低下を防止した。</p> <p>【新たな対策・視点及び改善点】</p> <p>様々な場所に残存している危険木を調査し、除去していきたい。</p>

## 令和5 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	伊勢市	新規・継続の別	新規
番号	事業名					
2	危険木除去事業					
事業費	5,292,100 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			3,905,600	1,386,500	0	

## 4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

## 【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	造園業者	補助事業ではない		

## 【委託先及び補助対象者等の選定理由】

専門的な知識と資格が必要なため。

## 【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

## 5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

## 【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	三郷山、音無山利用者
期待する波及効果	倒木被害の防止により三郷山、音無山の散策者数の低下を防止する

## 【公的関与の必要性】

地域住民の安心・安全な暮らしを守るために必要である。

## 【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

無断伐採や不法投棄がないよう地域住民と協力しあって監視体制を強化していきたい。

なお、転用は想定されない。

## 6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

## 【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
チラシ等配布	実施前	施工前に地元自治区へ業務の案内チラシを配布し、地域住民に周知を図る。
施工看板に掲示	実施前・中	施工前、施工中は県民税のPR看板を設置してPRを実施。
のぼり設置	実施前・中	施工前、施工中は県民税ののぼりを設置してPRを実施。
HP掲載	実施後	みえ森と緑の県民税市町交付金事業を財源とした事業であることのPR。

## 7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

## 8. その他特記事項（受益者の反応等）

危険木の除去を行ったことで危険木による被害が減少し、付近住民等から御礼の言葉をいただいている。



第11号様式 (その2) (評価委員会資料)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	伊勢市	新規・継続の別	新規
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	危険木除去事業(三郷山)
-----	--------------

## 7の(1). 写真

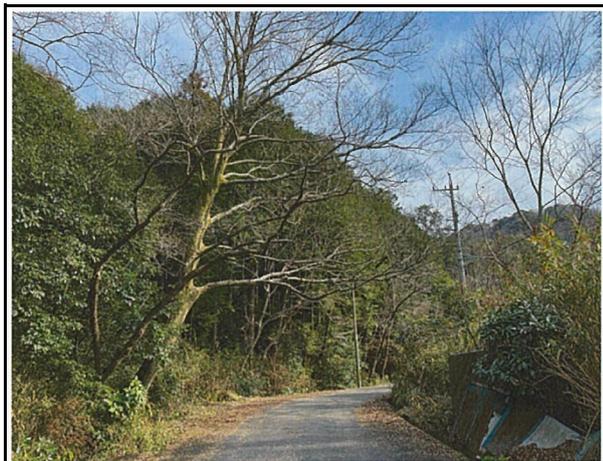


写真1

施工前



写真2

施工中



写真3

施工後



写真4

施工前

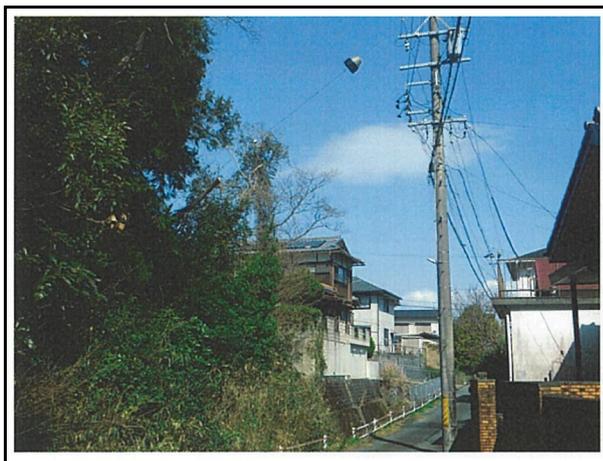


写真5

施工後



写真6

PR状況

第11号様式（その2）（評価委員会資料）

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	伊勢市	新規・継続の別	新規
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	危険木除去事業(音無山)
-----	--------------

7の(1). 写真



写真1  
施工前



写真2  
施工中



写真3  
施工中



写真4  
施工後



写真5  
PR状況

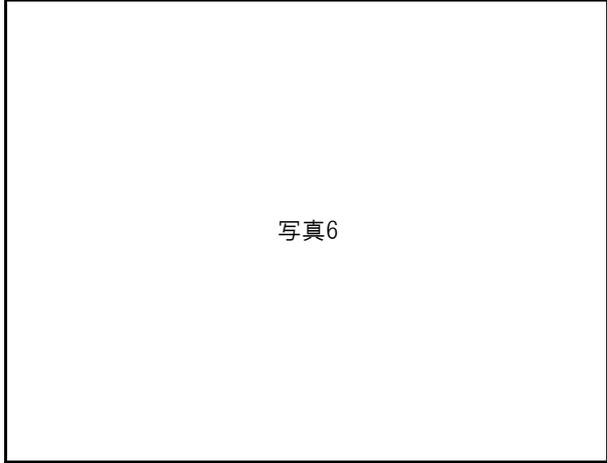


写真6

第11号様式（その2）（評価委員会資料）

## 令和5年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	伊勢市	新規・継続の別	新規
番号	事業名				
3	絆の森ウッドデッキ整備事業				
事業費	1,265,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			0	1,215,387	49,613

<b>1. 事業の目的</b>
朝熊町にある絆の森において、木育体験や森林とのふれあいを目的に様々なイベントを行っている。また、ウォーキングや散策に訪れる方も多くいるが、当施設内に設置されているウッドデッキは腐食が著しく、一部破損している箇所もあり、施設利用者に危険を及ぼしている。このことを踏まえ早期に「森と人をつなぐ学びの場」として再整備し、森林教育等のフィールドとしてさらなる活用を図る。
<b>2. 事業実績概要</b>
<p>【事業内容】 腐食、破損しているウッドデッキの再整備を行い、地域住民に安全・安心な環境の提供を図る。</p> <p>【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】 伊勢市</p> <p>【実施個所及び箇所数】 ・ウッドデッキ再整備2箇所</p> <p>【事業量】 ・ウッドデッキ再整備2箇所</p>
<b>3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】</b>
<p>【事業実施により期待される効果】 絆の森内にあるウッドデッキを再整備することにより、施設利用者、地域住民が安全・快適に利用することができたとともに、森林教育等のフィールドとしての活用を促進させることが出来た。</p> <p>【効果を発揮させるための工夫・取組】 例年3月中に森林教育等のフィールドとして活用されるため、3月中に整備を行った。</p> <p>【新たな対策・視点及び改善点】 ウッドデッキを再整備し安全・快適な利用環境を整えることで、施設利用者の増加を図るとともに、森林教育等のフィールドとしての活用を促進することにより、「県民全体で森林を支える社会づくり」を推進する。</p>

## 令和5年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり		市町名	伊勢市	新規・継続の別	新規
番号	事業名					
3	絆の森ウッドデッキ整備事業					
事業費	1,265,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			0	1,215,387	49,613	

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
工事請負	建設業者	補助事業ではない		

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

専門的な知識が必要なため。

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	絆の森利用者
期待する波及効果	絆の森の安全な利用、森林教育としてのフィールドの活用

【公的関与の必要性】

施設利用者、地域住民が安全・快適に利用するために必要である。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

不法投棄等がないよう地域住民と協力しあって監視体制を強化していきたい。  
なお、転用は想定されない。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
施工看板に掲示	実施前・中	施工前、施工中は県民税のPR看板を設置してPRを実施。
のぼり設置	実施前・中	施工前、施工中は県民税ののぼりを設置してPRを実施。
HP掲載	実施後	みえ森と緑の県民税市町交付金事業を財源とした事業であることのPR。

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

ウッドデッキの再整備を行ったことで施設利用者、地域住民から御礼の言葉をいただいている。



第11号様式 (その2) (評価委員会資料)

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	伊勢市	新規・継続の別	新規
------	-------------------	-----	-----	---------	----

事業名	絆の森ウッドデッキ整備事業
-----	---------------

7の(1). 写真



写真1

施工前



写真2

施工中



写真3

施工後



写真4

施工前



写真5

施工中



写真6

施工後

資料 2 - 2

## 鳥羽市

## 令和 5 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 市町別総合評価シート

## 1. 基礎情報「令和 5 年度版三重県市町要覧」「令和 4 年度版森林・林業統計書」による

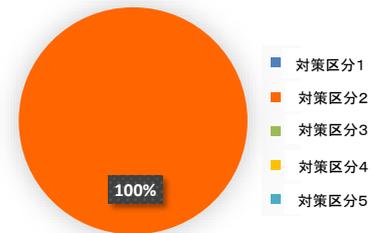
市町名	鳥羽市	三重県
人口 (人)	16,529	1,731,863
年少人口割合 (%) * 1	8.5%	11.6%
森林面積 (ha)	7,483.76	372,030.08
民有林面積 (ha) * 2	7,483.76	348,561.87
森林率 (%)	70.0%	64.0%
都市公園面積 (㎡/人口) * 3	11.2	10.6

\* 1 : 全人口に占める15歳未満の人の割合

\* 2 : 国有林以外の森林 (個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。)

\* 3 : 都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

## 対策区別事業費割合



## 2. 令和 5 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠・加算枠) 事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額 (円) (当年度交付金額 + 基金活用額)						
				小計	対策区分 1	対策区分 2	対策区分 3	対策区分 4	対策区分 5	基金積立
1	2	危険木伐採事業	1,878,000	1,877,152		1,877,152				
2	2	危険木伐採事業費補助金事業	8,033,000	8,033,000		8,033,000				
3	2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	4,400,000	1,100,000		1,100,000				
計			14,311,000	11,010,152	0	11,010,152	0	0	0	0

## 3. 令和 5 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金 (連携枠) (防災枠) 事業実績

事業区分	事業量 (ha・m)	事業費 (円)	内交付金充当額 (円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
森林再生力強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業	110本	4,400,000	1,100,000	

## 4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

<p><b>事業方針</b></p> <p>本市では、人工林率が25%となっており、人工林率が低く、天然率が高いことが特徴である。本市の強みである水産業と森林には密接な関連があり、本市内の森林を整備することで、水源涵養力や土砂流出災害防止などの森林本来の機能を回復させるとともに、森林の土壌に含まれているミネラルなどが川へ流れ込み海に入り、磯焼けの防止や藻場の再生につながり、海産物の育成などにも好影響が生じる。</p> <p>しかし、本市では急峻な地形であることや林業経営体が減少していることにより、森林整備が進んでおらず、海産物や市民生活に支障をきたす恐れがある立木が多い。そのため、危険木の除去など暮らしに身近な森林の整備をすすめ、市民の生活に支障をきたすことがないようにするとともに、森林の整備を行うことが海の環境改善にもつながる。</p>
<p><b>事業実施により期待される効果</b></p> <p>危険木の伐採を行ったことにより、市民が安心安全な生活を送ることができるようになった。また、危険木伐採 (補助金) では、市が施行するまでの間に状況が変化し倒木する可能性がある。補助金事業として町内会が主体となって行うことにより、各町が一番危険と感じている木を最優先でそれぞれ伐採できるため、危険要因を排除できる。</p> <p>また、伐採木は実施した町内で必要とする人が必要分活用することにより、木がもつぬくもりや利便性を感じてもらえることができた。</p>
<p><b>情報発信への取組</b></p> <p>危険木伐採を実施する前に、対象となる町内会に回覧文書を作成し、周知を図った。また、施行後には町内会を通じて、伐採木活用意向を聞き取ってもらい、伐採木を引き取ってもらう人に対して周知を行った。</p> <p>市ホームページでは、県民税に関するページを作成し、紙ベースではなくインターネットでも実績の周知を図った。</p>

第 11 号様式 (その 1) (参考資料)

## 令和 5 年度森林環境譲与税事業の実績

事業 番号	事業カテゴリー	事業費	
		(千円)	内、譲与税 (千円)
1	① 意向調査の準備作業	770	770
2	③ 私有林整備	3,637	3,532
3	⑦ その他 (森林整備)	185	185
4	⑩ 専門員の雇用	2,763	2,763
5	⑫ その他 (人材育成等)	24	24
6			
7			
8			
9			
10			
	合計	7,379	7,274

## 【記載要領】

ア. 事業カテゴリーの欄は下記の項目から該当するものを選択し記載するものとする。

事業カテゴリーの項目
① 意向調査の準備作業
② 意向調査
③ 私有林整備
④ 公有林整備(財産区有林含む)
⑤ 森林保護対策
⑥ 林道・林専道の整備等
⑦ その他(森林整備)
⑧ 担い手確保
⑨ 林業就業者の育成
⑩ 専門員の雇用
⑪ 新たな組織の設立
⑫ その他(人材育成等)
⑬ 木造公共建築物の整備等
⑭ 木質バイオマス利用推進
⑮ 森林・林業・木材普及活動等
⑯ その他(木材・普及啓発関係)
⑰ 基金積立(森林整備等)
⑱ 基金積立(人材育成等)
⑲ 基金積立(木材利用等)
⑳ 基金積立(執行残額等)

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

## 令和 5 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	鳥羽市	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
1	危険木伐採事業					
事業費	1,878,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			1,865,000	12,152	848	

## 1. 事業の目的

町内会から提出された危険木伐採要望箇所の現地確認を行い、より危険であると判定された樹木から伐採を行い、市民の生活に支障をきたす恐れのある木を取り除く。

## 2. 事業実績概要

## 【事業内容】

池上町、菅島町、石鏡町、鳥羽三丁目の4箇所での業務委託を行い、伐採を実施した。

## 【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】

鳥羽市

## 【実施箇所及び箇所数】

池上町、菅島町、石鏡町、鳥羽三丁目 4 箇所

## 【事業量】

15本

## 3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

## 【事業実施により期待される効果】

町内会・自治会から出される要望の中で規模の大きな案件については、市の事業として実施することで地元の負担軽減につながっている。また、町内会・自治会から提出されている伐採要望のため、それぞれの地区において危険度が高い樹木から伐採できることから、各地区における危険要因を排除でき、市民が安全・安心な日常生活を維持することが可能である。

## 【効果を発揮させるための工夫・取組】

伐採を行う必要性が高いものから申請を提出してもらった。

## 【新たな対策・視点及び改善点】

今までは、危険木伐採を行う際は、根元からの伐採で統一して行っていたが、根元からの伐採だけでなく、枝払い等も施行方法の一つとして取り入れることにより、根系による表層崩壊防止機能を維持できるように配慮した。

## 令和 5 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	鳥羽市	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
1	危険木伐採事業					
事業費	1,878,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			1,865,000	12,152	848	

## 4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

## 【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	造園業者	補助事業ではない	補助額無	

## 【委託先及び補助対象者等の選定理由】

墓地に飛び出している木の伐採など、高度な技術を要するため市内の造園業者から選定した。

## 【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

## 5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

## 【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	池上町、菅島町、石鏡町、鳥羽三丁目に居住する市民
期待する波及効果	市民だけでなく、観光客などへ被害を防止できる。

## 【公的関与の必要性】

危険木伐採は所有者自身だけでは対応できない樹木が多く、市が危険木判定を行ったうえで伐採業務を業者へ委託することにより、公平性をもって要望に応えることが可能である。

## 【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

伐採した箇所は、個人や市が適切に管理しているため、転用される恐れはない。

## 6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

## 【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
のぼり設置	実施中	施行箇所の近くに設置し、県民税活用事業であることの周知を図る。
HP掲載	実施後	県民税事業活用ページに事業量を掲載。

## 7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

## 8. その他特記事項（受益者の反応等）

大雨や台風時の停電や、土砂崩れの恐れが軽減された。

## 第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	鳥羽市
事業名	危険木伐採事業		

## 4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
危険木伐採		式	1.00	402,000	402,000	池上町
危険木伐採		式	1.00	454,000	454,000	菅島町
危険木伐採		式	1.00	454,000	454,000	石鏡町
危険木伐採		式	1.00	240,000	240,000	鳥羽三丁目
事務費		式	1.00	157,273	157,273	
小計					1,707,273	
消費税及び地方税相当額					170,727	
合計					1,878,000	

## 第11号様式(その2)(評価委員会資料)

対策区分	2.暮らしに身近な森林づくり	市町名	鳥羽市	新規・継続の別	継続
------	----------------	-----	-----	---------	----

事業名	危険木伐採事業
-----	---------

## 7の(1).写真



写真1

池上町 施工前

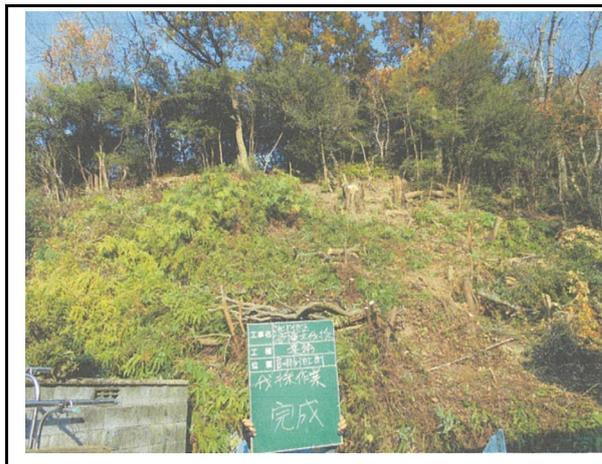


写真2

池上町 完了



写真3

菅島町 施工前



写真4

菅島町 完了

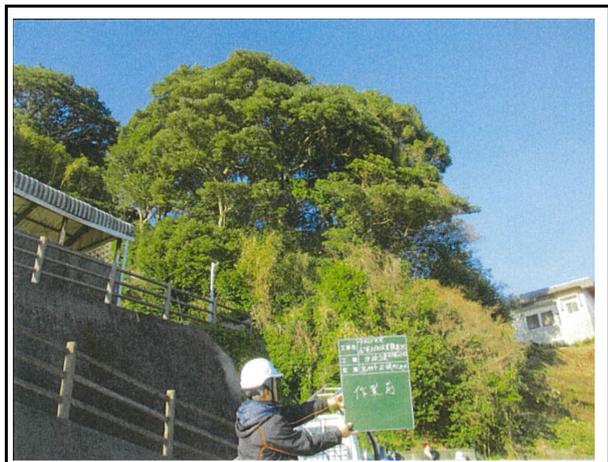


写真5

石鏡町 施工前



写真6

石鏡町 完了

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

## 令和 5 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	鳥羽市	新規・継続の別	新規
番号	事業名				
2	危険木伐採事業費補助金事業				
事業費	8,033,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			6,477,000	1,556,000	

## 1. 事業の目的

各地域で伐採を行う必要性が高い倒木の恐れがある危険な木を町内会・自治体が主体となって除去し、安心・安全なまちづくりを目指し生活環境の向上を図る。

## 2. 事業実績概要

## 【事業内容】

錦町・池上・小浜・坂手・大明東町・大明西町・船津・若杉・河内・岩倉・松尾・国崎・相差・千賀・堅子・答志和具・神島の17町内会・自治会が行う危険木伐採業務への補助を実施。

## 【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】

町内会・自治会

## 【実施個所及び箇所数】

錦町・池上・小浜・坂手・大明東町・大明西町・船津・若杉・河内・岩倉・松尾・国崎・相差・千賀・堅子・答志和具・神島 17地区

## 【事業量】

287本

## 3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

## 【事業実施により期待される効果】

町内会・自治会から提出されている伐採要望のため、それぞれの地区において危険度が高い樹木から伐採できるため、各地区における危険要因を排除でき、市民が安全・安心な日常生活を維持することが可能である。

## 【効果を発揮させるための工夫・取組】

補助金においては、各町内会で優先順位をそれぞれ精査してもらい、各地区で伐採を行う必要性が高いものから申請を提出してもらった。

## 【新たな対策・視点及び改善点】

今までは、危険木伐採を行う際は、根元からの伐採で統一して行っていたが、根元からの伐採だけでなく、枝払い等も施行方法の一つとして取り入れることにより、根系による多面的機能を維持できるように配慮した。

## 令和 5 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	鳥羽市	新規・継続の別	新規
番号	事業名					
2	危険木伐採事業費補助金事業					
事業費	8,033,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			6,477,000	1,556,000		

## 4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

## 【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
補助事業	自治会等	10/10以内	50万円	

## 【委託先及び補助対象者等の選定理由】

町内会長・自治会長から申請があり、優先度の高い箇所から選定した。

## 【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

## 5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

## 【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	錦町・池上・小浜・坂手・大明東町・大明西町・船津・若杉・河内・岩倉・松尾・国崎・相差・千賀・堅子・答志和具・神島に居住する市民
期待する波及効果	市民だけでなく、観光客などへ被害を防止できる。

## 【公的関与の必要性】

危険木伐採は所有者自身だけでは対応できない樹木が多く、市が危険木判定を行ったうえで伐採業務を業者へ委託することにより、公平性をもって要望に応えることが可能である。

## 【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

伐採した箇所は、個人や市が適切に管理しているため、転用される恐れはない。

## 6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

## 【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
のぼり設置	実施中	施行箇所の近くに設置し、県民税活用事業であることの周知を図る。
HP掲載	実施後	県民税事業活用ページに事業量を掲載。
チラシ等配布	実施前	補助事業の周知を図るために、チラシを各町内会・自治会に配布

## 7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

## 8. その他特記事項（受益者の反応等）

停電や崩落の恐れが軽減された。

## 第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	鳥羽市
------	-----------------	-----	-----

事業名	危険木伐採事業費補助金事業
-----	---------------

## 4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
危険木伐採 (補助金)		本	2.00	250,250	500,000	錦町
危険木伐採 (補助金)		本	6.00	83,600	500,000	池上
危険木伐採 (補助金)		本	10.00	49,500	495,000	小浜
危険木伐採 (補助金)		本	3.00	272,067	500,000	逆手
危険木伐採 (補助金)		本	4.00	123,750	495,000	大明東町
危険木伐採 (補助金)		本	6.00	119,167	500,000	大明西町
危険木伐採 (補助金)		本	3.00	100,000	300,000	船津
危険木伐採 (補助金)		本	3.00	130,533	391,000	若杉
危険木伐採 (補助金)		本	30.00	16,647	499,000	河内
危険木伐採 (補助金)		本	30.00	16,333	490,000	岩倉
危険木伐採 (補助金)		本	40.00	11,250	450,000	松尾
危険木伐採 (補助金)		本	8.00	61,875	495,000	国崎
危険木伐採 (補助金)		本	100.00	4,940	494,000	相差
危険木伐採 (補助金)		本	2.00	247,500	495,000	千賀
危険木伐採 (補助金)		本	35.00	14,143	495,000	堅子
危険木伐採 (補助金)		本	3.00	166,485	499,000	答志和具
危険木伐採 (補助金)		本	2.00	217,800	435,000	神島
			合計		8,033,000	

第11号様式(その2) (評価委員会資料)

対策区分	2.暮らしに身近な森林づくり	市町名	鳥羽市	新規・継続の別	新規
------	----------------	-----	-----	---------	----

事業名	危険木伐採事業費補助金事業
-----	---------------

## 7の(1).写真



写真1

若杉町 施工前



写真2

若杉町 完了

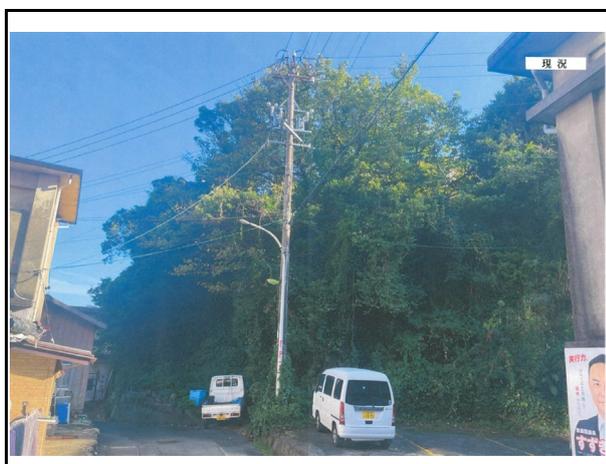


写真3

国崎町 施工前

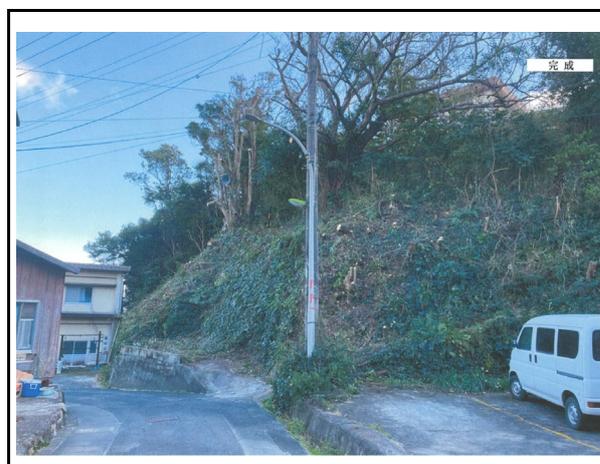


写真4

国崎町 完了

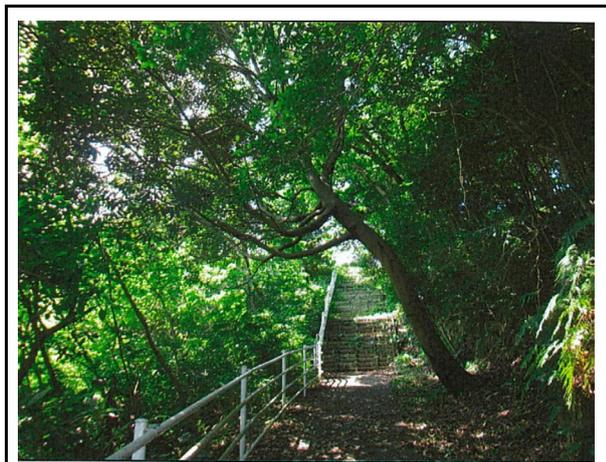


写真5

大明西町 施工前

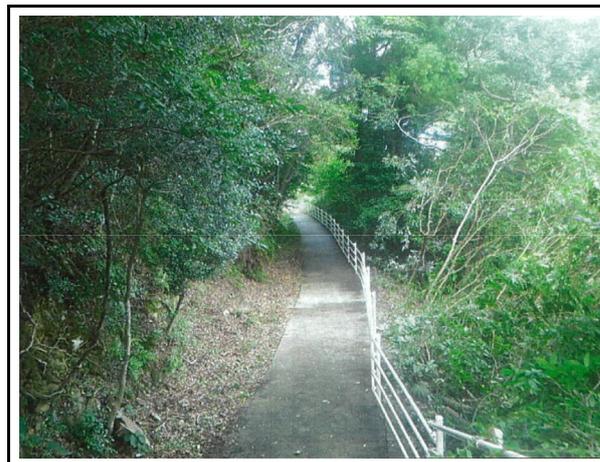


写真6

大明西町 完了

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

令和 5 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	鳥羽市	新規・継続の別	新規
番号	事業名					
3	災害からライフラインを守る事前伐採事業					
事業費	4,400,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			0	1,100,000	3,300,000	

1. 事業の目的	
<p>台風時などの倒木被害により、電線等のライフラインを寸断する恐れのある樹木を事前に伐採し、もって災害時におけるライフラインの保全を図ることで市民の安全・安心な暮らしを守る。</p>	
2. 事業実績概要	
<p><b>【事業内容】</b></p> <p>鳥羽一丁目地内1か所、河内町地内2か所の3か所を業務委託で伐採を実施した。</p> <p><b>【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】</b></p> <p>鳥羽市</p> <p><b>【実施個所及び箇所数】</b></p> <p>鳥羽一丁目地内1か所、河内町地内2か所</p> <p><b>【事業量】</b></p> <p>110本</p>	
3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】	
<p><b>【事業実施により期待される効果】</b></p> <p>町内会・自治会から提出されている伐採要望の中からライフライン事業者に優先度を判定してもらっているため、それぞれの地区において危険度が高い樹木から伐採できることから、各地区においての危険要因を排除でき、市民が安全・安心な日常生活を維持することが可能である。</p> <p><b>【効果を発揮させるための工夫・取組】</b></p> <p>町内会・自治会から提出されている伐採要望の中からライフライン事業者に優先度を判定してもらった。</p> <p><b>【新たな対策・視点及び改善点】</b></p> <p>今までは、危険木伐採を行う際は、根元からの伐採で統一して行っていたが、根元からの伐採だけでなく、枝払い等も施行方法の一つとして取り入れることにより、根系による表層崩壊防止機能を維持できるように配慮した。</p>	

## 令和 5 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	鳥羽市	新規・継続の別	新規
番号	事業名					
3	災害からライフラインを守る事前伐採事業					
事業費	4,400,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			0	1,100,000	3,300,000	

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】				
【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】				
①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	いせしま森林組合	補助事業ではない		
【委託先及び補助対象者等の選定理由】				
電線に絡んでいる木もあることから、高度な技術を要するため市内で危険木伐採事業を実施したことから業者から選定した。				
【主な経費内訳】 (別紙のとおり)				
5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】				
【受益者及び、期待する波及効果】				
受益者	鳥羽一丁目、河内町に居住する市民			
期待する波及効果	市民だけでなく、観光客などへ被害を防止できる。			
【公的関与の必要性】				
危険木伐採は所有者自身だけでは対応できない樹木が多く、市が危険木判定を行ったうえで伐採業務を業者へ委託することにより、公平性をもって要望に応えることが可能である。				
【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】				
伐採した箇所は、個人や市が適切に管理しているため、転用される恐れはない。				
6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】				
【情報発信の内容】				
手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）		
のぼり設置	実施中	施行箇所の近くに設置し、県民税活用事業であることの周知を図る。		
HP掲載	実施後	県民税事業活用ページに事業量を掲載。		
7. 写真及びその他資料				
別紙のとおり				
8. その他特記事項（受益者の反応等）				
大雨や台風時の停電や、土砂崩れの恐れが軽減された。				

第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	鳥羽市
事業名	災害からライフラインを守る事前伐採事業		

## 4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
災害からライフラインを守る事前伐採事業		式	1.00	4,000,000	4,000,000	鳥羽一丁目、河内町
小計					4,000,000	
消費税及び地方税相当額					400,000	
合計					4,400,000	

第11号様式（その2）（評価委員会資料）

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	鳥羽市	新規・継続の別	新規
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	災害からライフラインを守る事前伐採事業
-----	---------------------

7の(1). 写真

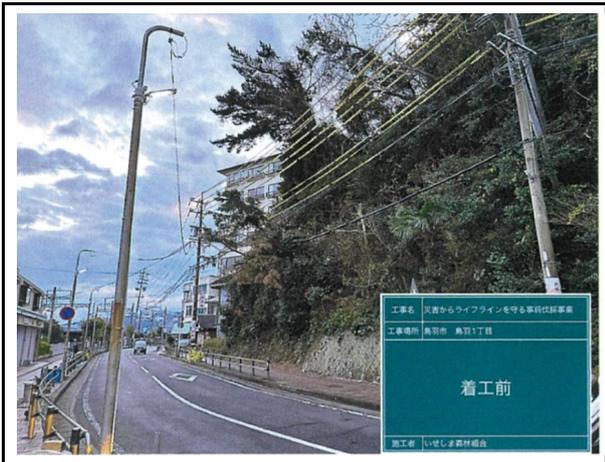


写真1  
鳥羽一丁目 施工前

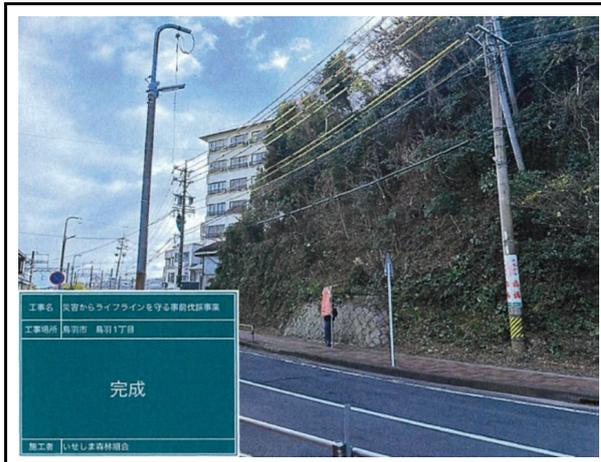


写真2  
鳥羽一丁目 完了

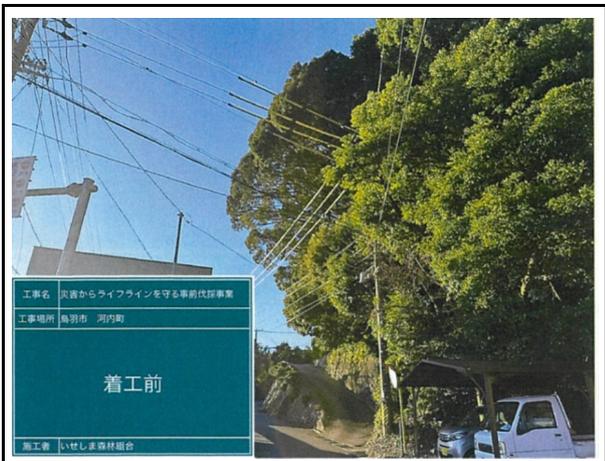


写真3  
河内町1 施工前

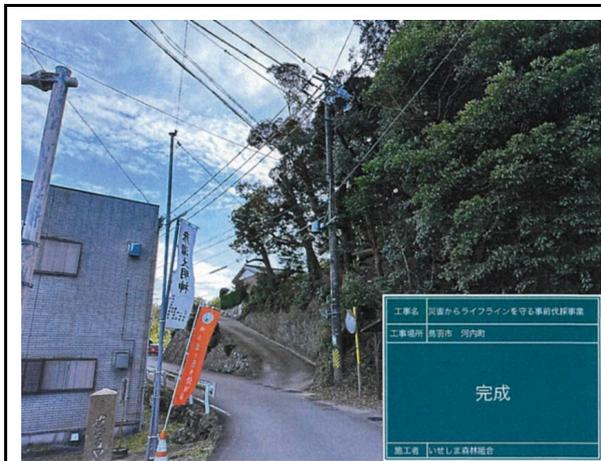


写真4  
河内町1 完了



写真5  
河内町2 施工前

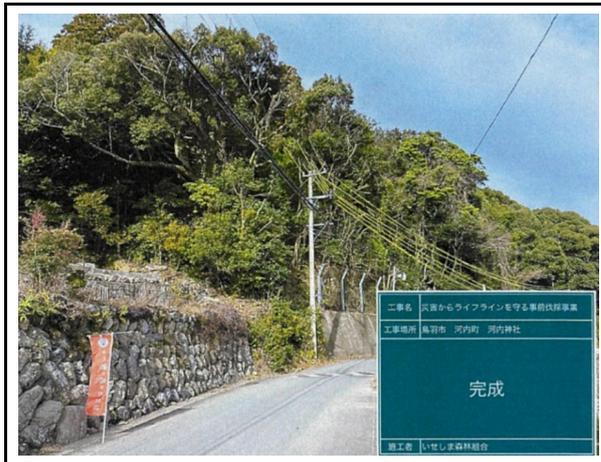


写真6  
河内町2 完了



資料 2 - 2

## 志摩市

## 令和5年度 みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 市町別総合評価シート

## 1. 基礎情報「三重県市町要覧 (令和5年度版)」 「令和4年度版森林・林業統計書」による

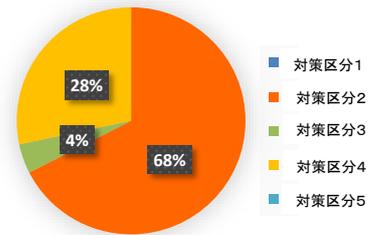
市町名	志摩市	三重県
人口 (人)	43,323	1,731,863
年少人口割合 (%) * 1	8.2%	11.6%
森林面積 (ha)	9,103.74	372,030.08
民有林面積 (ha) * 2	9,101.49	348,561.87
森林率 (%)	51.0%	64.0%
都市公園面積 (m <sup>2</sup> /人口) * 3	6.7	10.6

\* 1 : 全人口に占める15歳未満の人の割合

\* 2 : 国有林以外の森林 (個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。)

\* 3 : 都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合



## 2. 令和5年度 みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠・加算枠) 事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額 (円) (当年度交付金額 + 基金活用額)						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	2	災害に強い森林づくり事業	6,493,300	6,493,000		6,493,000				
2	2	松くい虫防除事業	886,600	653,000		653,000				
3	3	森と緑ふれあい事業	443,850	443,000			443,000			
4	4	阿児ふるさと公園東屋設置事業	4,276,465	3,000,000				3,000,000		
計			12,100,215	10,589,000	0	7,146,000	443,000	3,000,000	0	0

## 3. 令和5年度 みえ森と緑の県民税市町交付金 (連携枠) (防災枠) 事業実績

事業区分	事業量 (ha・m)	事業費 (円)	内交付金充当額 (円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	7ha	2,640,000	2,640,000	調整伐
森林再生力強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業				

## 4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

<p><b>事業方針</b></p> <p>志摩市の森林の多くは、広葉樹が広がり、薪炭林などとして利用されていたが、社会情勢の変化により、里山としての森林利用がされなくなり、森林病害虫の発生が見られたり、獣害被害が農地や人家近くに及ぶようになってきた。</p> <p>この状況下において、森林の持つ多面的な機能を市民に知ってもらうために、木製品にふれあう機会を創出や体験型の講習会などを通じ里山保全の手法を体験していただき、市民による森と緑ふれあい事業の取り組みをさらに推進する。</p> <p>併せて災害に強い森林づくりとして森林整備を進めていく。</p>
<p><b>事業実施により期待される効果</b></p> <p>①体験型の講習会を開催したことにより、森林への関心やその手法を市民に伝えることができた。</p> <p>②古くから海岸保全林として地元住民に親しまれていた松林の保全ができた。また、森林公園としての松林の保全ができた。</p> <p>③特定水源地域において、連携枠を活用し、調整伐を実施し、森林整備が促進された。</p>
<p><b>情報発信への取組</b></p> <p>事業実施時の工事看板及び備品購入にあたっては、当該備品に県民税活用した旨を記載したプレートを設置している。</p> <p>また、事業実施時において地元自治会長等に事業を周知する文書を配布するにあたり、文書内に県民税を活用して事業実施している旨の文言を記載して地元住民への周知を図っている。</p> <p>事業成果について、市ホームページで紹介している。</p>

第 11 号様式 (その 1) (参考資料)

## 令和 5 年度 森林環境譲与税事業の実績

事業 番号	事業カテゴリー	事業費	
		(千円)	内、譲与税 (千円)
1	⑥ 林道・林専道の整備等	7,271	7,271
2	⑦ その他 (森林整備)	499	499
3	⑧ 担い手確保	1,900	1,900
4	④ 公有林整備 (財産区有林含む)	3,395	3,395
5	⑩ その他 (木材・普及啓発関係)	2,200	2,200
6			
7			
8			
9			
10			
	合計	15,265	15,265

## 【記載要領】

ア. 事業カテゴリーの欄は下記の項目から該当するものを選択し記載するものとする。

事業カテゴリーの項目
① 意向調査の準備作業
② 意向調査
③ 私有林整備
④ 公有林整備 (財産区有林含む)
⑤ 森林保護対策
⑥ 林道・林専道の整備等
⑦ その他 (森林整備)
⑧ 担い手確保
⑨ 林業就業者の育成
⑩ 専門員の雇用
⑪ 新たな組織の設立
⑫ その他 (人材育成等)
⑬ 木造公共建築物の整備等
⑭ 木質バイオマス利用推進
⑮ 森林・林業・木材普及活動等
⑯ その他 (木材・普及啓発関係)
⑰ 基金積立 (森林整備等)
⑱ 基金積立 (人材育成等)
⑲ 基金積立 (木材利用等)
⑳ 基金積立 (執行残額等)

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

## 令和 5 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	志摩市	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
1	災害に強い森林づくり事業					
事業費	6,493,300 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			6,493,000		300	

## 1. 事業の目的

人家裏や道路沿いの森林において、幹や枝が折れることにより、人身や財産に影響を及ぼす可能性のある樹木を除去し、倒木による災害から市民の生命や財産を守るため。

## 2. 事業実績概要

## 【事業内容】

道路沿いの危険木の除去を行う。駐車場、道路に隣接している枯木等危険木の除去を行う。

## 【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】

志摩市

## 【実施箇所及び箇所数】

阿児町立神地内 1か所 阿児町甲賀地内 1か所

## 【事業量】

L832m × H8m = 6656㎡ (立神地内)

7本 (甲賀地内)

## 3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

## 【事業実施により期待される効果】

道路沿いで通行に支障のある箇所の危険木が除去できたことにより、道路の見通しが良くなり、周辺住民の安全性が保たれた。

地元自治会から危険木の除去ができて光が差したことで、見通しがよくなったとの意見をいただいた。

道路沿い、建物付近の枯木、危険木を伐採し、強風での倒木の危険性が低くなったことで道路使用者及び周辺住民から喜びの声が寄せられた。

## 【効果を発揮させるための工夫・取組】

道路沿いの危険木は市内に数多くあり、その中においても交通量が多く、危険木も多い箇所から順番に実施していくことで、市民の安心安全を守ることができる。

また、他町においても自治会要望等で依頼があるため、今後も引き続き実施していく必要があると考える。

## 【新たな対策・視点及び改善点】

前年度と同様の事業内容であり、新たな対策や改善点等は特になし。

今後も引き続き、事業実施を継続していく。

## 令和 5 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	志摩市	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
1	災害に強い森林づくり事業					
事業費	6,493,300 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			6,493,000		300	

## 4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

## 【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	建設業者	その他		

## 【委託先及び補助対象者等の選定理由】

道路、保安林は、市有地であるので、市が委託業務として実施する必要があるため。

## 【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

## 5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

## 【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	地元自治会 1157人、駐車場利用者、周辺住民
期待する波及効果	交通量の多い農道であるため、倒木等の事故を未然に防ぐことができる。

## 【公的関与の必要性】

立木の所有者では、交通量が多く危険性が高い。  
市の所有の保安林であるため、市が管理する必要があるため。

## 【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

土地の所有者で、管理していく。また、転用の予定はない。

## 6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

## 【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
回覧板・掲示板	実施前	工事のお知らせに、県民税を活用して実施している旨の記載をした。
施工看板に掲示	実施中	工事看板に県民税を活用して実施している旨の記載をした。
HP掲載	実施後	令和5年度の実績をHPに掲載した。

## 7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

## 8. その他特記事項（受益者の反応等）

地元自治会から危険木の除去ができて光が差したことで、見通しがよくなったとの意見をいただいた。  
また、台風等の時期に倒木の危険性が低くなったことで道路使用者及び周辺住民から喜びの声が寄せられた。

## 第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	志摩市
事業名	災害に強い森林づくり事業		

## 4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
危険木伐採	伐採工	式	1.00	1,474,156	1,474,156	6,656m <sup>3</sup>
(道路沿い)	伐採木運搬・処分工	式	1.00	2,927,483	2,927,483	345m <sup>3</sup>
(立神地区)	安全費	式	1.00	319,069	319,069	交通誘導員
	諸経費	式	1.00	991,488	991,488	
			計		5,712,000	千円止め
			消費税		571,200	
			小計		6,283,200	
保安林内伐採	伐採工	式	1.00		129,000	7本
(甲賀地区)		式	1.00		45,000	6m <sup>3</sup>
	諸経費				17,000	10%以内
			計		191,000	
			消費税		19,100	
			小計		210,100	
			合計		6,493,300	

第11号様式(その2)(評価委員会資料)

対策区分	2.暮らしに身近な森林づくり	市町名	志摩市	新規・継続の別	継続
------	----------------	-----	-----	---------	----

事業名	災害に強い森林づくり事業
-----	--------------

## 7の(1).写真



写真1

道路沿い支障木伐採(作業前)



写真2

道路沿い支障木伐採(作業後)



写真3

道路沿い支障木伐採(作業前)



写真4

道路沿い支障木伐採(作業後)



写真5

保安林内枯木・危険木伐採(作業前)



写真6

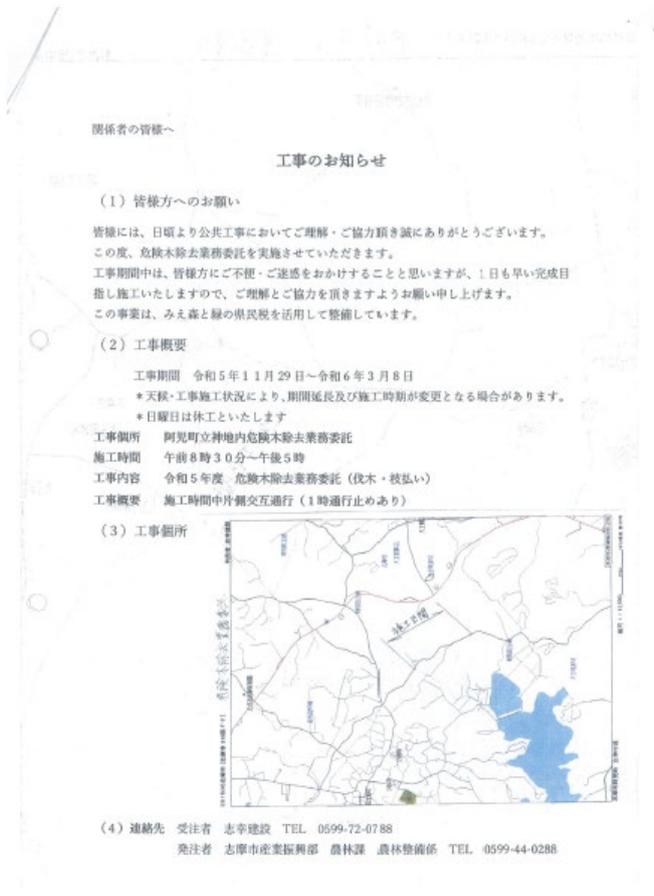
保安林内枯木・危険木伐採(作業後)

第11号様式(その2)(評価委員会資料)

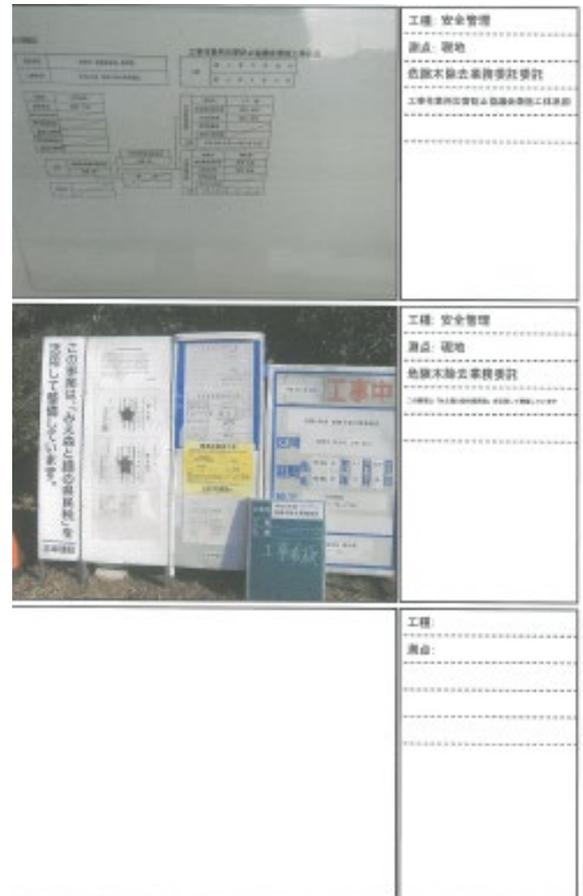
対策区分	2.暮らしに身近な森林づくり	市町名	志摩市	新規・継続の別	継続
------	----------------	-----	-----	---------	----

事業名	災害に強い森林づくり事業
-----	--------------

7の(2).その他資料



自治会回覧



施工現場

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

## 令和 5 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	志摩市	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
2	松くい虫防除事業					
事業費	886,600 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			653,000		233,600	

1. 事業の目的
<p>志摩市は、全域が伊勢志摩国立公園内に位置し、松やウバメガシなどの広葉樹が多く植生し、志摩市の景観を形成している。また、海岸沿いには、松林の公園や景勝地があり、防風、飛砂防止など地域の暮らしを守っているほか、多くの人々が訪れている。松林の公園や景勝地のある松を森林病虫害の被害拡大を防ぐ対策を施し、景観形成の維持を図る。</p>
2. 事業実績概要
<p><b>【事業内容】</b></p> <p>薬剤地上散布 枯松の伐倒処理</p> <p><b>【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】</b></p> <p>志摩市</p> <p><b>【実施箇所及び箇所数】</b></p> <p>3か所 阿児町鵜方地区 (横山園地) ・ 甲賀地区 (阿児の松原) ・ 国府地区 (エレコムフォレスト志摩)</p> <p><b>【事業量】</b></p> <p>地上散布 2ha、枯松50本</p>
3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】
<p><b>【事業実施により期待される効果】</b></p> <p>松くい虫の被害が食い止められたことにより、住民が広く活用する公園内の安全性が保たれた。</p> <p><b>【効果を発揮させるための工夫・取組】</b></p> <p>松くい虫の被害が蔓延を防止するため、防除方法を薬剤の地上散布、伐倒処理等々組み合わせて実施している。</p> <p><b>【新たな対策・視点及び改善点】</b></p> <p>松くい虫被害の蔓延防止のため継続的に実施していく。</p>

## 令和 5 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	志摩市	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
2	松くい虫防除事業					
事業費	886,600 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			653,000		233,600	

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	造園業者	補助事業ではない		

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

エレコムフォレスト志摩においては、管理業務を委託している業者を選定した。また、他の地区は、松くい虫防除業務に登録業者の中から選定した。

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	公園利用者
期待する波及効果	市内の観光地において、松くい虫等の病害虫のまん延防止に寄与する

【公的関与の必要性】

松くい虫等の病害虫のまん延防止のため。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

市等で適切に管理をしていく。また、転用の予定もない。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
HP掲載	実施後	みえ森と緑の県民税を活用した志摩市の取組をHPに載せている。

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

松くい虫被害の松を伐倒したことで、危険性もなくなり景観もよくなったとの意見をいただいた。

## 第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	志摩市
事業名	松くい虫防除事業		

## 4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
地上散布	薬剤散布 (2回)	式	1.00	220,000	220,000	散布面積2ha
伐倒処理	伐倒、粉碎、燻蒸	式	1.00	130,000	130,000	枯松40本
伐倒処理	伐倒、搬出、運搬含む	式	1.00	456,000	456,000	枯松10本
	高所作業車 大型クレーン車					
			小計		806,000	
			消費税		80,600	
			合計		886,600	

第11号様式（その2）（評価委員会資料）

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	志摩市	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	松くい虫防除事業
-----	----------

## 7の(1). 写真



写真1

伐倒処理（施工前）



写真2

（施工後）



写真3

伐倒処理



写真4

枝葉粉碎処理



写真5

燻蒸処理



写真6

地上散布状況

第11号様式(その2)(評価委員会資料)

対策区分	2.暮らしに身近な森林づくり	市町名	志摩市	新規・継続の別	継続
------	----------------	-----	-----	---------	----

事業名	松くい虫防除事業
-----	----------

7の(2). その他資料



<http://www.pref.mie.jp/SHINRIN/HP/mori/74681015390.htm>

### 志摩市の取組み

令和5年度の取組み



立神地内 (施工前)



(施工後)

#### 2.松くい虫防除事業

松枯れを防止するための薬剤の途上散布を行いました。また、森林病害虫被害の防止のため、枯松の伐倒処分を行いました。

施工箇所 阿児町国府地内(国府白浜エレコムフォレスト)

阿児町甲賀地内(阿児の松原)



エレコムフォレスト志摩内 (伐倒処理)



(破砕処理)

4. 阿児ふるさと公園東屋設置事業 阿児ふるさと公園内に三重県産の木材を利用し、東屋を設置しました。

市ホームページ

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

令和 6 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり		市町名	志摩市	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
3	森と緑ふれあい事業					
事業費	443,850 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			443,000		850	

## 1. 事業の目的

市内の環境林や公園をフィールドとして、一般の方を対象にしたシイタケの菌打ち体験を開催する。各種の体験を通して森林を大切に作る人づくりの創出を目的とする。

## 2. 事業実績概要

## 【事業内容】

市が管理しているエレコムフォレスト志摩において、一般の方を対象に、森林・林業に関する講話のほか、シイタケの菌打ち体験を開催する。

## 【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】

志摩市

## 【実施個所及び箇所数】

1箇所【エレコムフォレスト志摩 (志摩市阿児町国府地内)】

## 【事業量】

講習会1回 参加人数 45名

## 3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

## 【事業実施により期待される効果】

市民による里山(森林)について学び体験することにより、森林を守り・育てることの大切さを理解することになる。また、今後、市民による自主的な里山活動が期待される。

## 【効果を発揮させるための工夫・取組】

講習会場をエレコムフォレスト志摩に変更し実施した。

## 【新たな対策・視点及び改善点】

講習会場をエレコムフォレスト志摩に変更し実施した。

## 令和6 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり		市町名	志摩市	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
3	森と緑ふれあい事業					
事業費	443,850 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			443,000		850	

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】				
【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】				
①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	森林組合	補助事業ではない		
【委託先及び補助対象者等の選定理由】				
専門的な知識が必要であるため。				
【主な経費内訳】				
(別紙のとおり)				
5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】				
【受益者及び、期待する波及効果】				
受益者	参加者			
期待する波及効果	シイタケ菌打ちを通じて森林に関心を持ってもらう。			
【公的関与の必要性】				
森林の持つ公益的な機能を市民に広く伝える必要がある。				
【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】				
施設整備ではなく、該当しない。				
6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】				
【情報発信の内容】				
手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）		
HP掲載	実施前	ホームページにて申込案内等している。		
のぼり設置	実施中	講習会実施時に会場にのぼりを設置した。		
施工看板に掲示	実施中	講習会実施時に受付等に看板を設置した。		
啓発物品配布	実施中	講習会実施時に啓発物品を参加者に対して配布した。		
アンケート実施	実施中	講習会等実施時にアンケートを実施している。		
7. 写真及びその他資料				
別紙のとおり				
8. その他特記事項（受益者の反応等）				
毎年やってほしい。木を利用して体験教室を開いてほしい。（木工体験）				

## 第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	志摩市
事業名	森と緑ふれあい事業		

## 4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単 位	数 量	単 価	金 額	備 考
委託料	準備工	人工	6.00	22,000	132,000	
	講習費	人工	4.00	22,000	88,000	
	材料費	式	1.00	36,300	36,300	原木60本 @500 シイタケ菌6,300円
	諸雑費	%	10.00		25,630	
	小計				281,930	
	諸経費	式	1.00		79,070	
			計		361,000	
			消費税		36,100	
			小計		397,100	
需用費	啓発物品	個	25.00	1,700	42,500	
			消費税		4,250	
			小計		46,750	
		合計			443,850	

## 第11号様式(その2)(評価委員会資料)

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	志摩市	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	森と緑ふれあい事業
-----	-----------

## 7の(1). 写真



写真1

受付会場・受付状況



写真2

啓発物品



写真3

木育パネル展示



写真4

木育パネル展示



写真5

いせしま森林組合の職員による、シイタケ栽培の説明を受ける。



写真6

シイタケ菌打ち作業状況



第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

## 令和 5 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	志摩市	新規・継続の別	新規
番号	事業名				
4	阿児ふるさと公園 東屋設置事業				
事業費	4,276,465 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			3,000,000	0	1,276,465

## 1. 事業の目的

公園の景観と森林や緑の保全及び利用を促進するため、上質な利用環境の提供を図るとともに森林や緑と親しむための環境を創出することを目的とした。その目的の達成を図るため、老朽化した木製東屋の更新を行うべく「みえ森と緑の県民税市町交付金事業」を利用し、新たに木製東屋の建替を行った。

## 2. 事業実績概要

## 【事業内容】

既設東屋解体の上、三重県産木材を利用した東屋 1 基を建築を行った。

## 【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】

志摩市

## 【実施個所及び箇所数】

阿児ふるさと公園内 1箇所

## 【事業量】

東屋 1 基、ベンチ 1 台

## 3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

## 【事業実施により期待される効果】

直接、木製品と触れ合える場を設置することで、多くの市民が木製品に触れ合う機会を創出することができ、また、三重県の木材を使用していると掲示することにより、三重の森林への興味や愛着が深まる。

## 【効果を発揮させるための工夫・取組】

今後、三重県産木材を利用し建替した東屋で本の読み聞かせや木工教室を開催し、木材に触れてもらう機会を増やす。

## 【新たな対策・視点及び改善点】

施設的环境に合わせて、市立図書館と合同で、子どもたち向けに、東屋で本の読み聞かせや木工教室を開催し、木材に触れてもらう機会や施設利用者の増加を図る。

## 令和 5 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	志摩市	新規・継続の別	新規
番号	事業名				
4	阿児ふるさと公園 東屋設置事業				
事業費	4,276,465 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			3,000,000	0	1,276,465

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
工事請負	建設業者	補助事業ではない		

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

入札不落による、入札参加業者との随意契約

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	公園を利用する市民一般
期待する波及効果	木製東屋で本の読み聞かせや工作教室を開催し、木材に触れてもらう機会を提供する。

【公的関与の必要性】

志摩市が管理する公園内にある施設（東屋）であるため、志摩市において管理が必要である。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

交付金を利用して建替した東屋をはじめ、周辺は草木が多いため、公園内では火気使用を禁止している。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
HP掲載	実施後	志摩市HPに文字及び写真により概要を紹介し、県民税を活用している旨を記載。
施工看板に掲示	実施中	工事中の施工看板に「みえ森と緑の県民税市町交付金活用事業」の文言を表記。
広報誌掲載	実施後	広報誌（広報しま）へ「みえ森と緑の県民税市町交付金活用事業」の文言を表記。

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）



第11号様式(その2)(評価委員会資料)

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	志摩市	新規・継続の別	新規
------	-------------------	-----	-----	---------	----

事業名	阿児ふるさと公園 東屋設置事業
-----	-----------------

7の(1). 写真



写真1

完成東屋及びベンチ写真



写真2

完成東屋ロゴマーク写真



写真3

工事中施工看板(ロゴマーク写真)



写真4

完成後記事(広報しま)



写真5

写真5



写真6

写真6

第11号様式（その2）（評価委員会資料）

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	志摩市	新規・継続の別	新規
------	-------------------	-----	-----	---------	----

事業名	阿児ふるさと公園 東屋設置事業
-----	-----------------

7の(2). その他資料

## 『ホームページ紹介』



現在の位置 [ホーム](#) > [暮らし・手続き](#) > [文化・スポーツ・生涯学習](#) > [文化](#) > [文化施設のご案内](#) > [阿児アリーナ](#)  
 > 【みえ森と緑の県民税市町交付金事業】阿児ふるさと公園 東屋が完成しました！

## 【みえ森と緑の県民税市町交付金事業】阿児ふるさと公園 東屋が完成しました！

[いいね!](#) [シェアする](#) [Xポスト](#)

更新日：2024年04月08日

### 阿児ふるさと公園 東屋が完成しました！

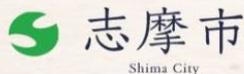
令和5年度 みえ森と緑の県民税交付金を活用し建て替えを行っていましたが、阿児ふるさと公園の東屋は、三重県産の木材を使用し令和6年3月28日に完成しました。市民の皆様への憩いの場としてご利用ください。



三重県 みえ森と緑の県民税

#### この記事に関するお問い合わせ先

阿児アリーナ  
〒517-0502 三重県志摩市阿児町神明1074番地14  
電話番号：0599-43-7000  
ファクス：0599-43-7003  
お問い合わせはこちらから



Shima City

〒517-0592 三重県志摩市阿児町納方3098-22  
電話番号：0599-44-0001 ファックス番号：0599-44-5252  
開庁時間：午前8時30分から午後5時15分  
(祝日、休日、12月29日から1月3日までを除く月曜日から金曜日)

[アクセス](#)

[お問い合わせ](#)



[志摩市ホームページについて](#) | [リンクについて](#) | [サイト運営方針](#) | [ウェブアクセシビリティについて](#) |

Copyright (c)2023 Shima City. All Rights Reserved.



資料 2 - 2

## 玉 城 町

## 令和 5 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 市町別総合評価シート

## 1. 基礎情報「三重県市町要覧 (令和5年度版)」 「令和4年度版森林・林業統計書」による

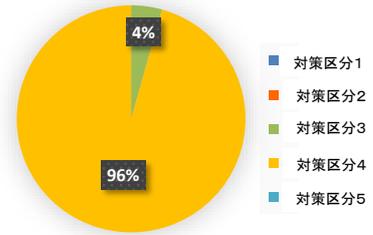
市町名	玉城町	三重県
人口 (人)	14,745	1,731,863
年少人口割合 (%) * 1	13.6%	11.6%
森林面積 (ha)	1,259.02	372,030.08
民有林面積 (ha) * 2	1,258.77	348,561.87
森林率 (%)	31.0%	64.0%
都市公園面積 (m <sup>2</sup> /人口) * 3	26.3	10.6

\* 1 : 全人口に占める15歳未満の人の割合

\* 2 : 国有林以外の森林 (個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。)

\* 3 : 都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区別事業費割合



## 2. 令和5年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠・加算枠) 事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額 (円) (当年度交付金額 + 基金活用額)						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	3	森林環境教育・木育事業	562,403	522,594			522,594			
2	4	公共施設整備事業	4,256,013	4,256,013				4,256,013		
3	4	公共施設用備品整備事業	7,194,000	7,194,000				7,194,000		
計			12,012,416	11,972,607	0	0	522,594	11,450,013	0	0

## 3. 令和5年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (連携枠) (防災枠) 事業実績

事業区分	事業量 (ha・m)	事業費 (円)	内交付金充当額 (円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
森林再生力強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業				

## 4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針	<p>本町は、三重県のほぼ中央に位置し、伊勢市、度会町、多気町、明和町に隣接している。総面積は40.91km<sup>2</sup>でそのうち、森林面積は1,259.02haで森林率は31%と低く、そのほとんどが民有林で人工林面積は1,133.59haで森林面積の90%を占めている。森林率が低いがゆえ、森林の良さ、木材の良さに気づかせることで、森林環境への関心・身近さを少しでも感じてもらいたいと考えている。</p> <p>このため、保育所や小学校で森林環境教育を実施して森を育む人づくりを行ったり、またアスピーア玉城で三重県産の木材を使用したりすることで、森と人をつなぐ学びの場として、多くの方々に森林の必要性、大切さを周知し、啓発していく。</p>
事業実施により期待される効果	<p>森林環境教育・木育を実施したことで森林への理解、森林の大切さを感じてもらう。</p> <p>また、木と触れ合える教育環境を児童や園児とその保護者、指導者に感じてもらい、木材の大切さ、活用の促進と森林への理解を深めてもらう。</p>
情報発信への取組	<p>町の広報誌 (広報たまき) へ掲載し、町民に対して積極的に情報提供 (PR) した。</p> <p>木育活動等を実施した施設の対象者 (児童、園児)、教職員はもとより、その他の町民からも事業に対する理解の声をいただいた。</p>

第 11 号様式 (その 1) (参考資料)

## 令和 5 年度森林環境譲与税事業の実績

事業 番号	事業カテゴリー	事業費	
		(千円)	内、譲与税 (千円)
1	③ 私有林整備	826	826
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
	合計	826	826

## 【記載要領】

ア. 事業カテゴリーの欄は下記の項目から該当するものを選択し記載するものとする。

事業カテゴリーの項目
① 意向調査の準備作業
② 意向調査
③ 私有林整備
④ 公有林整備(財産区有林含む)
⑤ 森林保護対策
⑥ 林道・林専道の整備等
⑦ その他(森林整備)
⑧ 担い手確保
⑨ 林業就業者の育成
⑩ 専門員の雇用
⑪ 新たな組織の設立
⑫ その他(人材育成等)
⑬ 木造公共建築物の整備等
⑭ 木質バイオマス利用推進
⑮ 森林・林業・木材普及活動等
⑯ その他(木材・普及啓発関係)
⑰ 基金積立(森林整備等)
⑱ 基金積立(人材育成等)
⑲ 基金積立(木材利用等)
⑳ 基金積立(執行残額等)

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

令和 5 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり			市町名	玉城町	新規・継続の別	継続
番号	事業名						
1	森林環境教育・木育事業						
事業費	562,403 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他		
			506,000	16,594	39,809		

1. 事業の目的							
教育現場において森林環境教育・木育を実施して、森林に対する深い理解のある人づくりを進めていく。							
2. 事業実績概要							
【事業内容】							
玉城町内の保育所及び小学校において森林環境教育・木育を実施する。							
【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】							
玉城町							
【実施個所及び箇所数】							
町内小学校及び保育所							
【事業量】							
・ 田丸保育所 43人、外城田保育所 21名、有田保育所 25人、下外城田保育所 24人							
・ 田丸小学校 50人、外城田小学校 34名、有田小学校 27人、下外城田小学校 16人							
3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】							
【事業実施により期待される効果】							
森林環境教育・木育事業を通じて森林の大切さを学ぶことにより、その理解が深まる。							
【効果を発揮させるための工夫・取組】							
活用事例集を参考に各保育所、各小学校の先生と打合せを行い事業に取り組んだ。							
【新たな対策・視点及び改善点】							
これまで小学校で森林環境教育・木育事業を実施した結果、好評であったため、継続的に令和5年度も実施した。							

## 令和 5 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり		市町名	玉城町	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
1	森林環境教育・木育事業					
事業費	562,403 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			506,000	16,594	39,809	

## 4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

## 【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	森林組合	補助事業ではない		小学校
委託事業	個人	補助事業ではない		保育所

## 【委託先及び補助対象者等の選定理由】

- ・いせしま森林組合（小学校）…伊勢地域の認定林業事業体で玉城町内の森林の特性に精通しているため。
- ・藤川和彦氏、岡田みつよ氏（保育所）…みえ森づくりサポートセンターの森のせんせいに登録されており、森林教育に精通しているため。

## 【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

## 5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

## 【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	児童240人（保育所113人 小学校127人）
期待する波及効果	保護者への波及効果も期待できる。

## 【公的関与の必要性】

教育現場と連携して実施する内容であるため、公的に取り組む必要がある。

## 【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

施設整備等ではなく、転用や目的外使用は想定されない。

## 6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

## 【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
のぼり設置	実施中	森林環境教育・木育事業の実施する箇所に設置
啓発物品配布	実施中	クリアファイル等を配布
広報誌掲載	実施後	広報誌に掲載
アンケート実施	実施後	参加した児童に実施

## 7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

## 8. その他特記事項（受益者の反応等）



第11号様式(その2) (評価委員会資料)

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	玉城町	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	森林環境教育・木育事業
-----	-------------

7の(1). 写真



写真1  
森の授業 (各小学校)



写真2  
森の授業 (各小学校)



写真3  
各保育所



写真4  
各保育所



写真5

写真5



写真6

写真6

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

令和 5 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	玉城町	新規・継続の別	継続
番号	事業名				
2	公共施設整備事業				
事業費	4,256,013 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			1,931,000	2,325,013	0

## 1. 事業の目的

木材の良さ、木材の必要性を周知、啓発するために、三重県産の木材を使用している施設を提供 (木質化改修) することで、森と人をつなぐ学びの場として活用していく。

## 2. 事業実績概要

## 【事業内容】

田丸小学校図書室の内装を木質化改修する

## 【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】

玉城町

## 【実施個所及び箇所数】

・田丸小学校図書室 (施設内木質化改修) × 1 施設

## 【事業量】

田丸小学校図書室 床 128㎡

## 3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

## 【事業実施により期待される効果】

県産材を使用している施設を提供することで、施設利用者に対して木のぬくもりや香りを感じてもらい、森林の必要性に対する理解を深めることにつながる。

## 【効果を発揮させるための工夫・取組】

森林や木材についてふれあう場を提供し、森との関係を深める取組である。

今後、森林の大切さや木材利用意義などについて、パネル展示やイベント時の普及啓発活動を行い、木質化した本施設を有効に活用していく。

## 【新たな対策・視点及び改善点】

森林の大切さ・木材の良さに気づいてもらうために公共施設の内装を木質化する。

## 令和 5 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり		市町名	玉城町	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
2	公共施設整備事業					
事業費	4,256,013 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			1,931,000	2,325,013	0	

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	その他	補助事業ではない		

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

工事については入札で入札担当課のルールにより業者選定

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	田丸小学校：400人
期待する波及効果	公共施設を整備することによりより多くの方に発信できる

【公的関与の必要性】

町が管理する施設であるため、公的に取り組む必要がある。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

継続して町で管理していく。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
広報誌掲載	実施後	町広報誌にて取り組みを紹介する
パネル展示	実施後	公共施設で展示を行った

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）



第11号様式(その2) (評価委員会資料)

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	玉城町	新規・継続の別	継続
------	-------------------	-----	-----	---------	----

事業名	公共施設整備事業
-----	----------

7の(1). 写真



写真1  
施工前：田丸小学校（図書室）



写真2  
施工後：田丸小学校（図書室）



写真3  
施工後：田丸小学校（図書室）

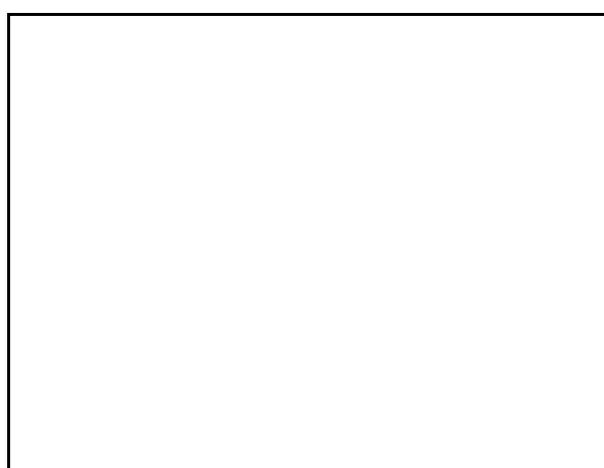


写真4



写真5

写真5



写真6

写真6

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

令和 5 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	玉城町	新規・継続の別	継続
番号	事業名				
3	公共施設用備品整備事業				
事業費	7,194,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			3,838,000	3,356,000	0

## 1. 事業の目的

木材の良さ、木材の必要性を周知、啓発するために、三重県産の木材を使用している施設を提供 (木質化改修) することで、森と人をつなぐ学びの場として活用していく。

## 2. 事業実績概要

## 【事業内容】

公共施設に三重県産の木材を使用した木製家具等を導入する。

## 【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】

玉城町

## 【実施個所及び箇所数】

・ 田丸小学校図書室、アスピア玉城ふれあいの館

## 【事業量】

田丸小学校図書室 木製閲覧机 10台、木製スツール 48脚

アスピア玉城ふれあいの館 靴箱 2台、木製棚4台、木製ベンチ18台、丸太イス14台

## 3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

## 【事業実施により期待される効果】

県産材を使用している家具を導入することで、施設利用者に対して木のぬくもりや香りを感じてもらい、木材の良さや森林の大切さを伝えていく。

## 【効果を発揮させるための工夫・取組】

森林や木材についてふれあう場を提供し、森との関係を深める取組である。

今後、森林の大切さや木材利用意義などについて、パネル展示やイベント時の普及啓発活動を行い、木質化した本施設を有効に活用していく。

## 【新たな対策・視点及び改善点】

既設の家具では感じられない木のぬくもりを感じてもらい、森林の大切さ・木材の良さに気づいてもらう。

## 令和 5 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり		市町名	玉城町	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
3	公共施設用備品整備事業					
事業費	7,194,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			3,838,000	3,356,000	0	

## 4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

## 【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
物品購入	森林組合	補助事業ではない		
物品購入	その他	補助事業ではない		

## 【委託先及び補助対象者等の選定理由】

工事については入札で入札担当課のルールにより業者選定

## 【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

## 5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

## 【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	田丸小学校：400人、アスピア玉城ふれあいの館：施設利用者約35,000人
期待する波及効果	町内だけではなく他市町の方への波及効果も期待できる。

## 【公的関与の必要性】

町が管理する施設であるため、公的に取り組む必要がある。

## 【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

継続して町で管理していく。

## 6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

## 【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
広報誌掲載	実施後	町広報誌にて取り組みを紹介する
パネル展示	実施後	公共施設で展示を行った

## 7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

## 8. その他特記事項（受益者の反応等）



第11号様式(その2)(評価委員会資料)

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	玉城町	新規・継続の別	継続
------	-------------------	-----	-----	---------	----

事業名	公共施設整備事業
-----	----------

7の(1). 写真



写真1

木製ツール(田丸小学校図書室)



写真2

閲覧用机(田丸小学校図書室)



写真3

閲覧用机(田丸小学校図書室)



写真4

丸太イス(アスパシア玉城ふれあいの館)



写真5

写真5



写真6

写真6



資料 2 - 2

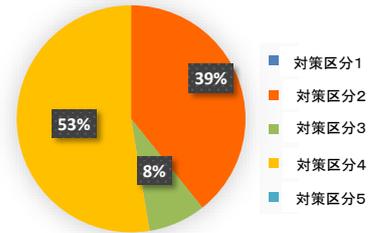
度 会 町

## 令和 5 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 市町別総合評価シート

## 1. 基礎情報「三重県市町要覧 (令和5年度版)」 「令和4年度版森林・林業統計書」による

市町名	度会町	三重県
人口 (人)	7,580	1,731,863
年少人口割合 (%) * 1	10.7%	11.6%
森林面積 (ha)	11,410.44	372,030.08
民有林面積 (ha) * 2	11,410.44	348,561.87
森林率 (%)	85%	64.0%
都市公園面積 (m <sup>2</sup> /人口) * 3	10.2	10.6

対策区別事業費割合



\* 1 : 全人口に占める15歳未満の人の割合

\* 2 : 国有林以外の森林 (個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。)

\* 3 : 都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

## 2. 令和 5 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠・加算枠) 事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額 (円) (当年度交付金額 + 基金活用額)						
				小計	対策区分 1	対策区分 2	対策区分 3	対策区分 4	対策区分 5	基金積立
1	2	危険木伐採事業	3,184,500	2,953,000		2,953,000				
2	2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	3,904,367	976,000		976,000				
3	3	森林環境教育推進事業	811,140	811,000			811,000			
4	4	県産材を活用した木製備品整備事業	5,259,100	5,259,000				5,259,000		
計			13,159,107	9,999,000	0	3,929,000	811,000	5,259,000	0	0

## 3. 令和 5 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金 (連携枠) (防災枠) 事業実績

事業区分	事業量 (ha・m・本)	事業費 (円)	内交付金充当額 (円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	22.91 ha	11,770,000	11,722,000	間伐等 (環境林・特定水源地域)
災害からライフラインを守る事前伐採事業	525本	3,904,367	976,000	伐採施工、立木補償

## 4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針	<p>本町は、三重県の南東部に位置する内陸地であり、町の西から東に流れる宮川・南から北へ流れる一之瀬川沿いに集落が広がっている。総面積のうち山林が85%占めており、古くから人工林の整備が進められてきたが、近年の木材価格の低迷や林業後継者不足により、林業経営が厳しい状況となっている。</p> <p>本県民税を財源に本町では、第7次度会町総合計画に定める「みらい わたらい わかち愛 ～想いはぐくみ、幸せつなぐまち～」の将来像を基盤に、地域材で木材製品を整備し、地域材の利用を促進するとともに、森林について「学ぶ場」と「ふれあう場」を提供する。また、近年の災害状況を踏まえ、道路・河川・ライフラインに関連した暮らしの安全を守る強靱なまちづくりをすすめる。</p>
事業実施により期待される効果	<p>倒木の恐れのある道路沿いの危険木の伐採をすることにより、災害時における通行止めやライフラインの寸断を未然に防ぎ、住民避難の安全性や、日頃の利用の安全性の確保が期待でき、森林との共生を実現できる。</p> <p>また、子どもたちへ木育授業や木工体験を行うことで、森林の魅力に触れるきっかけになり、森林に対して興味を持ってもらい、森林の機能・緑の大切さについての理解を深める機会になる。また、保育所や公園等の備品を木製で整備することで、木育授業を受けた園児や公園利用者に、木への親しみを深めてもらい、木材の良さ・木材利用の意義を知ってもらう場所としての活用が期待できる。</p>
情報発信への取組	<p>○HP掲載</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年度当初に実施する事業を町HPにて掲載した。</li> <li>・事業実施後に、事業内容と写真を町HPにて掲載した。</li> </ul> <p>○回覧板・掲示板</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業実施前、実施中に、交通障害のお知らせと併せて、県民税を活用して事業を実施していることを回覧板、掲示板にてお知らせした。</li> </ul> <p>○広報紙掲載</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の内容を町広報誌に掲載した。</li> </ul> <p>○のぼり設置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業実施中に、県民税ののぼり旗をたて、県民税で事業を実施していることをアピールした。</li> </ul> <p>○SNS活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業内容や写真、ライフライン事前伐採事業についてはドローンで撮影した動画や写真を町SNSに投稿した。</li> </ul> <p>○学校だより等掲載</p> <p>事業の内容や写真、県民税で事業を実施していることをアピールした。</p> <p>○ロゴマーク掲示</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・木材製品に県民税のロゴシールを貼り、県民税で整備を行ったことを情報発信した。</li> </ul> <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宮りバー度会パークで実施した春まつり時に、ベンチ周辺に県民税のチラシやのぼり旗を設置した。また、ベンチ利用者に県民税を活用してベンチを整備したことを説明した。</li> </ul> <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・庁舎内において事業の概要、実施前・実施後の写真を掲載した。</li> </ul>

第 11 号様式 (その 1) (参考資料)

## 令和 5 年度森林環境譲与税事業の実績

事業 番号	事業カテゴリー	事業費	
		(円)	内、譲与税 (円)
1	⑥ 林道・林専道の整備等	10,648,000	10,648,000
2	③ 私有林整備	528,000	528,000
3	③ 私有林整備	8,360,000	8,360,000
4	③ 私有林整備	6,138,000	6,138,000
5	⑥ 林道・林専道の整備等	23,538,800	23,300,000
6			
7			
8			
9			
10			
	合計	49,212,800	48,974,000

## 【記載要領】

ア. 事業カテゴリーの欄は下記の項目から該当するものを選択し記載するものとする。

事業カテゴリーの項目
① 意向調査の準備作業
② 意向調査
③ 私有林整備
④ 公有林整備(財産区有林含む)
⑤ 森林保護対策
⑥ 林道・林専道の整備等
⑦ その他(森林整備)
⑧ 担い手確保
⑨ 林業就業者の育成
⑩ 専門員の雇用
⑪ 新たな組織の設立
⑫ その他(人材育成等)
⑬ 木造公共建築物の整備等
⑭ 木質バイオマス利用推進
⑮ 森林・林業・木材普及活動等
⑯ その他(木材・普及啓発関係)
⑰ 基金積立(森林整備等)
⑱ 基金積立(人材育成等)
⑲ 基金積立(木材利用等)
⑳ 基金積立(執行残額等)

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

## 令和 5 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	度会町	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
1	危険木伐採事業					
事業費	3,184,500 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			1,867,000	1,086,000	231,500	

## 1. 事業の目的

林業の低迷等により、手入れが不足した森林が増加している現状等もふまえ、町道沿いや公共施設等周辺の危険木の伐採をおこなうことで、災害時等の倒木を未然に防ぐことで、地域に身近な森林における「災害に強い森林づくり」を進め、道路を利用する住民の安全・安心な暮らしを確保する。

## 2. 事業実績概要

## 【事業内容】

- ①農道原山線沿いの危険木を伐採する。なお、伐採箇所は農道ではあるが、生活道路および通学路として多くの住民が利用している。
- ②町道棚橋河津線沿いの危険木を伐採する。

## 【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】

度会町

## 【実施箇所及び箇所数】

- ①農道原山線 1箇所
- ②町道棚橋河津線 2箇所

## 【事業量】

- ①伐採本数 81本
- ②伐採本数 88本

## 3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

## 【事業実施により期待される効果】

当該道路を利用する住民の安全確保に繋がる。現場にある電線・NTT線の寸断を未然に防ぎ、電力・通信回線を利用する住民の通信サービス確保に繋がる。また、災害時等における通行止めのリスクを下げ、住民避難の安全性を向上できる。

## 【効果を発揮させるための工夫・取組】

地区住民からの要望により実施しているが、緊急を要する箇所の内、公共性が高く、波及効果の高い場所を優先しながら計画的に実施している。

## 【新たな対策・視点及び改善点】

危険木の伐採は暮らしの安全を守るという視点で有効な事業であること。  
 県民税での実施が浸透するよう情報発信を積極的に行う。  
 地域住民からの要望も多く、今後も計画的に事業を実施していく。

## 令和 5 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	度会町	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
1	危険木伐採事業					
事業費	3,184,500 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			1,867,000	1,086,000	231,500	

## 4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

## 【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】①農道原山線

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	森林組合	補助事業ではない		

## 【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】②町道棚橋河津線

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	森林組合	補助事業ではない		

## 【委託先及び補助対象者等の選定理由】

①②作業範囲が狭く、電柱および電線が通っており、高度な伐採技術を要する業者から選定する必要がある。委託先は町内業者で、かつ入札指名業者の登録において、委託業務の「施設運営・管理－道路維持・管理」の項目に登録されている業者であるため、いせしま森林組合を選定。

## 【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

## 5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

## 【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	①農道利用者：200人/日 ②町道利用者：50人/日
期待する波及効果	現場にある電線やNTT線の寸断を未然に防ぎ、電気や回線を利用する住民のライフラインや通信サービス確保につながる。

## 【公的関与の必要性】

森林所有者による整備が困難なため、生活道路などに近接している危険木伐採を町が実施する必要がある。

## 【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

実施箇所については転用される見込みはなく、所有者や自治会で適切に管理を行ってもらう。

## 令和 5 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	度会町	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
1	危険木伐採事業					
事業費	3,184,500 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			1,867,000	1,086,000	231,500	

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】		
【情報発信の内容】		
手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
HP掲載	実施前・後	年度当初に実施する事業を町HPにて掲載した。事業実施後に、事業内容と写真を町HPにて掲載した。
回覧板・掲示板	実施前	事業実施前・中に、交通障害のお知らせと併せて、県民税を活用して事業を実施していることを回覧板・掲示板にてお知らせした。
広報誌掲載	実施後	事業の内容を町広報誌に掲載した。
のぼり設置	実施中	実施中に県民税ののぼり旗をたて、県民税で事業を実施していることをアピールした。
その他	実施後	事業内容や写真を町SNSに投稿した。
その他	実施後	庁舎内において事業の目的・成果等のほか、実施前・実施後の写真を掲載した。
7. 写真及びその他資料		
別紙のとおり		
8. その他特記事項（受益者の反応等）		
（聞き取りによる受益者の反応）		
・大野木区長「倒れてくる危険もなくなり、道も明るくなって、安心できる環境になった」		

## 第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	度会町
事業名	危険木伐採事業		

## 4. 効率性：主な経費内訳

## ①農道原山線

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
危険木伐採		本	81.00	3,800	307,800	
高所作業車	12m	日	3.00	27,500	82,500	
交通誘導員		人	6.00	15,000	90,000	
諸経費	現場管理費・一般管理費等	式	1.00		419,700	
小計					900,000	
消費税及び地方税相当額					90,000	10%
合計					990,000	

## ②町道棚橋河津線

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
危険木伐採		本	88.00	8,300	730,400	732,200
高所作業車	12m	日	1.00	30,000	30,000	
交通誘導員		人	6.00	15,000	90,000	
処分費		空m3	56.00		392,000	
諸経費	現場管理費・一般管理費等	式	1.00		752,600	
小計					1,995,000	
消費税及び地方税相当額					199,500	10%
合計					2,194,500	

第11号様式(その2)(評価委員会資料)

対策区分	2.暮らしに身近な森林づくり	市町名	度会町	新規・継続の別	継続
------	----------------	-----	-----	---------	----

事業名	危険木伐採事業
-----	---------

7の(1).写真



写真1

①農道原山線 (着工前) (1)



写真2

②農道原山線 (完成) (1)



写真3

①農道原山線 (着工前) (2)



写真4

①農道原山線 (完成) (2)



写真5

①農道原山線 (着工前) (3)



写真6

①農道原山線 (完成) (3)

第11号様式（その2）（評価委員会資料）

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	度会町	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	危険木伐採事業
-----	---------

## 7の(1). 写真



写真1

①農道原山線 伐採木目印



写真2

①農道原山線 伐採作業中(1)



写真3

①農道原山線 伐採作業中(2)



写真4

①農道原山線 伐採作業中(3)



写真5

②町道棚橋河津線(着工前)(1)



写真6

②町道棚橋河津線(完成)(1)

第11号様式(その2)(評価委員会資料)

対策区分	2.暮らしに身近な森林づくり	市町名	度会町	新規・継続の別	継続
------	----------------	-----	-----	---------	----

事業名	危険木伐採事業
-----	---------

7の(1).写真



写真1  
②町道棚橋河津線(着工前)(2)



写真2  
②町道棚橋河津線(完成)(2)

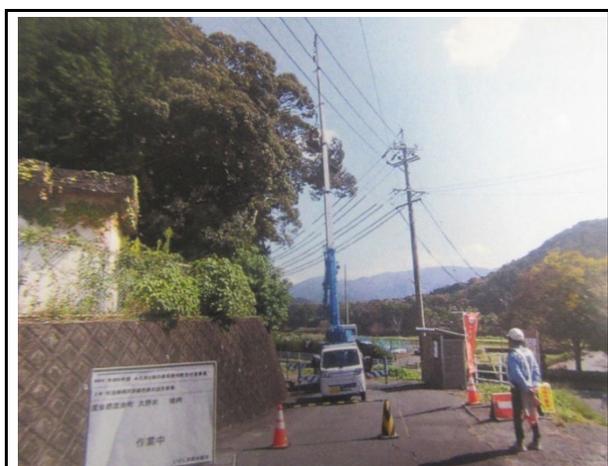


写真3  
②町道棚橋河津線(作業中)(1)



写真4  
②町道棚橋河津線(作業中)(2)



写真5

写真5



写真6

写真6

第11号様式(その2)(評価委員会資料)

対策区分	2.暮らしに身近な森林づくり	市町名	度会町	新規・継続の別	継続
------	----------------	-----	-----	---------	----

事業名	危険木伐採事業
-----	---------

7の(2).その他資料

掲示板・回覧板を活用した情報発信

## 「みえ森と緑の県民税」市町交付金を活用した 取組紹介について

度会町では森林を適切に管理・保全していくため、三重県から交付される「みえ森と緑の県民税」市町交付金を有効に活用しながら、森林・林業に関する施策を進めています。

### みえ森と緑の県民税市町交付金を活用した取組紹介

#### 森林環境教育推進事業



町内の保育園・小学校・中学校に通う子どもたちを対象に木育授業と木工体験(キーホルダーづくりなど)を実施し、森林の機能・緑の大切さについての理解を深めます。



みえ森と緑の県民税の

#### ロゴマーク

このマークが入った木製品や事業では、みえ森と緑の県民税が活用されています。

#### 災害からライフラインを守る 事前伐採事業



台風などの倒木被害によりライフラインを寸断する恐れのある電線沿いの危険木を、事前に伐採します。

これらの事業のほかにも、生活道路沿いの倒木の恐れのある木の伐採や、森林教育を実施する公共施設の木製備品の整備などもみえ森と緑の県民税を活用して実施しています。

なお、国から譲与される「森林環境譲与税」とは、用途を棲み分けたくて双方を有効に活用しています。

【お問い合わせ先】  
度会町役場 産業振興課  
TEL:0596-62-2416

第11号様式(その2)(評価委員会資料)

対策区分	2.暮らしに身近な森林づくり	市町名	度会町	新規・継続の別	継続
------	----------------	-----	-----	---------	----

事業名	危険木伐採事業
-----	---------

7の(2).その他資料

町ホームページに事業概要と写真を掲載

2024/03/11 15:30 みえ森と緑の県民税を活用した取り組み | 度会町公式ホームページ

Watarai Town みらい わたらい わかち堂  
 ~想いはぐくみ、幸せつなぐまち~

[本文へ](#) [お問い合わせ](#) [サイトマップ](#)  
 文字サイズ 小 中 大  [サイト内検索](#)

[ホーム](#) [町の概要](#) [町政情報](#) [暮らしのガイド](#) [防災情報](#) [各課の窓口](#)  
[ホーム](#) [各課の窓口](#) [農林係](#) [林業振興](#)

### みえ森と緑の県民税を活用した取り組み

[2024年3月6日] ID:1696 ソーシャルサイトへのリンクは別ウィンドウで開きます [シェア](#) [ツイート](#)

#### みえ森と緑の県民税市町交付金事業

「災害に強い森林づくり」と「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるため、平成26年4月1日にみえ森と緑の県民税が導入されました。  
 みえ森と緑の県民税市町交付金事業では、この税を活用し、県内各市町が「2つの基本方針」と「5つの対策」に沿って、さまざまな事業を実施しています。

**【基本方針1】 災害に強い森林づくり**

- ・対策1 「土砂や流木を出さない森林づくり」
- ・対策2 「暮らしに身近な森林づくり」

**【基本方針2】 県民全体で森林を支える社会づくり**

- ・対策3 「森を育む人づくり」
- ・対策4 「森と人をつなぐ学びの場づくり」
- ・対策5 「地域の身近な水や緑の環境づくり」

詳しくは三重県ホームページを参照ください。  
<http://www.pref.mie.lg.jp/SHINRIN/HP/mori/74681015390.htm>

令和5年度実施予定事業（令和6年3月6日現在）

- ・危険木伐採事業
- ・災害からライフラインを守る事前伐採事業
- ・森林環境教育推進事業
- ・県産材を活用した木製備品整備事業

※予定事業は変更する場合があります。



#### 事業紹介

**危険木伐採事業**

手入れが不足した森林が増加している現状をふまえ、生活道路沿いの倒木の可能性がある立木を事前に伐採することで、災害時の倒木を未然に防ぎ、森林との共生と道路を利用する住民の安全・安心な暮らしを確保するために実施。

[https://www.town.watarai.lg.jp/contents\\_detail.php?co=kak&frmlid=1696](https://www.town.watarai.lg.jp/contents_detail.php?co=kak&frmlid=1696) 1/3

[https://www.town.watarai.lg.jp/contents\\_detail.php?co=kak&frmlid=1696](https://www.town.watarai.lg.jp/contents_detail.php?co=kak&frmlid=1696)

第11号様式(その2)(評価委員会資料)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	度会町	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	危険木伐採事業
-----	---------

7の(2). その他資料

町ホームページに事業概要と写真を掲載

2024/10/11 15:30

みえ森と緑の県民税を活用した取り組み | 度会町公式ホームページ



災害からライフラインを守る事前伐採事業

参照：[みえ森と緑の県民税](#)、[災害からライフラインを守る事前伐採事業 | 度会町公式ホームページ](#)

森林環境教育推進事業

森林の機能・緑の大切さについての理解を深めるため、町内の年長児、小学生、中学生を対象に木育授業・木工体験を実施しました。



県産材を活用した木製備品整備事業

保育所・宮リパー度会パーク内の備品を、県産材木製品で整備することで、木の温もりを身をもって感じてもらい、森林について関心を持ってもらえる「木とふれあい、学ぶ場づくり」整備のために実施。



ご意見をお聞かせください

[https://www.town.watarai.lg.jp/contents\\_detail.php?co=kak&frmlid=1696](https://www.town.watarai.lg.jp/contents_detail.php?co=kak&frmlid=1696)

2/3

[https://www.town.watarai.lg.jp/contents\\_detail.php?co=kak&frmlid=1696](https://www.town.watarai.lg.jp/contents_detail.php?co=kak&frmlid=1696)

第11号様式(その2) (評価委員会資料)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	度会町	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	危険木伐採事業
-----	---------

7の(2). その他資料

町Instagramを活用した情報発信



伐採作業中の様子

いいね! : 他94人

wataraicho\_official <みえ森と緑の県民税事業 危険木伐採事業>

先日、農道原山線(棚橋地内)沿いの倒木の恐れのある樹木の伐採を行いました 🌲🔪

この事業は、町の管理する道路沿いの倒木の恐れのある樹木を事前に伐採することで、災害時等の倒木を未然に防ぎ、「地域に身近な災害に強い森林づくり」を進め、道路を利用する皆さまの安全・安心な暮らしを確保するために、森林所有者様同意のもと、実施しました。

この事業には「みえ森と緑の県民税」が活用されています 🌱

作業実施中は片側交通規制で大変ご迷惑をおかけしました。事業へのご理解・ご協力ありがとうございました。

<投稿者：産業振興課 農林係>

#いいね度会町 #度会町 #三重県 #伊勢志摩 #みえ森と緑の県民税 #危険木伐採 #伐採 #林業 #森林 #森 #森林整備 #自然 #木 #災害 #防災



いいね! : 他94人

wataraicho\_official <みえ森と緑の県民税事業 危険木伐採事業>

度会町公式Instagramへ投稿し、みえ森と緑の県民税を活用して、危険木伐採事業を実施したことを情報発信した。

『三重県度会町【公式】Instagram』

3月8日にシェアされた投稿  
作成者: WATARAICHO\_OFFICIAL

第11号様式(その2) (評価委員会資料)

対策区分	2.暮らしに身近な森林づくり	市町名	度会町	新規・継続の別	継続
------	----------------	-----	-----	---------	----

事業名	危険木伐採事業
-----	---------

7の(2). その他資料

庁舎内での掲示



第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

## 令和 5 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	度会町	新規・継続の別	継続
番号	事業名				
2	災害からライフラインを守る事前伐採事業				
事業費	3,904,367 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			976,000		2,928,367

1. 事業の目的
台風などの倒木被害によりライフラインを寸断する恐れのある危険木の事前伐採を行い、地域に身近な森林における「災害に強い森林づくり」を進め、ライフラインや町道を利用する住民の安全・安心な暮らしを確保する。
2. 事業実績概要
<p>【事業内容】</p> <p>大台町の変電所から度会町の立花地内に電力を供給する電線が通っている町道川南線（麻加江地内）の、ライフラインを寸断する恐れのある危険木を事前に伐採する。</p> <p>【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】</p> <p>度会町</p> <p>【実施個所及び箇所数】</p> <p>町道川南線 1箇所</p> <p>【事業量】</p> <p>伐採本数 525本</p> <p>立木補償 163本</p>
3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】
<p>【事業実施により期待される効果】</p> <p>倒木の恐れのある危険木の伐採をすることにより、当該地区のライフラインを活用する住民の安全確保に繋がる。また、災害時等における通行止めリスクを下げ、住民避難の安全性を向上できる。</p> <p>【効果を発揮させるための工夫・取組】</p> <p>台風・豪雨に備えるために、停電の実績のある場所を重点的に伐採する。</p> <p>【新たな対策・視点及び改善点】</p> <p>伐採範囲については、現場状況に合わせて必要最小限の範囲の伐採を実施する。</p>

## 令和 5 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	度会町	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
2	災害からライフラインを守る事前伐採事業					
事業費	3,904,367 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			976,000		2,928,367	

## 4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

## 【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	森林組合	補助事業ではない		

## 【委託先及び補助対象者等の選定理由】

当業務は、対象となる森林所有者への協力を得るための信頼関係が不可欠であるため、業務への熟知が要求される。委託先は度会町や他市での実績・三重県からの情報提供により、当業務を熟知しているため選定した。

## 【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

## 5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような】

## 【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	立花地区 94名 (R5.12月末)
期待する波及効果	現場にあるNTT線の寸断も未然に防ぎ、回線を利用する住民の通信サービス確保につながる。また、町道利用者の安全確保につながる。

## 【公的関与の必要性】

当業務は、令和 2 年度より新規事業として開始された、三重県・中部電力・市町の三者が連携した事業である。危険木の事前伐採を町が実施することにより、災害に強い森林づくりができる。

## 【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

実施箇所については転用される見込みはなく、所有者や自治会で適切に管理を行ってもらう。

## 6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

## 【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
HP掲載	実施前・中・後	年度当初に実施する事業を町HPにて掲載した。事業概要を説明するHPを作成した。事業実施後に、伐採前後の写真をHPに掲載した。
回覧板・掲示板	実施前・中	事業実施前・中に、交通障害のお知らせと併せて、県民税を活用して事業を実施していることを回覧板・掲示板にてお知らせした。
広報誌掲載	実施後	事業の内容を町広報誌に掲載した。
のぼり設置	実施中	実施中に県民税ののぼり旗をたて、県民税で事業を実施していることをアピールした。
その他	実施後	庁舎内において事業の目的・成果等のほか、実施前・実施後の写真掲載した。
その他	実施後	事業概要やドローンで撮影した動画・写真を町 SNS に投稿した。

## 7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

## 8. その他特記事項（受益者の反応等）

## 第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	度会町
事業名	災害からライフラインを守る事前伐採事業		

## 4. 効率性：主な経費内訳

## 麻加江地区

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
伐採費		本	525	2,558	1,342,950	
高所作業車	25m	日	4	60,000	240,000	
交通誘導員		人	12	17,000	204,000	
諸経費	現場管理費・一般管理費等	式	1.00		1,523,050	
		小計			3,310,000	
				消費税及び地方税相当額	331,000	10%
立木補償費		本	163		263,367	
		小計			263,367	
			合計		3,904,367	

## 第11号様式(その2)(評価委員会資料)

対策区分	2.暮らしに身近な森林づくり	市町名	度会町	新規・継続の別	継続
------	----------------	-----	-----	---------	----

事業名	災害からライフラインを守る事前伐採事業
-----	---------------------

## 7の(1).写真



写真1

ドローン撮影 伐採前(1)



写真2

ドローン撮影 伐採後(1)



写真3

ドローン撮影 伐採前(2)



写真4

ドローン撮影 伐採後(2)



写真5

伐採前(1)



写真6

伐採後(1)

第11号様式（その2）（評価委員会資料）

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	度会町	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	災害からライフラインを守る事前伐採事業
-----	---------------------

7の(1). 写真



写真1  
伐採前（2）



写真2  
伐採後（2）



写真3  
伐採前（3）



写真4  
伐採後（3）



写真5  
伐採作業中 県民税のぼり旗（1）



写真6  
伐採作業中 県民税のぼり旗（2）

## 第11号様式（その2）（評価委員会資料）

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	度会町	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	災害からライフラインを守る事前伐採事業
-----	---------------------

## 7の(2). その他資料

## 町ホームページに事業概要と写真を掲載

2024/01/23 12:20

みえ森と緑の県民税 災害からライフラインを守る事前伐採事業 | 度会町公式ホームページ

Watarai Town 度会町 みらい わたらい わかち愛  
一思いはくみ、幸せつなぐまち

本文へ お問い合わせ サイトマップ

文字サイズ 小 中 大 サイト内検索

ホーム 町の概要 町政情報 暮らしのガイド 防災情報 各課の窓口

ホーム 各課の窓口 農林係 林業振興

みえ森と緑の県民税 災害からライフラインを守る事前伐採事業

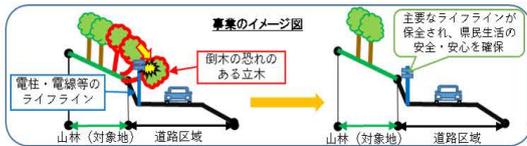
[2024年1月9日] ID:3191

ソーシャルサイトへのリンクは別ウィンドウで開きます

シェア ツイート

### 事業概要

度会町では、台風などで倒木が電線にかかることにより停電が発生しライフラインが寸断されることを未然に防止するため、三重県・度会町・中部電力パワーグリッド株式会社が連携し、みえ森と緑の県民税を活用して、倒木の恐れのある立木の事前伐採を進めています。



※本事業でのライフラインとは、孤立化する恐れのある集落への配電線や防災拠点・避難所や医療施設等への配電線のことを言います。

三重県ホームページ <https://www.pref.mie.lg.jp/MNORIN/HP/m0122100092.htm>

### 事業実績

令和3年度 林道野谷線（和井野地内）



伐採前 伐採後

令和4年度 町道注連指線（注連指・田口地内）



伐採前 伐採後

令和5年度 町道川南線（麻加江地内）



伐採前 伐採後

お問い合わせ  
度会町役場産業振興課農林係  
電話: 0596-62-2416

[https://www.town.watarai.lg.jp/contents\\_detail.php?co=kak&frmId=3191#HONBUN](https://www.town.watarai.lg.jp/contents_detail.php?co=kak&frmId=3191#HONBUN)

1/2

[https://www.town.watarai.lg.jp/contents\\_detail.php?co=kak&frmId=3191#HONBUN](https://www.town.watarai.lg.jp/contents_detail.php?co=kak&frmId=3191#HONBUN)

第11号様式(その2)(評価委員会資料)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	度会町	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	災害からライフラインを守る事前伐採事業
-----	---------------------

7の(2). その他資料

掲示板・回覧板を活用した情報発信

## 「みえ森と緑の県民税」市町交付金を活用した 取組紹介について

度会町では森林を適切に管理・保全していくため、三重県から交付される「みえ森と緑の県民税」市町交付金を有効に活用しながら、森林・林業に関する施策を進めています。

### みえ森と緑の県民税市町交付金を活用した取組紹介

#### 森林環境教育推進事業



町内の保育園・小学校・中学校に通う子どもたちを対象に木育授業と木工体験(キーホルダーづくりなど)を実施し、森林の機能・緑の大切さについての理解を深めます。



みえ森と緑の県民税の

#### ロゴマーク

このマークが入った木製品や事業では、みえ森と緑の県民税が活用されています。

#### 災害からライフラインを守る 事前伐採事業



台風などの倒木被害によりライフラインを寸断する恐れのある電線沿いの危険木を、事前に伐採します。

これらの事業のほかにも、生活道路沿いの倒木の恐れのある木の伐採や、森林教育を実施する公共施設の木製備品の整備などもみえ森と緑の県民税を活用して実施しています。

なお、国から譲与される「森林環境譲与税」とは、用途を棲み分けたくて双方を有効に活用しています。

【お問い合わせ先】  
度会町役場 産業振興課  
TEL: 0596-62-2416

## 第11号様式（その2）（評価委員会資料）

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	度会町	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	災害からライフラインを守る事前伐採事業
-----	---------------------

## 7の(2). その他資料

## 町Instagramに事業概要と動画・写真を掲載



度会町公式Instagramへ投稿し、みえ森と緑の県民税を活用して、災害からライフラインを守る事前伐採事業を実施したことを情報発信した。

『三重県度会町【公式】Instagram』



第11号様式(その2) (評価委員会資料)

対策区分	2.暮らしに身近な森林づくり	市町名	度会町	新規・継続の別	継続
------	----------------	-----	-----	---------	----

事業名	災害からライフラインを守る事前伐採事業
-----	---------------------

7の(2). その他資料

庁舎内での掲示



災害からライフラインを守る事前伐採事業

実施場所 麻加江 (町道川南線)

(説明)

台風などの倒木被害により電線を寸断する恐れのある危険木の事前伐採を行いました。

伐採前

伐採後

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

## 令和 5 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	度会町	新規・継続の別	継続
番号	事業名				
3	森林環境教育推進事業				
事業費	811,140 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			811,000		140

## 1. 事業の目的

町や山林の未来を担う子供たちの森林・林業への関心を高め、森林の機能・緑の大切さについての理解を深め、将来の森林の担い手を育成する。

## 2. 事業実績概要

## 【事業内容】

小学3年生を対象に木育授業・木工体験（キホルダー作り）を実施。（度会小学校）

年長児を対象に木育授業及び県産材を利用した箸作り体験を実施。（棚橋保育所・長原保育所・中之郷保育所）

また、今年度は新たに中学2年生を対象に木育授業・木工体験（箸づくり）を実施。（度会中学校）

## 【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

度会町

## 【実施個所及び箇所数】

①度会小学校 1箇所

②度会中学校 1箇所

③保育所 3箇所（棚橋保育所・長原保育所・中之郷保育所）

## 【事業量】

①度会小学校 木育授業2回(2クラス2限ずつ)

②度会中学校 木育授業2回(2クラス2限ずつ)

③保育所 箸づくり4回(4クラス1限ずつ)

木育授業3回(3クラス2限ずつ)

## 3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

## 【事業実施により期待される効果】

町内の約84%が森林である当町において、子どもたちへ木育授業・木工体験等を行うことで、森林の魅力に触れることをきっかけに、森林に対して興味を持ってもらい、森林の機能・緑の大切さについての理解を深める。

## 【効果を発揮させるための工夫・取組】

地域の森林に精通しているいせしま森林組合が木育授業を実施することで、専門的な知見から子ども達の年齢に合った教育ができた。また、箸づくり体験については、子ども達が自ら作成した箸を用いて、箸の持ち方の練習をしてもらうことで、日頃から木製品に触れてもらう機会を作ることができた。

## 【新たな対策・視点及び改善点】

前年度は小学3年生以外に、保育所の年長児も事業の対象としたが、今年度は中学生も事業の対象とすることで、幼児期から青年前期まで断続的に森や緑について、理解を深める。

## 令和 5 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり		市町名	度会町	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
3	森林環境教育推進事業					
事業費	811,140 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			811,000		140	

## 4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

## 【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	森林組合	補助事業ではない		

## 【委託先及び補助対象者等の選定理由】

専門的な知見から適切な教育を実施できるためいせしま森林組合を選定。

## 【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

## 5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

## 【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	度会小学校 受講者 59名 (R5小学3年生数) 度会中学校 受講者 69名 (R5中学2年生数) 棚橋保育所・長原保育所・中之郷保育所 年長児 41人 (R5児童数)
期待する波及効果	児童が自宅で授業内容を家族に伝えることで、家族にも森林の大切さを知ってもらえる。

## 【公的関与の必要性】

町が実施することで、住民・関係団体・事業者との架け橋になれる。

## 【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

施設整備ではなく、該当しない。

## 6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

## 【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
HP掲載	実施前・後	年度当初に実施する事業を町HPにて掲載する。事業実施後に事業写真を町HPに掲載した。
広報誌掲載	実施後	事業の内容を町広報誌に掲載した。
その他	実施後	事業内容や写真を町SNSに投稿した。
その他	実施後	庁舎内において事業の目的・成果等のほか、実施前・実施後の写真掲載した。
のぼり設置	実施中	実施中に県民税ののぼり旗をたて、県民税で事業を実施していることをアピールした。
学校だより等掲載	実施後	事業の内容や写真、県民税で事業を実施していることをアピールした。

## 令和 5 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり		市町名	度会町	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
3	森林環境教育推進事業					
事業費	811,140 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			811,000		140	

7. 写真及びその他資料	
別紙のとおり	
8. その他特記事項（受益者の反応等）	
<p>木育授業後にアンケートを実施 ※一部抜粋</p> <p>（中学校）</p> <p>「森のことや林業のことをよく知れた。林業にもドローンを活用したり、デジタル化したりしているのを初めて知り、とても印象に残った。」</p> <p>「職場体験で森林組合に行っていたので、知っていることもたくさんあったけれど、林業についてより深く学べてよかった。」など。</p> <p>（小学校）</p> <p>「森があると、水がしみこむので、川に水がたまる。森は二酸化炭素を吸って、酸素は人間が吸う。」</p> <p>「木はそだってないと土砂崩れがある。木は育ったら土砂崩れがない。そうすることで町が土砂崩れに巻き込まれない。」など。</p>	

## 第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	度会町
------	-------------	-----	-----

事業名	森林環境教育推進事業
-----	------------

## 4. 効率性：主な経費内訳

## ①度会小学校

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
講師料		限	4.00	9,000.0	36,000	
資材準備		式	1.00		48,000	丸太・材料作成等
消耗品準備		式	1.00		67,000	サンドペーパー等
管理費		式	1.00		30,200	
小計					181,200	
消費税及び地方税相当額					18,120	10%
合計					199,320	

## ②度会中学校

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
講師料		限	4.00	9,000.0	36,000	
資材準備		式	1.00		48,000	丸太・材料作成等
消耗品準備		式	1.00		67,000	サンドペーパー等
管理費		式	1.00		30,200	
小計					181,200	
消費税及び地方税相当額					18,120	10%
合計					199,320	

## ③保育所

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
講師料	木育授業分	限	6.00	6,000	36,000	
準備費	〃	式	1.00		144,000	資料作成・木材葉っぱ採取
資材費	〃	式	1.00		48,000	サンドペーパー、キーホルダー、湯玉等
管理費	〃	式	1.00		45,000	
箸材料費	箸づくり分	膳	50.00	1,500	75,000	
諸経費	〃	式	1.00		27,000	木製オイル・紙ヤスリ等
小計					375,000	
消費税及び地方税相当額					37,500	10%
合計					412,500	

## 第11号様式（その2）（評価委員会資料）

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	度会町	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	森林環境教育推進事業
-----	------------

## 7の(1). 写真



写真1

①小学校 木育 授業風景（1）



写真2

①小学校 木育 授業風景（2）



写真3

①小学校 木育 木とのふれあい



写真4

①小学校 木育 年輪を数えている様子



写真5

①小学校 木育 キーホルダーづくり（1）



写真6

①小学校 木育 キーホルダーづくり（2）

## 第11号様式(その2)(評価委員会資料)

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	度会町	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	森林環境教育推進事業
-----	------------

## 7の(1). 写真



写真1

②中学校 木育 授業風景(1)



写真2

②中学校 木育 授業風景(2)



写真3

②中学校 木育 木とのふれあい



写真4

②中学校 木育 年輪を数えている様子



写真5

②中学校 木育 キーホルダーづくり(1)



写真6

②中学校 木育 キーホルダーづくり(2)

第11号様式(その2)(評価委員会資料)

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	度会町	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	森林環境教育推進事業
-----	------------

## 7の(1). 写真



写真1

③棚橋保育所 木育 授業風景



写真2

③棚橋保育所 木育 木製キーホルダーづくり



写真3

③長原保育所 木育 授業風景



写真4

③長原保育所 木育 木とのふれあい



写真5

③中之郷保育所 木育 木とのふれあい



写真6

③中之郷保育所 木育 授業風景

第11号様式(その2)(評価委員会資料)

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	度会町	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	森林環境教育推進事業
-----	------------

7の(1). 写真



写真1  
③保育所 箸づくり 授業風景(1)



写真2  
③保育所 箸づくり 授業風景(2)



写真3  
③保育所 箸づくり 箸使用風景



写真4  
③保育所 箸づくり 完成

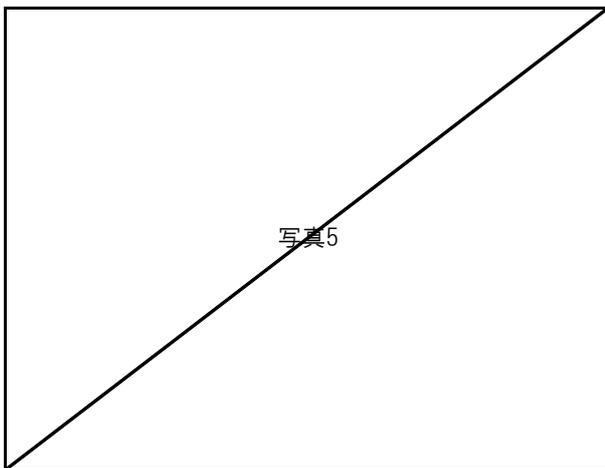


写真5

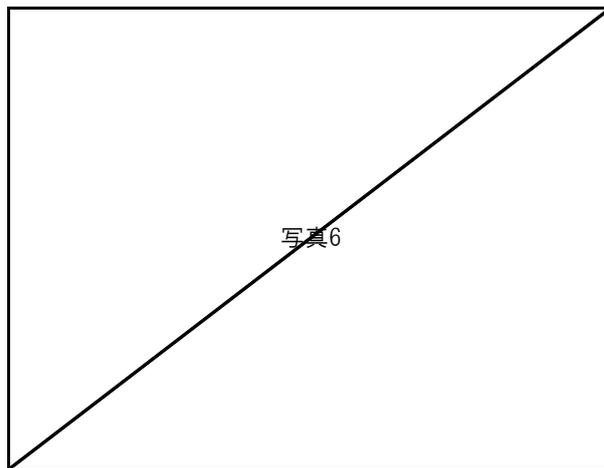


写真6

第11号様式(その2)(評価委員会資料)

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	度会町	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	森林環境教育推進事業
-----	------------

7の(2). その他資料

町Instagramに事業概要と写真を掲載(保育)



度会町公式Instagramへ投稿し、みえ森と  
緑の県民税を活用して森林環境教育推進事業

を実施したことを情報発信した。(保育所)

『三重県度会町【公式】Instagram』



第11号様式（その2）（評価委員会資料）

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	度会町	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	森林環境教育推進事業
-----	------------

7の(2). その他資料

町Instagramに事業概要と写真を掲載(中学)



町Instagramに事業概要と写真を掲載(小学)



(中学校)

2月20日にシェアされた投稿  
作成者: WATARAICHO\_OFFICIAL

(小学校)

2月21日にシェアされた投稿  
作成者: WATARAICHO\_OFFICIAL

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	度会町	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	森林環境教育推進事業
-----	------------

7の(2). その他資料

広報わたらい11月号

### 10/22 まちも心も美しく 町内一斉クリーン活動

10月22日、町内各地で、町の自然や環境を守るため、「町内一斉クリーン活動」が実施されました。

この日は、町民の皆さん約1,200人が参加し、道路や河原などのごみ拾いを行いました。参加者は「昔に比べるとごみの量は減ったが、まだまだポイ捨てされているのが現状。今後も継続し、きれいな町にしていきたい」と話してくれました。

ご協力ありがとうございました。



収集された缶類、ビン類、その他ごみ

#### ごみ収集実績

- 可燃ごみ… 800kg
- ビン類… 10kg
- 缶類… 30kg
- その他(金属類など)… 300kg

Pick Up!  
わたらいニュース

8/25 中之郷  
28 長原  
29-31 翻橋

### 保育所でマイ箸づくり みえ森と緑の県民税市町交付金活用事業

8月25日から31日にかけて、みえ森と緑の県民税市町交付金を活用した「マイ箸づくり」が、町内3保育所で実施されました。園児たちは、日本の箸の歴史や使い方について学んだ後、自らのこぎりを持ち、自分の手に合う長さの箸を製作しました。現在、完成した箸を使い「おはし検定」を受験中。自分の指を思うように動かせず苦戦しながらも、課題をクリアし達人を目指しています。



### 10/13 かがしま国体相撲競技に出場 中西 鋭さん

宇治山田商業高校1年生・中西鋭さん(翻橋)が10月13日から15日にかけて鹿児島県で開かれた「特別国民体育大会(かがしま国体)」の相撲競技少年の部で三重県代表として出場しました。

中西さんは、6月10日に伊勢市で行われた三重県選手権大会で優勝し、今大会の選手として選考されました。

大会では、団体戦で惜しくも予選敗退となりましたが、中西さんは、予選3試合で全勝したことで個人戦に出場。全国ベスト32という結果でしたが、大会を通じて全国の強豪を相手に奮闘しました。



広報度会 2023年11月号 10

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	度会町	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	森林環境教育推進事業
-----	------------

7の(2). その他資料

広報わたらい3月号

# 度会スクール インフォメーション

Vol. 131

町教育委員会事務局 ☎62-2422

度会小学校 ☎62-0004

度会中学校 ☎62-0194

## 度会小中学校 木に触れ、林業を学ぶ 森林環境教育

1月29、30日に中学2年生が、2月2日に小学3年生が、いせしま森林組合の職員を講師とした森林環境教育の出前授業を受け、森林の働きや林業の仕事について学びました。この取り組みは、町の自然や林業に関心を持つ人づくりを目的とし、「みえ森と緑の県民税」を活用したもので、度会小学校では平成29年度から実施しており、度会中学校では初めての実施となりました。

1月に行われた中学校での授業では、前半に座学を行い、手入れをされていない森林がもたらす悪影響について説明を受け、森林を計画的に間伐し、木々の生育状況を管理することの大切さを学びました。また、種類の違う枝葉を比べたり、木の年輪を数えたりすることで、木の肌触りや香りを体験することが出来ました。後半には、実際に自分の手で木材を加工する木工体験を行いました。生徒たちは、スギの木材をカッターで慎重に削った後、紙やすりで全体を滑らかにして、

自分の手に馴染むオリジナルの箸を作成しました。

2月に行われた小学校での授業では、前半の座学を受けた後、木材を使ったキーホルダー作りを行いました。児童たちは、サクラ・ヒノキ・スギから好みの木材を選んで紙やすりで丁寧に表面を磨き、思い思いにイラストや文字を描き入れてキーホルダーを完成させました。

中学2年生の井上千愛さんは「森のことや林業のことをよく知ることが出来ました。林業にもドローンを活用したり、デジタル化したりしているのを初めて知り、とても印象に残りました」と、小学3年生の刀根湊音さんは「手入れされた山だと水を吸収するので土砂崩れが起きにくいと知り、山はとても大切なものなんだと感じました。僕も山をきれいにして、度会町の木や自然を大切にしたいと思います」と、それぞれ授業を受けた感想を述べていました。







**令和5年度 みえ森と緑の県民税市町交付金事業一覧**

- 森林環境教育推進事業
- 災害からライフラインを守る事前伐採事業
- 危険木伐採事業
- 県産材を活用した木製品整備事業

広報度会 2024年3月号 10

第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	度会町	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	森林環境教育推進事業
-----	------------

7の(2). その他資料	木育授業の感想(中学校)
--------------	--------------

### 木育の感想【度会中学校2年A組】

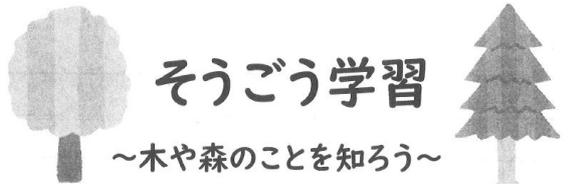
- ・今日は森のことや林業のことをよく知れた。林業にもドローンを活用したり、デジタル化したりしているのを初めて知り、とても印象に残った。はし作りもすごく楽しかった。
- ・今日は木育の授業があった。久しぶりに■■■■さんに会えて嬉しかった。森林のこととかも学べて楽しかった。はしも作った。思っていたよりうまくできた。
- ・今日の午後は木育でした。僕は職場体験学習で森林組合に行っていたので、知っていることもたくさんあったけれど、林業についてより深く学べてよかったです。
- ・今日は木育の授業がありました。木や葉など見たことはあるものの、あまり触る機会もないので、自然に触れあえてよかったです。木ではしを作るというなかなかできないことができました。
- ・今日は木育がありました。あらためて木の大切さを知りました。それを管理するのがどれだけ大変かもわかりました。最後のはし作りは、何本か折ってしまいましたが、自分なりに満足できました。
- ・木育の授業ではしを作った。なんかかわいい。使いたくないからかざる。
- ・今日の木育は知らなかったことをいっぱい学べて楽しかった。はしを作るのは難しく、すごく下手になってしまったけど、楽しかった。途中うまくいかないところを手伝ってもらえてうれしかった。
- ・今日は木育の授業がありました。木育の授業では、木に関するいろいろなことを学んだり、木についてのクイズをしたり、はし作りもあって、とても楽しかったです。また、木を使って工作をしてみたいと思いました。
- ・今日は木を削ってはしを作りました。先端を削りすぎたり、ヤスリをかけすぎて熱くなったりしました。はしに絵をうまく描けました。
- ・今日は午後に木育がありました。森林のことについてたくさん学べたし、最後はみんなではし作りをして楽しかったです。自然がある生活はいいなと思いました。
- ・今日、木育があった。木についての授業は久々だった。はしを作った。難しかった。でも楽しかった。はしを作ったり、森林についての話を聞いたりして勉強になったと思う。
- ・今日は木育の授業がありました。山や森のことについて詳しく知ることができました。はしをカッターで削って作るのも面白かったです。
- ・木育ではしを作りました。家で使うか、かざるか迷います。
- ・今日は午後に森林組合の方が来てくださり、森林のことについて学びました。森林のはたらきなど、森林のことをいろいろ知りました。はしも作って楽しかったです。

第11号様式(その2)(評価委員会資料)

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	度会町	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	森林環境教育推進事業
-----	------------

7の(2). その他資料

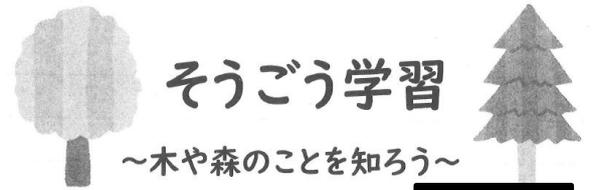


**そうごう学習**  
~木や森のことを知ろう~  
名前 ( )

めあて: \_\_\_\_\_

話を聞いてわかったこと、思ったこと

まるたのせんでなんさいかわかる。ねんりんねんでいつづつ、まるたはちよ。とおもい。木はチェーンソーできるかノコギリかです。ちくちくのははがあた。とかいの木はすくない。せんにほえるきはほとんどない。木をきって家をつくりつくえをつくらたりする。一ばんほえる木はすぎです。ひのきは木のまんなかにこちゅうるがほらでいる。木のキーホルダーをつくら感想は楽しかったしえもまんぞくでできた。たてず。またやりたいなどおもしろい。こんどはもっとまんぞくできるん

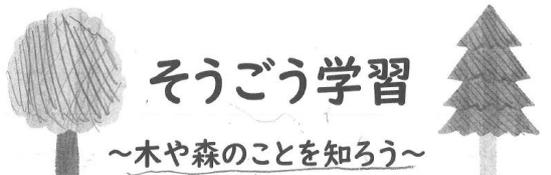


**そうごう学習**  
~木や森のことを知ろう~  
名前 ( )

めあて: 木や森のことを知ろう。

話を聞いてわかったこと、思ったこと

手入れされた山は、まんめんなく光が入る。手入れされていない山は、うす暗い感じ。森があると水がしみこむので、川に水がたままる。森はにさんかたんそをすて、さんそは人間がすう。水分や日光があると、空気がきれい。家庭からのにさんかたんその量は、1せたいあたり、4.150kg。光がほしかたら、草をかる。大きくなたらりようする。板を切るとこいえだが出る。長方形のあつめの板は、1枚2000円。長方形のうすい板は、100円。正方形のあつめの板は、100円。



**そうごう学習**  
~木や森のことを知ろう~  
名前 ( )

めあて: \_\_\_\_\_

話を聞いてわかったこと、思ったこと

とかいは木かない(30%)あたらい一番大い木スキ。スキはそたつとかいはわり。森はどらつつかいすんでいるはし。キーホルダーはつくりやすかつたしたのしかつた。木はそたてなといとどしゃくすれかある。木はそたたらどしゃくすれかないそうすること。町かどしゃくすれにまきこまれない。ヒ

木育授業の感想(小学校)  
※一部抜粋

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	度会町	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	森林環境教育推進事業
-----	------------

## 7の(2). その他資料

学校だより等(保育所)

※一部抜粋



度会町保育所

みゆさん、こんにちは。お箸の先生の園隣保育所の松山先生です。2年ほどお箸についてお手紙を出していたことで、お家の方にもお箸についてたくさん興味を持っていただけただけかな～と、今年度は単発でお手紙を出さずとも思っていたら今になってしまいました。立派にいたように思われるかもしれませんが、今年度もお箸への活動は怠ってはいけませんのでご心配なく！

さて、今年度までに行っているお箸の活動は、これらの事になります。

にぎにぎ体操 体を鍛える運動 木育授業(年長)

My 箸作り(年長) できるかなカード(年長)

ちょうせんカード(年長のできるかなカード合格者)

お箸を持つための練習(年中・年少)

などです。

どんなことをしているのかをぜひご説明させていただきますー！！

## 【にぎにぎ体操】

にぎにぎ体操とは、その名の通り、にぎにぎします！笑  
曲に合わせて、「みんなでにぎろ～♪」とにぎにぎしたりしています。  
職員が手作りましたので、年齢に合わせて大きさも違ってきます。  
指を入れる場所がちゃんとあり、きちんと握るとキュッキュッと音が鳴るようになってるので楽しんで鍛えられるのです。



## 【My 箸作り】

お箸の勉強と、尾鷲権を使っての箸作り(みえ森と緑の県民税を活用)を行いました。子どもたちはこの紙を使って、自分の手に合った長さで箸を切り、やすりをかけ、オイルを7日間塗って箸を作りました。



そして出来上がったのがこちら！！今年は名前入りです！  
子どもたちが書いた文字をのせたので、可愛い文字になりました。箸入れもプレゼントしました。

## 【できるかなカード・ちょうせんカード】

運動会が終わり、子どもたちの体がしっかりしてきたので、今年度もお箸の達人への挑戦が始まりました。子どもたちカードにある課題をクリアしていくことで、達人への階段を上っていきます。達人になると、賞状と名刺がもらえ、小さい子にお箸の持ち方を教えるに行ってもらいます。

カードへの挑戦は子どもたちの自由としているので、なかなかクリアできないとあきらめてしまう子どももちらういます。でも、自分たちで決めて進んでいってもらいたいので強制はしません。自分で決めて行動していくことを大切にしていこうと思います。

## 【年中児・年少児のお箸を持つための練習】

日常のいろんな場面でお箸への階段を上っていることを本人たちは知らないうちパターンもあると思いますが、様々な取り組みで鍛えています。笑



第11号様式（その2）（評価委員会資料）

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	度会町	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	森林環境教育推進事業
-----	------------

7の(2). その他資料

町ホームページに事業概要と写真を掲載

2024/03/11 15:30 みえ森と緑の県民税を活用した取り組み | 度会町公式ホームページ



Watarai Town  
**度会町**

みらい わたらい わかち堂  
～想いはぐくみ、幸せつなぐまち～

[\\* 本文へ](#) [お問い合わせ](#) [サイトマップ](#)  
 文字サイズ 小 中 大   
[サイト内検索](#)

ホーム
町の概要
町政情報
暮らしのガイド
防災情報
各課の窓口

[ホーム](#) [各課の窓口](#) [農林係](#) [林業振興](#)

### みえ森と緑の県民税を活用した取り組み

[2024年3月6日] ID:1696 ソーシャルサイトへのリンクは別ウィンドウで開きます [シェア](#) [ツイート](#)

#### みえ森と緑の県民税市町交付金事業

「災害に強い森林づくり」と「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるため、平成26年4月1日にみえ森と緑の県民税が導入されました。  
みえ森と緑の県民税市町交付金事業では、この税を活用し、県内各市町が「2つの基本方針」と「5つの対策」に沿って、さまざまな事業を実施しています。

**【基本方針1】 災害に強い森林づくり**

- ・対策1 「土砂や流木を出さない森林づくり」
- ・対策2 「暮らしに身近な森林づくり」

**【基本方針2】 県民全体で森林を支える社会づくり**

- ・対策3 「森を育む人づくり」
- ・対策4 「森と人をつなぐ学びの場づくり」
- ・対策5 「地域の身近な水や緑の環境づくり」

詳しくは三重県ホームページを参照ください。  
<http://www.pref.mie.lg.jp/SHINRIN/HP/mori/74681015390.htm>

令和5年度実施予定事業（令和6年3月6日現在）

- ・危険木伐採事業
- ・災害からライフラインを守る事前伐採事業
- ・森林環境教育推進事業
- ・県産材を活用した木製備品整備事業

※ 予定事業は変更する場合があります。

**事業紹介**

#### 危険木伐採事業

手入れが不足した森林が増加している現状をふまえ、生活道路沿いの倒木の可能性がある立木を事前に伐採することで、災害時の倒木を未然に防ぎ、森林との共生と道路を利用する住民の安全・安心な暮らしを確保するために実施。



https://www.town.watarai.lg.jp/contents\_detail.php?co=kak&frmlid=1696 1/3

https://www.town.watarai.lg.jp/contents\_detail.php?co=kak&amp;frmlid=1696

第11号様式(その2)(評価委員会資料)

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	度会町	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	森林環境教育推進事業
-----	------------

7の(2). その他資料

町ホームページに事業概要と写真を掲載

2024/03/11 15:30

みえ森と緑の県民税を活用した取り組み | 度会町公式ホームページ



災害からライフラインを守る事前伐採事業

参照：[みえ森と緑の県民税](#)、[災害からライフラインを守る事前伐採事業](#) | 度会町公式ホームページ

森林環境教育推進事業

森林の機能・緑の大切さについての理解を深めるため、町内の年長児、小学生、中学生を対象に木育授業・木工体験を実施しました。



県産材を活用した木製備品整備事業

保育所・宮リパー度会パーク内の備品を、県産材木製品で整備することで、木の温もりを身をもって感じてもらい、森林について関心を持ってもらえる「木とふれあい、学ぶ場づくり」整備のために実施。



ご意見をお聞かせください

[https://www.town.watarai.lg.jp/contents\\_detail.php?co=kak&frmid=1696](https://www.town.watarai.lg.jp/contents_detail.php?co=kak&frmid=1696)

2/3

[https://www.town.watarai.lg.jp/contents\\_detail.php?co=kak&frmid=1696](https://www.town.watarai.lg.jp/contents_detail.php?co=kak&frmid=1696)

第11号様式(その2) (評価委員会資料)

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	度会町	新規・継続の別	継続
------	-------------------	-----	-----	---------	----

事業名	森林環境教育推進事業
-----	------------

7の(2). その他資料

庁舎内での掲示



第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

## 令和 5 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	度会町	新規・継続の別	継続
番号	事業名				
4	県産材を活用した木製備品整備事業				
事業費	5,259,100 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			5,259,000		100

1. 事業の目的
<p>保育所・観光施設 (宮リバー度会パーク・獅子ヶ岳登山口) 内の備品を、県産材木材製品で整備することで、木の温もりを身をもって感じ、森林・林業について理解を深め、木とふれあい、学ぶ場づくりを進める。</p>
2. 事業実績概要
<p><b>【事業内容】</b> 保育所・観光施設 (宮リバー度会パーク・獅子ヶ岳登山口) 内の備品を、県産材木材製品で整備する。</p> <p><b>【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】</b> 度会町</p> <p><b>【実施箇所及び箇所数】</b> ① 3 箇所 (棚橋保育所・長原保育所・中之郷保育所) ② 2 箇所 (宮リバー度会パーク・獅子ヶ岳登山口)</p> <p><b>【事業量】</b> ① 園児用テーブル52台 園児椅子52脚 ② 宮リバー度会パーク 木製テーブル2台 木製ベンチ1基 獅子ヶ岳登山口 木製ベンチ1基</p>
3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】
<p><b>【事業実施により期待される効果】</b> 木への親しみが深まり、木材の良さ・木材利用の意義を知ってもらう学びの場として活用する。また、みえ森と緑の県民税を活用して実施している木育授業を受講した園児たちが散歩等で公園を訪れた際に、実際に木製品に触れ合うことで、木材への親しみがさらに深まることが期待される。</p> <p><b>【効果を発揮させるための工夫・取組】</b> 備品の整備と併せて、保育所・小学校・中学校で森林環境教育を実施したことで、森林の機能・緑の大切さについて理解を深めてもらった。</p> <p><b>【新たな対策・視点及び改善点】</b> 従来、木製ではない椅子や机などを県産材を活用した製品で整備することで木材と触れ合う場を提供する。</p>

## 令和 5 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり		市町名	度会町	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
4	県産材を活用した木製備品整備事業					
事業費	5,259,100 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			5,259,000		100	

## 4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

## 【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	森林組合	補助事業ではない		

## 【委託先及び補助対象者等の選定理由】

委託先は林業の業務に長年携わっている専門業者であり、三重県産の木材製品を調達できる適切な事業者であると考えられるため、いせしま森林組合を選定。

## 【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

## 5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

## 【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	保育所 園児186人(R5年度) 保育士54人(R5年度) 宮リバー度会パーク 139,670人/年(R5入込客数) 獅子ヶ岳 2,450人/年 (R4入込客数)
期待する波及効果	児童が自宅で木製の椅子とテーブルについて話をすることで、家族にも森林の大切さを知ってもらえる。

## 【公的関与の必要性】

町が県産材を使用し、木製備品を整備することで、多くの住民に木材の良さを知ってもらい、木材利用の促進につながる。

## 【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

各施設で適切に管理してもらう。

## 6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

## 【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
HP掲載	実施中・後	年度当初に実施する事業を町HPにて掲載した。事業実施後に事業写真を町HPに掲載した。
広報誌掲載	実施後	事業の内容を町広報誌に掲載した。
ロゴマーク掲示 (シル・プレート)	実施中・後	木材製品に県民税のロゴシールを張り、県民税で整備をおこなったことを情報発信した。
その他	実施後	事業概要と整備した木製備品の使用風景写真を町SNSに投稿した。
その他	実施後	庁舎内において事業の目的・成果・写真を掲載した。
のぼり設置	実施後	宮リバー度会パークで実施した春まつり時に、ベンチ周辺に県民税ののぼり旗を設置し、県民税を活用して整備したことを周知した。

## 令和 5 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	度会町	新規・継続の別	継続
番号	事業名				
4	県産材を活用した木製備品整備事業				
事業費	5,259,100 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			5,259,000		100
7. 写真及びその他資料					
別紙のとおり					
8. その他特記事項（受益者の反応等）					

## 第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	度会町
事業名	県産材を活用した木製備品整備事業		

## 4. 効率性：主な経費内訳

## ①保育所 (棚橋保育所・長原保育所・中之郷保育所)

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
園児用テーブル		台	52.00	61,500	3,198,000	
園児椅子		脚	52.00	16,500	858,000	
小計					4,056,000	
消費税及び地方税相当額					405,600	10%
合計					4,461,600	

## ②観光施設 (宮リバー度会パーク・獅子ヶ岳登山口)

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
木製テーブル	宮リバー度会パーク分	台	2.00	215,000	430,000	
木製ベンチ	〃	脚	1.00	100,000	100,000	
木製ベンチ	獅子ヶ岳登山口分	脚	1.00	195,000	195,000	
小計					725,000	
消費税及び地方税相当額					72,500	10%
合計					797,500	

第11号様式(その2)(評価委員会資料)

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	度会町	新規・継続の別	継続
------	-------------------	-----	-----	---------	----

事業名	県産材を活用した木製備品整備事業
-----	------------------

## 7の(1). 写真



写真1

①保育所 木製テーブル・椅子(1)



写真2

①保育所 木製テーブル・椅子(2)



写真3

①保育所 木製テーブル・椅子(3)



写真4

①保育所 木製テーブル・椅子(4)



写真5

①保育所 木製テーブル 県民税ロゴ



写真6

①保育所 木製椅子 県民税ロゴ

第11号様式（その2）（評価委員会資料）

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	度会町	新規・継続の別	継続
------	-------------------	-----	-----	---------	----

事業名	県産材を活用した木製備品整備事業
-----	------------------

7の(1). 写真



写真1  
②宮リバー度会パーク テーブル・ベンチ



写真2  
②宮リバー度会パーク テーブル・ベンチ 県民税ロゴ



写真3  
②宮リバー度会パーク ベンチ 県民税ロゴ



写真4  
②宮リバー度会パーク テーブル 県民税ロゴ



写真5  
②宮リバー度会パーク テーブル・ベンチ 春まつり使用風景（1）



写真6  
②宮リバー度会パーク テーブル・ベンチ 春まつり使用風景（2）

第11号様式（その2）（評価委員会資料）

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	度会町	新規・継続の別	継続
------	-------------------	-----	-----	---------	----

事業名	県産材を活用した木製備品整備事業
-----	------------------

7の(1). 写真



写真1  
②獅子ヶ岳登山口 ベンチ



写真2  
②獅子ヶ岳登山口 ベンチ 県民税ロゴ



写真3  
②獅子ヶ岳登山口 ベンチ 設置中

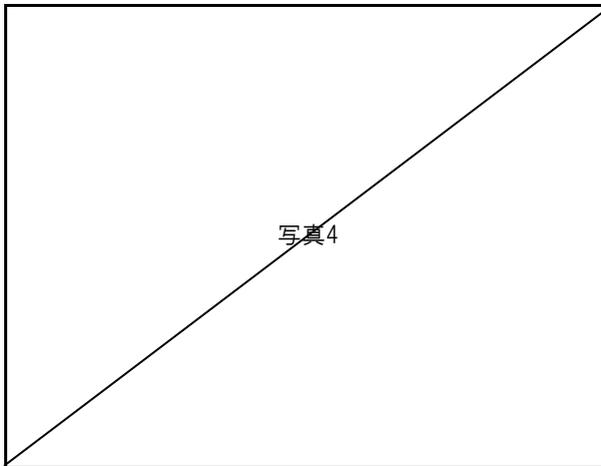


写真4

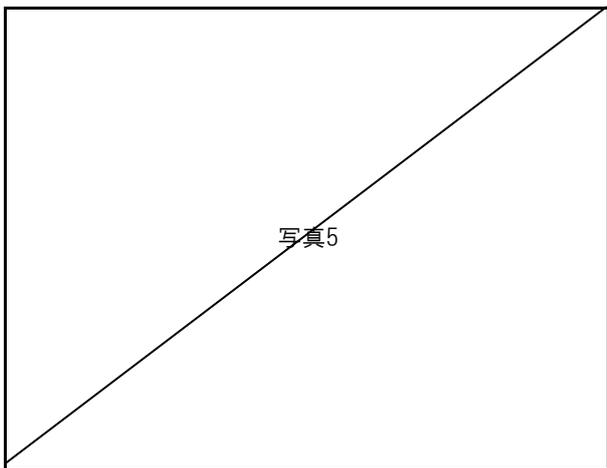


写真5

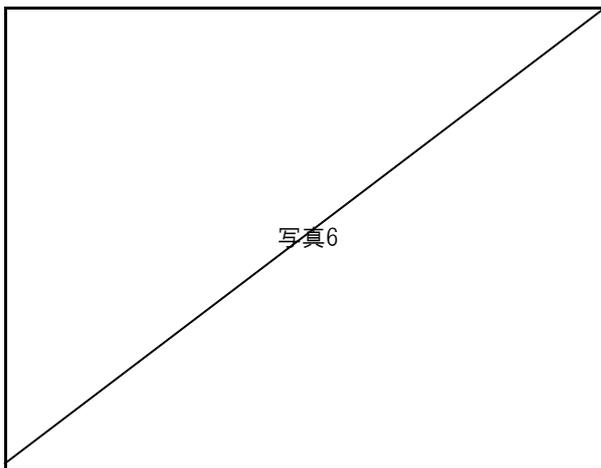


写真6

第11号様式(その2)(評価委員会資料)

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	度会町	新規・継続の別	継続
------	-------------------	-----	-----	---------	----

事業名	県産材を活用した木製備品整備事業
-----	------------------

7の(2). その他資料

町ホームページに事業概要と写真を掲載

2024/03/11 15:30 みえ森と緑の県民税を活用した取り組み | 度会町公式ホームページ



Watarai Town  
**度会町**

みらい わたらい わかち堂  
～想いはぐくみ、幸せつなぐまち～

[本文へ](#) [お問い合わせ](#) [サイトマップ](#)  
 文字サイズ 小 中 大   
[サイト内検索](#)

ホーム
町の概要
町政情報
暮らしのガイド
防災情報
各課の窓口

[ホーム](#) [各課の窓口](#) [農林係](#) [林業振興](#)

### みえ森と緑の県民税を活用した取り組み

[2024年3月6日] ID:1696 ソーシャルサイトへのリンクは別ウィンドウで開きます [シェア](#) [ツイート](#)

#### みえ森と緑の県民税市町交付金事業

「災害に強い森林づくり」と「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるため、平成26年4月1日にみえ森と緑の県民税が導入されました。  
みえ森と緑の県民税市町交付金事業では、この税を活用し、県内各市町が「2つの基本方針」と「5つの対策」に沿って、さまざまな事業を実施しています。

**【基本方針1】 災害に強い森林づくり**

- ・対策1 「土砂や流木を出さない森林づくり」
- ・対策2 「暮らしに身近な森林づくり」

**【基本方針2】 県民全体で森林を支える社会づくり**

- ・対策3 「森を育む人づくり」
- ・対策4 「森と人をつなぐ学びの場づくり」
- ・対策5 「地域の身近な水や緑の環境づくり」

詳しくは三重県ホームページを参照ください。  
<http://www.pref.mie.lg.jp/SHINRIN/HP/mori/74681015390.htm>

令和5年度実施予定事業（令和6年3月6日現在）

- ・危険木伐採事業
- ・災害からライフラインを守る事前伐採事業
- ・森林環境教育推進事業
- ・県産材を活用した木製備品整備事業

※予定事業は変更する場合があります。



#### 事業紹介

##### 危険木伐採事業

手入れが不足した森林が増加している現状をふまえ、生活道路沿いの倒木の可能性がある立木を事前に伐採することで、災害時の倒木を未然に防ぎ、森林との共生と道路を利用する住民の安全・安心な暮らしを確保するために実施。

[https://www.town.watarai.lg.jp/contents\\_detail.php?co=kak&frmlid=1696](https://www.town.watarai.lg.jp/contents_detail.php?co=kak&frmlid=1696)

1/3

[https://www.town.watarai.lg.jp/contents\\_detail.php?co=kak&frmlid=1696](https://www.town.watarai.lg.jp/contents_detail.php?co=kak&frmlid=1696)

第11号様式（その2）（評価委員会資料）

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	度会町	新規・継続の別	継続
------	-------------------	-----	-----	---------	----

事業名	県産材を活用した木製備品整備事業
-----	------------------

7の(2). その他資料

町ホームページに事業概要と写真を掲載

2024/03/11 15:30

みえ森と緑の県民税を活用した取り組み | 度会町公式ホームページ



災害からライフラインを守る事前伐採事業

参照：[みえ森と緑の県民税](#)、[災害からライフラインを守る事前伐採事業](#) | 度会町公式ホームページ

森林環境教育推進事業

森林の機能・緑の大切さについての理解を深めるため、町内の年長児、小学生、中学生を対象に木育授業・木工体験を実施しました。



県産材を活用した木製備品整備事業

保育所・宮リパー度会パーク内の備品を、県産材木製品で整備することで、木の温もりを身をもって感じてもらう、森林について関心を持ってもらえる「木とふれあい、学ぶ場づくり」整備のために実施。



ご意見をお聞かせください

[https://www.town.watarai.lg.jp/contents\\_detail.php?co=kak&frmlid=1696](https://www.town.watarai.lg.jp/contents_detail.php?co=kak&frmlid=1696)

2/3

[https://www.town.watarai.lg.jp/contents\\_detail.php?co=kak&frmlid=1696](https://www.town.watarai.lg.jp/contents_detail.php?co=kak&frmlid=1696)

第11号様式(その2)(評価委員会資料)

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	度会町	新規・継続の別	継続
------	-------------------	-----	-----	---------	----

事業名	県産材を活用した木製備品整備事業
-----	------------------

7の(2). その他資料

庁舎内での掲示



## 県産材を活用した木製備品整備事業

**実施場所** 保育所（棚橋保育所・長原保育所・中之郷保育所）  
観光施設（宮リバー度会パーク・獅子ヶ岳登山口）

**(説明)**  
木の温もりを身をもって感じ、森林・林業について理解を深めるため、保育所・観光施設（宮リバー度会パーク・獅子ヶ岳登山口）内の備品を、県産材木材製品で整備しました。






資料 2 - 2

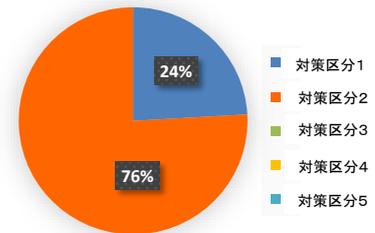
## 大紀町

## 令和5年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業 市町別総合評価シート

## 1. 基礎情報「三重県市町要覧（令和5年度版）」「令和4年度版森林・林業統計書」による

## 対策区分別事業費割合

市町名	大紀町	三重県
人口（人）	7,165	1,731,863
年少人口割合（％）＊1	6.7%	11.6%
森林面積(ha)	21,131.83	372,030.08
民有林面積(ha)＊2	20,406.17	348,561.87
森林率(%)	91.0%	64%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	13.4	10.6



＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合

＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。）

＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

## 2. 令和5年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	1	渓流倒木等処理事業	3,597,000	3,597,000	3,597,000					
2	2	生活環境林整備事業	4,403,300	4,403,000		4,403,000				
3	2	水道水源林町有林化事業	6,930,000	6,930,000		6,930,000				
計			14,930,300	14,930,000	3,597,000	11,333,000	0	0	0	0

## 3. 令和5年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）（防災枠）事業実績

事業区分	事業量	事業費 (円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	14.38ha	5,000,600	4,911,000	間伐等（災害緩衝林一体型）
森林再生力強化対策事業	1233m	623,744	623,000	植栽タイプ
災害からライフラインを守る事前伐採事業	0	0	0	

## 4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

<b>事業方針</b>	大紀町は、大台山系に連なる山岳地帯に属しており急峻な地形で、本町面積23,332haのうち森林面積が21,133haとなっており、91%占めている。そのうち13,900haと人工林率は68%に達しており、人工林地帯である。本町では、基本方針1の「災害に強い森林づくり」を強力に進める為、生活環境林整備事業と渓流倒木等処理事業を実施し、町民生活の安全安心を向上させていく。また、非常時における森林内の危険木流出による被害拡大を軽減させる為、河川の上流部に位置する大紀町としての役割を果たすことで、県民全体の安全安心に繋げていく。水道水源林において、環境整備を促進し、安心・安全な水道水を確保する為に、水道水源林の町有林化を行っていく。三重県の景勝地と指定されている、大平つつじ山において、イベントや森林教育を行う場として、整備を促進していく。
<b>事業実施により期待される効果</b>	事業実施により、通常時、住民が利用する生活道路や、生活に直結している人家への安全性が向上したことで、非常時における避難や、被害拡大防止の観点からも、住民の安全安心を向上することができた。
<b>情報発信への取組</b>	事業実施について、森林所有者や地区代表者に税事業での実施を説明している。 事業実施中は、県民税職を事業箇所にて、県民税での事業実施をPRしている。 事業完了後、当年行った事業においてPRポスターを作製し、庁舎掲示及び大紀町HPにアップ、町広報紙に掲載し税事業のPRを行う。

第11号様式（その1）（参考資料）

## 令和5年度森林環境譲与税事業の実績

事業 番号	事業カテゴリー	事業費	
		(千円)	内、譲与税 (千円)
1	③ 私有林整備	37,970	37,969
2	④ 公有林整備（財産区有林含む）	785	785
3	⑧ 担い手確保	800	800
4	⑨ 林業就業者の育成	700	700
5	⑫ その他（人材育成等）	255	255
6	⑦ その他（森林整備）	207	207
7	⑬ 木造公共建築物の整備等	53,356	16,000
8			
9			
10			
	合計	94,073	56,716

## 【記載要領】

ア. 事業カテゴリーの欄は下記の項目から該当するものを選択し記載するものとする。

事業カテゴリーの項目
① 意向調査の準備作業
② 意向調査
③ 私有林整備
④ 公有林整備(財産区有林含む)
⑤ 森林保護対策
⑥ 林道・林専道の整備等
⑦ その他(森林整備)
⑧ 担い手確保
⑨ 林業就業者の育成
⑩ 専門員の雇用
⑪ 新たな組織の設立
⑫ その他(人材育成等)
⑬ 木造公共建築物の整備等
⑭ 木質バイオマス利用推進
⑮ 森林・林業・木材普及活動等
⑯ その他(木材・普及啓発関係)
⑰ 基金積立(森林整備等)
⑱ 基金積立(人材育成等)
⑲ 基金積立(木材利用等)
⑳ 基金積立(執行残額等)

第11号様式（その2）（評価委員会資料）

## 令和5年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	1. 土砂や流木による被害を出さない森林づくり	市町名	大紀町	新規・継続の別	継続
番号	事業名				
1	渓流倒木等処理事業				
事業費	3,597,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			3,597,000	0	0

1. 事業の目的					
過去の台風や豪雨により発生した山間部渓流沿いの倒木や流木は、今後豪雨が発生した際には、下流へ流出する可能性があり、自然災害を増幅させることが予想される。そのため、継続して倒木、流木の伐採・除去及び、小規模な、渓流内への異常堆積土砂の流出対策を行うことにより、自然災害の拡大化を抑制させる。					
2. 事業実績概要					
【事業内容】					
山間部渓流沿いの危険倒木・流木等を伐採・除去（渓流外に搬出及び流出対策を実施）する。（県事業以外の小規模対象）					
【事業主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】					
大紀町					
【実施箇所及び箇所数】					
9箇所					
【事業量】					
野原奥山西通地区：危険木3本、阿曾奥河内地区：危険木10本、崎下崎地区：危険木5本・異常堆積土砂流出対策1式、崎寒谷地区：危険木15本、錦名護地区：危険木10本、錦浅ヶ谷地区：危険木5本・異常堆積土砂流出対策1式、大内山伊良野新田地区：危険木2本、大内山イヤ谷地区：危険木10本、大内山大谷地区：危険木20本 計危険木80本、異常堆土砂2箇所					
3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】					
【事業実施により期待される効果】					
渓流内倒木等の危険木等を除去することにより、危険木が下流域へ流出し、橋梁等へ衝突及び堆積の危険性を減少させ、渓流外への越水等の影響を防ぐことで、災害の発生や増幅の可能性を低下させることにより、下流域住民の安心・安全が向上した。					
【効果を発揮させるための工夫・取組】					
倒木や流木と共に、渓流内への異常堆積土砂の流出対策を行うことにより、総合的に下流域の安心・安全が向上した。					
【新たな対策・支店及び改善点】					
当初からの継続事業で、地域住民からの要望も多く、今後も計画的に事業を行っていく。					

## 令和 5 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	1. 土砂や流木による被害を出さない森林づくり	市町名	大紀町	新規・継続の別	継続
番号	事業名				
1	溪流倒木等処理事業				
事業費	3,597,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			3,597,000	0	0

## 4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

## 【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	森林組合	補助事業ではない	—	

## 【委託先及び補助対象者等の選定理由】

現場及び事業に精通した大紀森林組合を選定。

## 【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

## 5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

## 【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	1,015戸
期待する波及効果	事業実施する箇所直下の集落だけでなく下流域全体の受益が見込まれる。

## 【公的関与の必要性】

森林所有者による整備が困難な為、町による緊急性の高い箇所を整備する必要がある。

## 【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

森林所有者に、税事業での実施を説明する際に、その他目的に転用しないよう説明した。

## 6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

## 【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
のぼり設置	実施中	施業中にノボリを設置し、県民税での実施を周知する。
ポスター掲示	実施後	当該年度実績を庁舎内に掲示、県民税事業での実施を周知する。
HP掲載	実施後	当該年度実績を大紀町HPに掲載し、県民税事業での実施を周知する。
広報誌掲載	実施後	当該年度実績を広報たいぎに掲載し、県民税事業での実施を周知する。

## 7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

## 8. その他特記事項（受益者の反応等）

地区住民代表者への聞き取りによると、地域の安全性が向上し喜んでいる。

第11号様式（その2）（評価委員会資料）

対策区分	1. 土砂や流木による被害を出さない森林づくり	市町名	大紀町
事業名	溪流倒木等処理事業		

## 4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
溪流内危険木除去・異常堆積土砂流出対策						
野原奥山西通地区	グラップル使用	本	3.00	40,524	121,572	溪流内水有
阿曾奥河内地区	グラップル使用	本	10.00	46,044	460,442	溪流内水有
崎下崎地区	人力	本 式	5.00 1.0	48,246	241,230	溪流内水無 異常堆積土砂
崎寒谷地区	グラップル使用	本	15.00	32,738	491,074	溪流内水有
錦名古屋地区	グラップル・ダンプ使用	本	10.00	40,684	406,835	溪流内水無
錦浅ヶ谷地区	人力	本 式	5.00 1.0	54,181	270,905	溪流内水無 異常堆積土砂
大内山伊良野新田地区	グラップル・ダンプ使用	本	2.00	121,572	243,144	溪流内水有
大内山イヤ谷地区	グラップル・ダンプ使用	本	10.00	54,372	543,724	溪流内水有
大内山大谷地区	グラップル使用	本	20.00	24,554	491,074	溪流内水有
消費税					327,000	
			合計		3,597,000	

第11号様式（その2）（評価委員会資料）

対策区分	1. 土砂や流木による被害を出さない森林づくり	市町名	大紀町	新規・継続の別	継続
------	-------------------------	-----	-----	---------	----

事業名	溪流倒木等処理事業
-----	-----------

7の(1). 写真



写真1  
阿曾奥河内地区 溪流内危険木

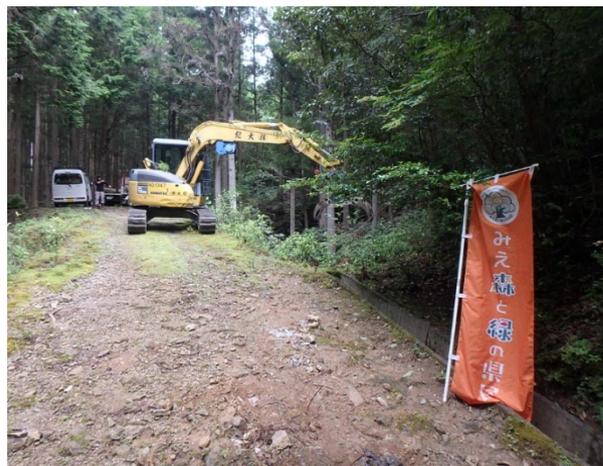


写真2  
阿曾奥河内地区 溪流内危険木 作業中



写真3  
阿曾奥河内地区 溪流内危険木 撤去完了



写真4  
崎寒谷地区 溪流内危険木



写真5  
崎寒谷地区 溪流内危険木 作業中



写真6  
崎寒谷地区 溪流内危険木 撤去完了

第11号様式（その2）（評価委員会資料）

対策区分	1. 土砂や流木による被害を出さない森林づくり	市町名	大紀町	新規・継続の別	継続
------	-------------------------	-----	-----	---------	----

事業名	渓流倒木等処理事業
-----	-----------

7の(1). 写真



写真1  
錦浅ヶ谷地区 渓流内危険木及び異常堆積土砂



写真2  
錦浅ヶ谷地区 渓流内危険木及び異常堆積土砂作業中



写真3  
錦浅ヶ谷地区 渓流内危険木及び異常堆積土砂撤去完了



写真4  
大紀町役場農林課事務所実績掲示状況



写真5  
大紀町役場農林課事務所実績掲示状況

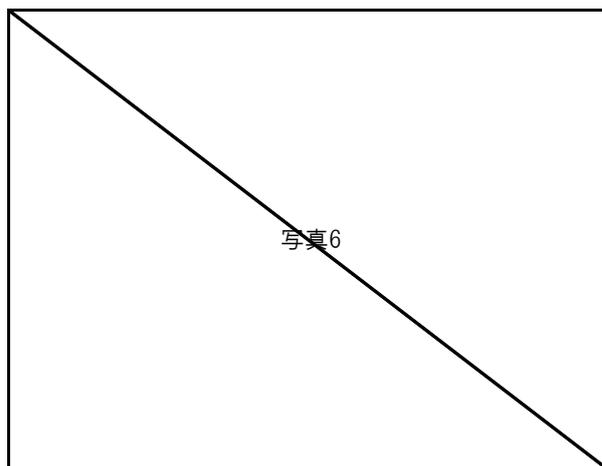


写真6

## 第11号様式（その2）（評価委員会資料）

対策区分	1. 土砂や流木による被害を出さない森林づくり	市町名	大紀町	新規・継続の別	継続
------	-------------------------	-----	-----	---------	----

事業名	渓流倒木等処理事業
-----	-----------

## 7の(2). その他資料

大紀町ホームページ>しごと・産業>農業・林業・水産業>林業>みえ森と緑の県民税

## みえ森と緑の県民税

更新日：2024年03月29日

### みえ森と緑の県民税

森林は土砂災害の防止、水源のかん養など私たちの生活に欠かすことのできない大切な働きを持っています。

しかし、山村地域では過疎化などにより手入れが不足した荒廃森林が増えており、ゲリラ豪雨など異常気象が増加していることも考え合わせると、自然災害の発生リスクが高まっていると考えられます。

皆さんの生命・財産を守る「災害に強い森林づくり」と「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるため、皆様のご理解・ご協力をお願いします。

「みえ森と緑の県民税」のしくみ等については、三重県のホームページをご覧ください。

※「みえ森と緑の県民税」（県税のページ）へ

### 「みえ森と緑の県民税」の使いみちについて

○土砂や流木による被害を出さない森林づくり

土砂や流木によって人家や公共施設、沿岸及び漁業等に被害が及ばないように、洪水緩和や土砂災害防止機能等の森林の働きを発揮させるために必要な対策を進めます。

○暮らしに身近な森林づくり

生活環境の保全や向上のため、県民の暮らしにかかわりの深い森林について必要な対策を進めます。

○森を育む人づくり

「災害に強い森林づくり」を将来に引き継ぎ、また森林やみどりを大切に思い・育む人づくりの為、森林環境教育・木育に携わる人材の育成や、教育活動を進めます。

○森と人をつなぐ学びの場づくり

未就学児や児童生徒をはじめ、様々な県民の森林や木材について学ぶ・ふれあう場を提供し、森と県民との関係を深める対策を進めます。

○地域の身近な水や緑の環境づくり

地域の身近な水や緑の環境づくりを進めるため、森・川・海のつながりを意識した森林や緑、水辺環境を守り、生物多様性を保全する活動支援や、森林や緑と親しむための環境整備等、身近な緑や水辺環境と県民との関係を深める対策を進めます。

### 大紀町で実施した「みえ森と緑の県民税市町交付金事業」の紹介

[令和5年度実施事業 \(PDFファイル: 5.1MB\)](#)

[令和4年度実施事業 \(PDFファイル: 1.8MB\)](#)

[令和3年度実施事業 \(PDFファイル: 2.0MB\)](#)

[令和2年度実施事業 \(PDFファイル: 2.2MB\)](#)

[平成26年度実施事業 \(PDFファイル: 485.0KB\)](#)

### この記事に関するお問い合わせ先

農林課  
〒519-2703 三重県会郡大紀町滝原1610番地1  
電話番号：0598-86-2246  
ファックス：0598-86-3690  
[メールフォームによるお問い合わせ](#)

第11号様式（その2）（評価委員会資料）

対策区分	1. 土砂や流木による被害を出さない森林づくり	市町名	大紀町	新規・継続の別	継続
------	-------------------------	-----	-----	---------	----

事業名	渓流倒木等処理事業
-----	-----------

7の(2). その他資料



## 令和5年度

### みえ森と緑の県民税市町交付金

#### 事業実施状況

(生活環境林整備事業)

(**渓流倒木等処理事業**)

(水道水源林町有林化事業)

(流域防災機能強化対策事業)

(森林再生力強化対策事業)



#### ○生活環境林整備事業○

事業の目的：公共施設や通学路等の、生活に支障を及ぼす恐れのある危険木を除去し、暮らしの安全を図る

大紀町神原地内の生活道路にかかる危険木



危険木の除去により、地域住民の安心安全が向上しました。



大紀町錦地内の町営墓地にかかる危険木



危険木の除去により、地域住民の安心安全が向上しました。



この事業により、上記箇所と外6箇所で合計約133本の危険木を除去し住民の皆様の安心安全が向上しました。



## 第11号様式（その2）（評価委員会資料）

対策区分	1. 土砂や流木による被害を出さない森林づくり	市町名	大紀町	新規・継続の別	継続
------	-------------------------	-----	-----	---------	----

事業名	渓流倒木等処理事業
-----	-----------

## 7の(2). その他資料

## ○渓流倒木等処理事業○

事業の目的：過去の台風、豪雨によって発生した渓流沿いの倒木や流木を除去することにより、時期豪雨の際に下流への流出を未然に防ぐことにより、自然災害拡大の抑制を図る。

大紀町崎地内の渓流内に堆積した、下流に流出の恐れがある危険木及び土砂 危険木及び土砂の除去により安全安心が向上しました。



大紀町大内山地区内の渓流内に堆積した、下流に流出の可能性がある危険木 危険木の除去により安全安心が向上しました。



この事業により、上記2箇所と外7カ所で合計約80本の危険木と異常堆積土砂を除去し住民の皆様の安心安全が向上しました。



## ○水道水源林町有林化事業○

事業目的：大紀町大内山銀治屋谷地区内の水道水源林において、環境整備の為に、町有林化を行い、安心安全な水道水の確保を図る

この事業により、大内山大谷・池ノ谷越地区内の官行造林地302.11haの町有林化を行いました。今後も、町による安心・安全の水道水確保の為、環境整備を促進します。

## ○流域防災機能強化対策事業○

事業目的：三重県と連携し、土壌侵食の恐れのある渓流沿いの森林において、根系や下層植物の発達を促す森林整備を行い、流域における防災機能の強化を図る。

着手前



完成



この事業により、大紀町柏野地区内（14.38ha）の森林整備（間伐）を行いました。

## ○森林再生力強化対策業○

事業目的：森林の有する土砂流出機能等を強化することを目的として、新植地等の森林の再生を妨げる野生鳥獣による被害の軽減を図る。

この事業により、5箇所1=1,233mへの獣害防護柵への支援を行いました。



※大紀町広報紙「広報たいき6月号」にて別途広報予定

第11号様式（その2）（評価委員会資料）

## 令和5年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	大紀町	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
2	生活環境林整備事業					
事業費	4,403,300 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			4,403,000	0	300	

1. 事業の目的	
公共施設や生活道路（通学路等）沿い及び人家裏等の倒木の恐れのある危険木を除去し、通常の暮らしの安全を図る。	
2. 事業実績概要	
【事業内容】	
公共施設や生活道路（通学路等）沿い及び人家裏等の倒木の恐れのある危険木を除去する。	
【事業主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】	
大紀町	
【実施箇所及び箇所数】	
8箇所	
【事業量】	
危険木伐採	
打見・松葉坂地区：危険木30本、神原仲中広地区：危険木7本、滝原榎木谷地区：危険木20本、滝原長者野地区：危険木20本、錦姫坂越地区：危険木20本、錦向井地区：危険木15本、錦船附地区：危険木20本、大内山奥ノ野地区：危険木1本 計133本	
3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】	
【事業実施により期待される効果】	
倒木等の恐れがある危険木を除去することにより、道路等施設利用者の暮らしの安全の向上が期待できる。また、台風等の非常時における通行止めリスクを下げ、住民避難の安全性を向上できる。	
【効果を発揮させるための工夫・取組】	
地区住民の要望により実施しているが、特に危険度が高く緊急を要する箇所から、その中でも公共性の高く、波及効果の高い場所を優先しながら計画的に実施している。	
【新たな対策・支店及び改善点】	
当初からの継続事業で、地域住民からの要望も多く、今後も計画的に事業を行っていく。	

## 令和 5 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	大紀町	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
2	生活環境林整備事業					
事業費	4,403,300 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			4,403,000	0	300	

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】				
【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】				
①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	森林組合	補助事業ではない	—	
【委託先及び補助対象者等の選定理由】				
現場及び事業に精通した大紀森林組合を選定。				
【主な経費内訳】 (別紙のとおり)				
5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】				
【受益者及び、期待する波及効果】				
受益者	278戸			
期待する波及効果	地区住民だけでなく、不特定多数の受益が見込まれる。			
【公的関与の必要性】				
森林所有者による整備が困難な為、町による緊急性の高い箇所を整備する必要がある。				
【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】				
森林所有者に、税事業での実施を説明する際に、その他目的に転用しないよう説明した。				
6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】				
【情報発信の内容】				
手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）		
のぼり設置	実施中	施業中にノボリを設置し、県民税での実施を周知する。		
ポスター掲示	実施後	当該年度実績を庁舎内に掲示、県民税事業での実施を周知する。		
HP掲載	実施後	当該年度実績を大紀町HPに掲載し、県民税事業での実施を周知する。		
広報誌掲載	実施後	当該年度実績を広報たいぎに掲載し、県民税事業での実施を周知する。		
7. 写真及びその他資料				
別紙のとおり				
8. その他特記事項（受益者の反応等）				
地区住民代表者への聞き取りによると、地域の安全性が向上し喜んでいる。				

第11号様式（その2）（評価委員会資料）

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	大紀町
事業名	生活環境林整備事業		

## 4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
危険木伐採・除去						
打見松葉坂地区	高所作業車・グラップル使用	本	30.00	40,317	1,209,498	傾斜地・道路沿及び人家裏
神原中広地区	グラップル使用	本	7.00	54,183	379,282	平地・道路沿い
滝原榎木谷地区	人力	本	20.00	8,312	166,235	平地・道路沿い
滝原長者野地区	高所作業車・グラップル使用	本	20.00	36,495	729,903	平地・道路沿い
錦姫阪越地区	人力	本	20.00	12,038	240,753	傾斜地・道路沿
錦向井地区	高所作業車	本	15.00	31,846	477,685	傾斜地・人家裏
錦船附地区	人力	本	20.00	29,760	595,195	傾斜地・公共施設裏
大内山奥ノ野地区	高所作業車	本	1.00	204,449	204,449	平地・道路沿い
消費税					400,300	
			合計		4,403,300	

第11号様式（その2）（評価委員会資料）

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	大紀町	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	生活環境林整備事業
-----	-----------

7の(1). 写真



写真1  
打見松葉坂地区 生活道路・人家裏 危険木



写真2  
打見松葉坂地区 危険木 作業中



写真3  
打見松葉坂地区 危険木 伐採後



写真4  
神原中広地区 生活道路 危険木



写真5  
神原中広地区 危険木 伐採状況



写真6  
神原中広地区 危険木 伐採後

第11号様式（その2）（評価委員会資料）

対策区分	2.暮らしに身近な森林づくり	市町名	大紀町	新規・継続の別	継続
------	----------------	-----	-----	---------	----

事業名	生活環境林整備事業
-----	-----------

7の(1). 写真



写真1  
錦船附地区 町営墓地裏 危険木



写真2  
錦船附地区 作業中



写真3  
錦船附地区 伐採後



写真4  
大紀町役場農林課事務所実績掲示状況



写真5  
大紀町役場農林課事務所実績掲示状況

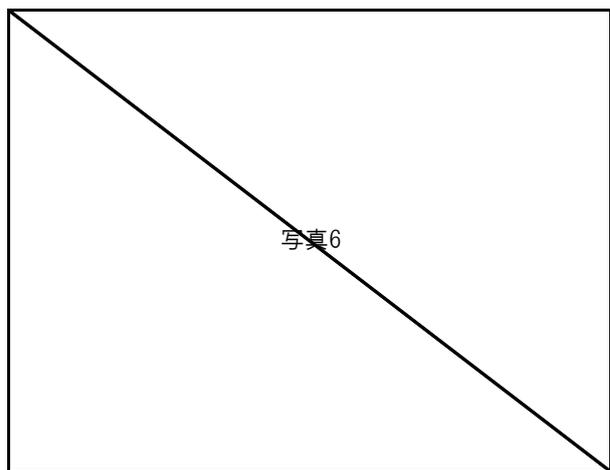


写真6

第11号様式（その2）（評価委員会資料）

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	大紀町	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	生活環境林整備事業
-----	-----------

7の(2). その他資料

大紀町ホームページ&gt;しごと・産業&gt;農業・林業・水産業&gt;林業&gt;みえ森と緑の県民税

## みえ森と緑の県民税

更新日：2024年03月29日

### みえ森と緑の県民税

森林は土砂災害の防止、水源のかん養など私たちの生活に欠かすことのできない大切な働きを持っています。

しかし、山村地域では過疎化などにより手入れが不足した荒廃森林が増えており、ゲリラ豪雨など異常気象が増加していることも考え合わせると、自然災害の発生リスクが高まっていると考えられます。

皆さんの生命・財産を守る「災害に強い森林づくり」と「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるため、皆様のご理解・ご協力をお願いします。

「みえ森と緑の県民税」のしくみ等については、三重県のホームページをご覧ください。

※「みえ森と緑の県民税」（県税のページ）へ

### 「みえ森と緑の県民税」の使いみちについて

○土砂や流木による被害を出さない森林づくり  
土砂や流木によって人家や公共施設、沿岸及び漁業等に被害が及ばないように、洪水緩和や土砂災害防止機能等の森林の働きを発揮させるために必要な対策を進めます。

○暮らしに身近な森林づくり  
生活環境の保全や向上のため、県民の暮らしにかかわりの深い森林について必要な対策を進めます。

○森を育む人づくり  
「災害に強い森林づくり」を将来に引き継ぎ、また森林やみどりを大切に思い・育む人づくりの為、森林環境教育・木育に携わる人材の育成や、教育活動を進めます。

○森と人をつなぐ学びの場づくり  
未就学児や児童生徒をはじめ、様々な県民の森林や木材について学ぶ・ふれあう場を提供し、森と県民との関係を深める対策を進めます。

○地域の身近な水や緑の環境づくり  
地域の身近な水や緑の環境づくりを進めるため、森・川・海のつながりを意識した森林や緑、水辺環境を守り、生物多様性を保全する活動支援や、森林や緑と親しむための環境整備等、身近な緑や水辺環境と県民との関係を深める対策を進めます。

### 大紀町で実施した「みえ森と緑の県民税市町交付金事業」の紹介

[令和5年度実施事業 \(PDFファイル: 5.1MB\)](#)[令和4年度実施事業 \(PDFファイル: 1.8MB\)](#)[令和3年度実施事業 \(PDFファイル: 2.0MB\)](#)[令和2年度実施事業 \(PDFファイル: 2.2MB\)](#)[平成26年度実施事業 \(PDFファイル: 485.0KB\)](#)

### この記事に関するお問い合わせ先

農林課  
〒519-2703 三重県会郡大紀町滝原1610番地1  
電話番号：0598-86-2246  
ファックス：0598-86-3690  
[メールフォームによるお問い合わせ](#)

第11号様式（その2）（評価委員会資料）

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	大紀町	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	生活環境林整備事業
-----	-----------

7の(2). その他資料



## 令和5年度

# みえ森と緑の県民税市町交付金 事業実施状況

**(生活環境林整備事業)**

**(溪流倒木等処理事業)**

**(水道水源林町有林化事業)**

**(流域防災機能強化対策事業)**

**(森林再生力強化対策事業)**



### ○生活環境林整備事業○

事業の目的：公共施設や通学路等の、生活に支障を及ぼす恐れのある危険木を除去し、暮らしの安全を図る

大紀町神原地内の生活道路にかかる危険木



危険木の除去により、地域住民の安心安全が向上しました。



大紀町錦地内の町営墓地にかかる危険木



危険木の除去により、地域住民の安心安全が向上しました。



この事業により、上記箇所と外6箇所で合計約133本の危険木を除去し、住民の皆様の安心安全が向上しました。



第11号様式（その2）（評価委員会資料）

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	大紀町	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	生活環境林整備事業
-----	-----------

7の(2). その他資料

## ○溪流倒木等処理事業○

事業の目的：過去の台風、豪雨によって発生した溪流沿いの倒木や流木を除去することにより、時期豪雨の際に下流への流出を未然に防ぐことにより、自然災害拡大の抑制を図る。

大紀町崎地内の溪流内に堆積した、下流に流出の恐れがある危険木及び土砂 危険木及び土砂の除去により安全安心が向上し；



大紀町大内山地区内の溪流内に堆積した、下流に流出の可能性がある危険木 危険木の除去により安全安心が向上しました。



この事業により、上記2箇所と外7カ所で合計約80本の危険木と異常堆積土砂を除去し住民の皆様の安心安全が向上しました。



## ○水道水源林町有林化事業○

事業目的：大紀町大内山銀治屋谷地区内の水道水源林において、環境整備の為に、町有林化を行い、安心安全な水道水の確保を図る

この事業により、大内山大谷・池ノ谷越地区内の官行造林地302.11haの町有林化を行いました。今後も、町による安心・安全の水道水確保の為、環境整備を促進します。

## ○流域防災機能強化対策事業○

事業目的：三重県と連携し、土壌侵食の恐れのある溪流沿いの森林において、根系や下層植物の発達を促す森林整備を行い、流域における防災機能の強化を図る。

着手前



完成



この事業により、大紀町柏野地区内（14.38ha）の森林整備（間伐）を行いました。

## ○森林再生力強化対策業○

事業目的：森林の有する土砂流出機能等を強化することを目的として、新植地等の森林の再生を妨げる野生鳥獣による被害の軽減を図る。

この事業により、5箇所1=1,233mへの獣害防護柵への支援を行いました。



※大紀町広報紙「広報たいき6月号」にて別途広報予定

第11号様式（その2）（評価委員会資料）

## 令和5年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	2.暮らしに身近な森林づくり		市町名	大紀町	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
3	水道水源林町有林化事業					
事業費	6,930,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			3,643,000	3,287,000	0	

1. 事業の目的	
大紀町大内山鍛冶屋谷地内の水道水源林において、町有林化を行い、環境整備を促進し、安心・安全な水道水の確保を図る。	
2. 事業実績概要	
【事業内容】	
大紀町大内山大谷・池ノ谷越地内の官行造林地の町有林化	
【事業主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】	
大紀町	
【実施箇所及び箇所数】	
水道水源林 1箇所	
【事業量】	
水道水源林（官公造林地）302.11ha	
3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】	
【事業実施により期待される効果】	
水道水源林の町有林化により、環境整備を促進し適正な管理を行うことで、健全な水道水源林の育成が図られた	
【効果を発揮させるための工夫・取組】	
当該森林は官公造林地であり、契約に基づいて今後伐採を行う予定となっていたが、大内山水源林としての重要度が高まっていることから、当該森林を町有林化し、水道水源林としての適切な環境整備を行い、針広混合林を目指すと共に、自然景観の維持・増進を図る。	
【新たな対策・支店及び改善点】	
水道水源林としての森林だけではなく、三重県の景勝地としても、自然環境の維持・増進が図られる。	

## 令和 5 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	大紀町	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
3	水道水源林町有林化事業					
事業費	6,930,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			3,643,000	3,287,000	0	

## 4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

## 【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
その他	その他	補助事業ではない	—	

## 【委託先及び補助対象者等の選定理由】

—

## 【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

## 5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

## 【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	給水戸数206戸
期待する波及効果	三重県の景勝地としての自然景観の維持・増進される

## 【公的関与の必要性】

水道水源林であることから、町により事業実施する必要がある。

## 【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

水道水源林として、町による環境整備を行っていく。

## 6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

## 【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
のぼり設置	実施中	ノボリを設置し、県民税での実施を周知する。
ポスター掲示	実施後	当該年度実績を庁舎内に掲示、県民税事業での実施を周知する。
HP掲載	実施後	当該年度実績を大紀町HPに掲載し、県民税事業での実施を周知する。
広報誌掲載	実施後	当該年度実績を広報たいぎに掲載し、県民税事業での実施を周知する。

## 7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

## 8. その他特記事項（受益者の反応等）



第11号様式（その2）（評価委員会資料）

対策区分	2.暮らしに身近な森林づくり	市町名	大紀町	新規・継続の別	新規
------	----------------	-----	-----	---------	----

事業名	水道水源林町有林化事業
-----	-------------

7の(1). 写真

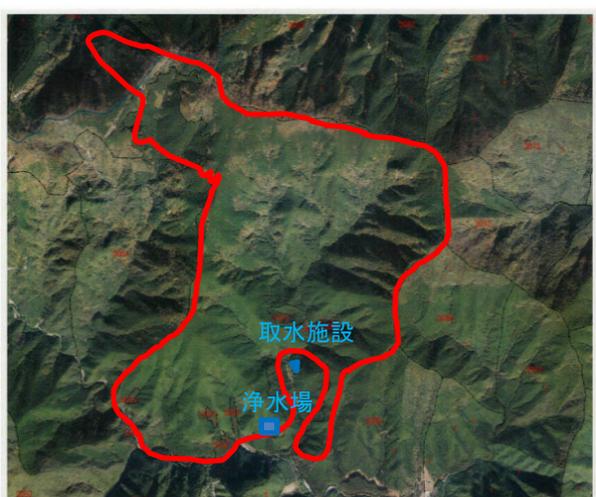


写真1  
大内山大谷・池ノ谷超地内水道水源林  
A=302.11ha

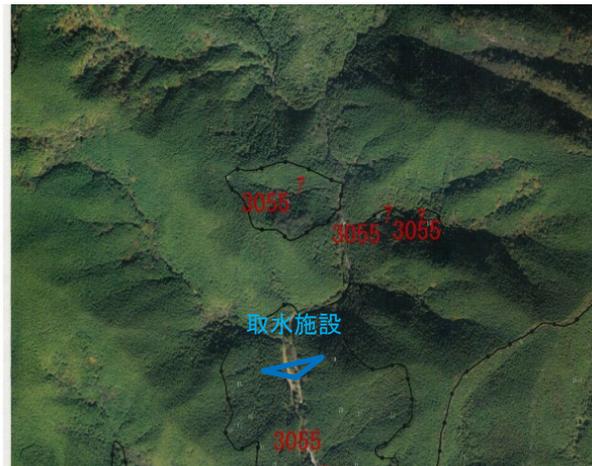


写真2  
取水施設位置図



写真3  
大内山簡易水道米ヶ谷浄水場施設



写真4  
大内山簡易水道米ヶ谷浄水場施設

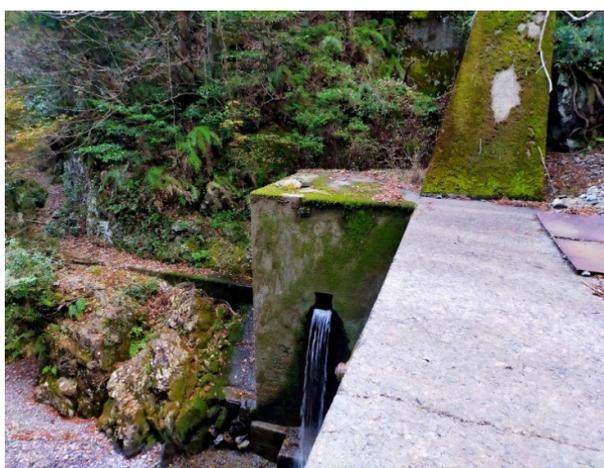


写真5  
取水施設



写真6  
幟設置状況

第11号様式（その2）（評価委員会資料）

対策区分	2.暮らしに身近な森林づくり	市町名	大紀町	新規・継続の別	新規
------	----------------	-----	-----	---------	----

事業名	水道水源林町有林化事業
-----	-------------

7の(1).写真



写真1  
大紀町役場農林課事務所実績揭示状況



写真2  
大紀町役場農林課事務所実績揭示状況

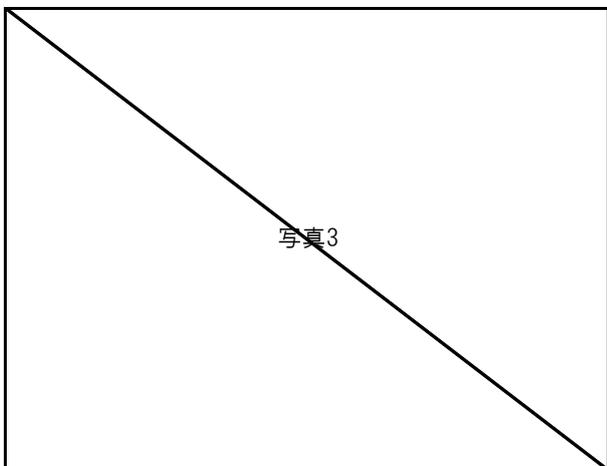


写真3

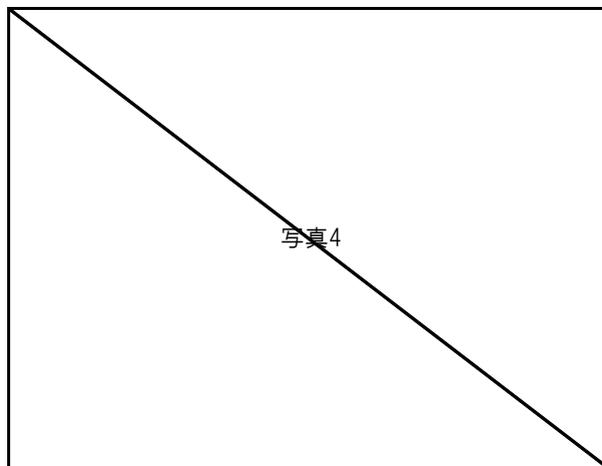


写真4

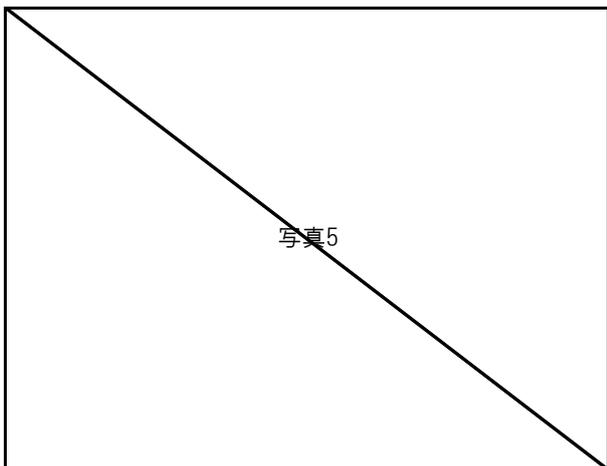


写真5

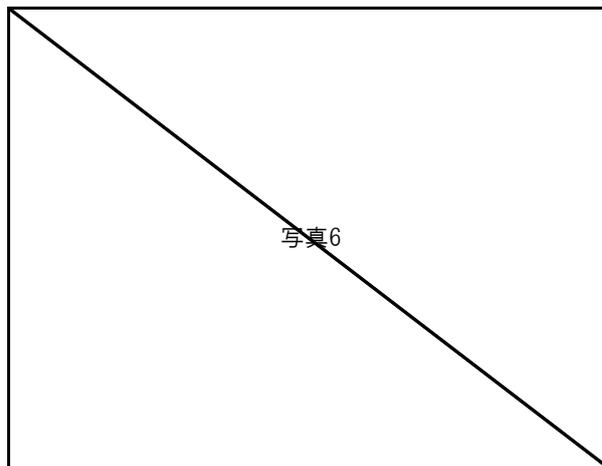


写真6

第11号様式（その2）（評価委員会資料）

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	大紀町	新規・継続の別	新規
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	水道水源林町有林化事業
-----	-------------

## 7の(2). その他資料

大紀町ホームページ&gt;しごと・産業&gt;農業・林業・水産業&gt;林業&gt;みえ森と緑の県民税

## みえ森と緑の県民税

更新日：2024年03月29日

## みえ森と緑の県民税

森林は土砂災害の防止、水源のかん養など私たちの生活に欠かすことのできない大切な働きを持っています。

しかし、山村地域では過疎化などにより手入れが不足した荒廃森林が増えており、ゲリラ豪雨など異常気象が増加していることも考え合わせると、自然災害の発生リスクが高まっていると考えられます。

皆さんの生命・財産を守る「災害に強い森林づくり」と「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるため、皆様のご理解・ご協力をお願いします。

「みえ森と緑の県民税」のしくみ等については、三重県のホームページをご覧ください。

※「みえ森と緑の県民税」（県税のページ）へ

## 「みえ森と緑の県民税」の使いみちについて

○土砂や流木による被害を出さない森林づくり  
土砂や流木によって人家や公共施設、沿岸及び漁業等に被害が及ばないように、洪水緩和や土砂災害防止機能等の森林の働きを発揮させるために必要な対策を進めます。

○暮らしに身近な森林づくり  
生活環境の保全や向上のため、県民の暮らしにかかわりの深い森林について必要な対策を進めます。

○森を育む人づくり  
「災害に強い森林づくり」を将来に引き継ぎ、また森林やみどりを大切に思い・育む人づくりの為、森林環境教育・木育に携わる人材の育成や、教育活動を進めます。

○森と人をつなぐ学びの場づくり  
未就学児や児童生徒をはじめ、様々な県民の森林や木材について学ぶ・ふれあう場を提供し、森と県民との関係を深める対策を進めます。

○地域の身近な水や緑の環境づくり  
地域の身近な水や緑の環境づくりを進めるため、森・川・海のつながりを意識した森林や緑、水辺環境を守り、生物多様性を保全する活動支援や、森林や緑と親しむための環境整備等、身近な緑や水辺環境と県民との関係を深める対策を進めます。

## 大紀町で実施した「みえ森と緑の県民税市町交付金事業」の紹介

[令和5年度実施事業 \(PDFファイル: 5.1MB\)](#)[令和4年度実施事業 \(PDFファイル: 1.8MB\)](#)[令和3年度実施事業 \(PDFファイル: 2.0MB\)](#)[令和2年度実施事業 \(PDFファイル: 2.2MB\)](#)[平成26年度実施事業 \(PDFファイル: 485.0KB\)](#)

## この記事に関するお問い合わせ先

農林課  
〒519-2703 三重県会郡大紀町滝原1610番地1  
電話番号：0598-86-2246  
ファックス：0598-86-3690  
[メールフォームによるお問い合わせ](#)

第11号様式（その2）（評価委員会資料）

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	大紀町	新規・継続の別	新規
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	水道水源林町有林化事業
-----	-------------

7の(2). その他資料



## 令和5年度

### みえ森と緑の県民税市町交付金

#### 事業実施状況

(生活環境林整備事業)

(溪流倒木等処理事業)

**(水道水源林町有林化事業)**

(流域防災機能強化対策事業)

(森林再生力強化対策事業)



#### ○生活環境林整備事業○

事業の目的：公共施設や通学路等の、生活に支障を及ぼす恐れのある危険木を除去し、暮らしの安全を図る

大紀町神原地内の生活道路にかかる危険木



危険木の除去により、地域住民の安心安全が向上しました。



大紀町錦地内の町営墓地にかかる危険木



危険木の除去により、地域住民の安心安全が向上しました。



この事業により、上記箇所と外6箇所で合計約133本の危険木を除去し、住民の皆様の安心安全が向上しました。



第11号様式（その2）（評価委員会資料）

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	大紀町	新規・継続の別	新規
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	水道水源林町有林化事業
-----	-------------

7の(2). その他資料

## ○溪流倒木等処理事業○

事業の目的：過去の台風、豪雨によって発生した溪流沿いの倒木や流木を除去することにより、時期豪雨の際に下流への流出を未然に防ぐことにより、自然災害拡大の抑制を図る。

大紀町崎地内の溪流内に堆積した、下流に流出の恐れがある危険木及び土砂 危険木及び土砂の除去により安全安心が向上し；



大紀町大内山地内の溪流内に堆積した、下流に流出の可能性がある危険木 危険木の除去により安全安心が向上しました。



この事業により、上記2箇所と外7カ所で合計約80本の危険木と異常堆積土砂を除去し住民の皆様の安心安全が向上しました。



## ○水道水源林町有林化事業○

事業目的：大紀町大内山銀冶屋谷地内の水道水源林において、環境整備の為に、町有林化を行い、安心安全な水道水の確保を図る

この事業により、大内山大谷・池ノ谷越地内の官行造林地302.11haの町有林化を行いました。今後も、町による安心・安全の水道水確保の為、環境整備を促進します。

## ○流域防災機能強化対策事業○

事業目的：三重県と連携し、土壌侵食の恐れのある溪流沿いの森林において、根系や下層植物の発達を促す森林整備を行い、流域における防災機能の強化を図る。

着手前



完成



この事業により、大紀町柏野地内（14.38ha）の森林整備（間伐）を行いました。

## ○森林再生力強化対策業○

事業目的：森林の有する土砂流出機能等を強化することを目的として、新植地等の森林の再生を妨げる野生鳥獣による被害の軽減を図る。

この事業により、5箇所1=1,233mへの獣害防護柵への支援を行いました。



※大紀町広報紙「広報たいき6月号」にて別途広報予定



資料 2 - 2

## 南伊勢町

## 令和 5 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 市町別総合評価シート

## 1. 基礎情報「三重県市町要覧 (令和5年度版)」 「令和4年度版森林・林業統計書」による

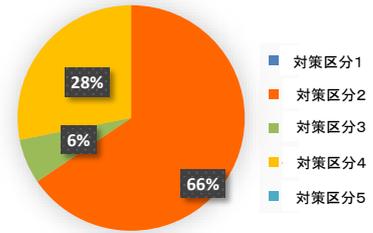
市町名	南伊勢町	三重県
人口 (人)	10,016	1,731,863
年少人口割合 (%) * 1	5.5%	11.6%
森林面積 (ha)	20,629.37	372,030.08
民有林面積 (ha) * 2	20,429.98	348,561.87
森林率 (%)	85.0%	64.0%
都市公園面積 (㎡/人口) * 3	0.2	10.6

\* 1 : 全人口に占める15歳未満の人の割合

\* 2 : 国有林以外の森林 (個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。)

\* 3 : 都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合



## 2. 令和 5 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠・加算枠) 事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額 (円) (当年度交付金額 + 基金活用額)						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	2	危険木除去事業	7,782,500	7,752,000		7,752,000				
2	3	森林環境教育事業	761,200	761,000			761,000			
3	4	保育園木製備品購入事業	3,328,600	3,328,000				3,328,000		
				0						
計			11,872,300	11,841,000	0	7,752,000	761,000	3,328,000	0	0

## 3. 令和 5 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金 (連携枠) (防災枠) 事業実績

事業区分	事業量 (ha・m)	事業費 (円)	内交付金充当額 (円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
森林再生力強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業				

## 4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

<p><b>事業方針</b></p> <p>当町の森林・林業を取り巻く情勢として、総土地面積の約85% (20,630ha) が森林で覆われているにもかかわらず、林業経営体は14経営体しかおらず、林業者が極めて少ない状況となっています。森林の整備についても、整備が行われていない森林が大半であり、森林所有者の関心が低くなっていることが窺えます。そのような状況の中、森林について興味関心が持てるように、公共施設周辺や通学路・避難道等にかかる危険木の除去や、森林環境教育事業による森や海を大切に思う子どもの育成、子どもや町民が森林や木材についてふれあいながら学ぶことができる場づくりなど、町民が将来にわたって安全安心に過ごしながら森や緑と関わる機会を創出することを目的に県民税を活用する。</p>
<p><b>事業実施により期待される効果</b></p> <p>危険木の除去については、自然災害等による倒木を未然に防ぐことで、安全安心して暮らすことに寄与している。 森林環境教育事業については、樹木について知識を得ることや木製品が身近にあることで森と緑の大切さを理解し、森林について考えるきっかけづくりへの寄与を期待している。 保育園木製備品購入事業については、日常的に木材製品とふれあうことにより、木製品のあたたかみを感じることで保育環境の向上につながると考えている。</p>
<p><b>情報発信への取組</b></p> <p>町の広報誌やHP等への掲載することにより、情報発信を行いました。</p>

第 11 号様式 (その 1) (参考資料)

## 令和 5 年度森林環境譲与税事業の実績

事業 番号	事業カテゴリー	事業費	
		(千円)	内、譲与税 (千円)
1	⑧ 担い手確保	0	0
2	⑦ その他 (森林整備)	234	234
3	⑫ その他 (人材育成等)	771	771
4	⑤ 森林保護対策	9,855	9,855
5	⑩ 専門員の雇用	929	929
6	⑰ 基金積立 (森林整備等)	42,994	42,994
7			
8			
9			
10			
	合計	54,783	54,783

## 【記載要領】

ア. 事業カテゴリーの欄は下記の項目から該当するものを選択し記載するものとする。

事業カテゴリーの項目
① 意向調査の準備作業
② 意向調査
③ 私有林整備
④ 公有林整備(財産区有林含む)
⑤ 森林保護対策
⑥ 林道・林専道の整備等
⑦ その他(森林整備)
⑧ 担い手確保
⑨ 林業就業者の育成
⑩ 専門員の雇用
⑪ 新たな組織の設立
⑫ その他(人材育成等)
⑬ 木造公共建築物の整備等
⑭ 木質バイオマス利用推進
⑮ 森林・林業・木材普及活動等
⑯ その他(木材・普及啓発関係)
⑰ 基金積立(森林整備等)
⑱ 基金積立(人材育成等)
⑲ 基金積立(木材利用等)
⑳ 基金積立(執行残額等)

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

## 令和 5 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	南伊勢町	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
1	危険木除去事業					
事業費	7,782,500 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			7,752,000		30,500	

## 1. 事業の目的

公共施設の周辺や通学路、避難道等の危険木を除去することで、災害に強い森林づくりを進めるとともに安心安全な街づくりを目指し、地域住民の生活環境の向上を図る。

## 2. 事業実績概要

## 【事業内容】

地域住民の要望を確認し、公共施設の周辺や通学路、避難道等の危険木の除去を行う。

## 【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】

南伊勢町 (委託契約先: いせしま森林組合、森フォレスト)

## 【実施箇所及び箇所数】

5箇所 (伊勢地・東宮・神津佐・阿曾浦・宿浦地区)

## 【事業量】

神津佐: 避難道路沿い20本、東宮: 避難道路沿い17本、阿曾浦: 避難路沿い2本、伊勢地: 通学路沿い29本、宿浦: 避難路沿い10本

## 3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

## 【事業実施により期待される効果】

通学路、避難道など、町民が日常に多く利用する道路や、緊急時に必要となる道路周辺の危険な状態の木が除去されたことにより、安全安心な街づくりに寄与した。

## 【効果を発揮させるための工夫・取組】

伐採中の道路通行止め等について、地元へ協力をいただき円滑に実施できた。

伐採後の土砂対策について地元の区と協議した。

## 【新たな対策・視点及び改善点】

危険な箇所を事前に対策するため、地元と情報交換を行った。

## 令和5 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	南伊勢町	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
1	危険木除去事業					
事業費	7,782,500 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			7,752,000		30,500	

## 4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

## 【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	森林組合	補助事業ではない		
委託事業	その他	補助事業ではない		

## 【委託先及び補助対象者等の選定理由】

町の規定に基づき、度会町・大紀町・大台町の認定林業事業体から、指名競争入札で選定した。

## 【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

## 5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

## 【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	伊勢地129人 東宮294人 神津佐205人 阿曾浦609人 宿浦651人
期待する波及効果	町民の安全安心な生活に寄与している。

## 【公的関与の必要性】

通学路や避難道の安全は確保する必要があるが、高齢化も進んでおり、また技術が必要であることや、緊急に実施する必要性があるため、所有者による整備は困難であると考えられる。

## 【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

通学路や避難道の安全のための緊急の危険木除去であり、箇所の転用の制限等は設けずに柔軟に対応していきたいと考えている。管理体制については、町や管理者により適切に管理していく。

## 6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

## 【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
HP掲載	今後	みえ森と緑の県民税の説明とともに、令和5年度事業実績として効果が分かりやすいように実施前と実施後の写真と併せて公開する。
広報誌掲載	今後	みえ森と緑の県民税の説明とともに、効果が分かりやすいように実施前と実施後の写真と併せて公開する。

## 7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

## 8. その他特記事項（受益者の反応等）

地元の区長から感謝の言葉をいただいた。



第11号様式(その2)(評価委員会資料)

対策区分	2.暮らしに身近な森林づくり	市町名	南伊勢町	新規・継続の別	継続
------	----------------	-----	------	---------	----

事業名	危険木除去事業
-----	---------

7の(1).写真



写真1  
伊勢地 実施前



写真2  
伊勢地 実施後



写真3  
東宮 実施前



写真4  
東宮 実施後



写真5  
阿曾浦 実施前



写真6  
阿曾浦 実施後

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

## 令和 5 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり		市町名	南伊勢町	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
2	森林環境教育事業					
事業費	761,200 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			761,000		200	

## 1. 事業の目的

森林や緑を大切に思い育む人づくりや、森林への理解を深めるため、小学生を対象に、森林の働きや木材について学びふれあう機会となる森林環境教育を実施する。

## 2. 事業実績概要

## 【事業内容】

町内の小学生を対象に、樹木や木製品について学びふれあうことを目的とした森林環境教育を実施する。

## 【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】

南伊勢町 (委託契約先: いせしま森林組合)

## 【実施個所及び箇所数】

5 箇所 (南島西小学校・南島東小学校・南勢小学校・南島中学校・南勢中学校)

## 【事業量】

南勢小学校: 5年生34名  
 南島西小学校: 1~2年生22名  
 南島東小学校: 1~2年生18名  
 南島中学校: 1年生10名  
 南勢中学校: 1年生32名      計116名及び学校関係者

## 3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

## 【事業実施により期待される効果】

森林や木材にふれあう機会が少ない現代の子どもたちにおいて、木や緑とふれあう貴重な機会であり、森林に興味を持ってもらえることを期待している。  
 樹木について興味を持ってもらえることや、木製品を身近に使用することで森や緑について考えてもらうきっかけづくりとなっている。

## 【効果を発揮させるための工夫・取組】

森のせんせいに授業をしてもらうことで、森林の働きや仕組みを知ってもらうことに効果を期待できた。また、木にふれたり自分で作る達成感を感じてもらった。

## 【新たな対策・視点及び改善点】

事業実施の時期について、学校の意向に沿いながらも新型コロナウイルスの流行が低下している時期で実施した。

## 令和5 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり		市町名	南伊勢町	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
2	森林環境教育事業					
事業費	761,200 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			761,000		200	

## 4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

## 【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	森林組合	補助事業ではない		

## 【委託先及び補助対象者等の選定理由】

物品調達については、実績のあるいせしま森林組合を町の規定に基づき、随意契約を行なった。森林教育の講師は県民税を活用して設立されたみえ森づくりサポートセンターに森のせんせいとして登録がある方を選定した。

## 【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

## 5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

## 【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	南勢小学校：5年生34名 南島西小学校：1～2年生22名 南島東小学校：1～2年生18名 南島中学校：1年生10名 南勢中学校：1年生32名及び学校関係者に対して実施。
期待する波及効果	森や緑を大切に考える子どもの育成

## 【公的関与の必要性】

通常の授業のほか、総合的な学習として森林環境教育を実施することは、これからの地域を支える子どもたちにとって非常に重要である。また森林環境教育を校外の先生が行うことは、子どもたちの関心が格段に高まるなどの効果が期待できる。

## 【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

森林環境教育事業であるため、転用等が想定されず、該当しない。

## 6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

## 【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
HP掲載	今後	みえ森と緑の県民税の説明とともに、令和5年度事業実績として効果が分かりやすいように公開する。

## 7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

## 8. その他特記事項（受益者の反応等）

実際に見て聞いて触って体験をすることで森林を身近に感じていただく事ができた。

第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	南伊勢町
事業名	森林環境教育事業		

## 4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単 位	数 量	単 価	金 額	備 考
講師料	1クラス2限	クラス	5.00	22,000	110,000	5クラス分
準備費	事前打合せ 等	式	5.00	92,400	462,000	5クラス分
交通費		式	1.00	5,378	5,378	各学校 (2名分)
管理費	間接経費	%以内	20.0		114,622	
			小計		692,000	
			消費税及び地方税相当額		69,200	10%
			合計		761,200	

第11号様式(その2)(評価委員会資料)

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	南伊勢町	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	------	---------	----

事業名	森林環境教育事業
-----	----------

## 7の(1). 写真



写真1

南島東小学校



写真2

南勢小学校



写真3

南島西小学校



写真4

南島中学校



写真5

南勢中学校



写真6

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

## 令和 5 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	南伊勢町	新規・継続の別	継続
番号	事業名				
3	保育園木製備品購入事業				
事業費	3,328,600 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			3,328,000		600

1. 事業の目的
<p>子どもが森林や木材についてふれあいながら学ぶことができる場づくりなど、子どもが将来にわたって安全安心に過ごしながら森や緑と関わる機会を創出することを目的とする。</p>
2. 事業実績概要
<p><b>【事業内容】</b></p> <p>保育園に三重県産木材を使用した木製備品を導入する。</p> <p><b>【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】</b></p> <p>南伊勢町 (契約先: いせしま森林組合)</p> <p><b>【実施個所及び箇所数】</b></p> <p>3箇所 (なかよし保育園・さくら保育園・おひさま保育園)</p> <p><b>【事業量】</b></p> <p>屋外用テーブルベンチ3台、角スツール2脚、園児用座卓4台、案内掲示板4台、会議室テーブル7台、看板3枚</p>
3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】
<p><b>【事業実施により期待される効果】</b></p> <p>保育園は日常利用される場である。日常的に緑と関わる機会を創出することで、木材のぬくもりを感じてもらい、心身の健康面での効果が期待される。</p> <p><b>【効果を発揮させるための工夫・取組】</b></p> <p>日常的に利用されるような備品について導入することで、木材のぬくもりを感じてもらえるように工夫した。今後は、保育園では、年長 (年中) クラスを対象に、木材を用いた木工教室の開催。</p> <p><b>【新たな対策・視点及び改善点】</b></p> <p>今後は未導入の保育園等にも利用していきたい。</p>

## 令和5 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり		市町名	南伊勢町	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
3	保育園木製備品購入事業					
事業費	3,328,600 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			3,328,000		600	

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】				
【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】				
①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
物品購入	森林組合	補助事業ではない		
【委託先及び補助対象者等の選定理由】				
町の規定に基づき、松阪以南に本店または営業所を有し、事務用品、保育教材に登録のある業者から、指名競争入札で選定した。				
【主な経費内訳】				
(別紙のとおり)				
5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】				
【受益者及び、期待する波及効果】				
受益者	園児数 156名			
期待する波及効果	木材や森林を身近に感じながら木製備品を利用できる			
【公的関与の必要性】				
町が管理する施設であるため。子どもが木材に触れながら活用していただくことを目的に、公的な整備が必要であった。				
【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】				
公共施設の整備であるため、転用等が想定されず、該当しない。				
6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】				
【情報発信の内容】				
手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）		
HP掲載	今後	みえ森と緑の県民税の説明とともに、令和5年度事業実績として効果が分かりやすいように公開する。		
標識・標柱等設置	実施中	みえ森と緑の県民税を活用したことがわかる看板を設置した。		
7. 写真及びその他資料				
別紙のとおり				
8. その他特記事項（受益者の反応等）				
利用者より、木材のぬくもりを感じることができると感謝の声が上がってきている。				

## 第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	南伊勢町
事業名	保育園木製備品購入事業		

## 4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
屋外用テーブルベンチ (一体型)		台	3.00	200,000	600,000	保育園
角スツール		脚	2.00	52,000	104,000	
園児用座卓		台	4.00	208,000	832,000	
案内掲示板 (キャスター付き)		台	4.00	99,000	396,000	
会議室テーブル (幕板無し)3人掛		台	7.00	128,000	896,000	
看板		枚	3.00	18,000	54,000	
諸経費	運搬費含む	式	1.00	144,000	144,000	
小計					3,026,000	
消費税及び地方税相当額					302,600	10%
合計					3,328,600	

第11号様式(その2) (評価委員会資料)

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	南伊勢町	新規・継続の別	継続
------	-------------------	-----	------	---------	----

事業名	保育園木製備品購入事業
-----	-------------

7の(1). 写真



写真1  
案内掲示板



写真2  
園児用座卓



写真3  
屋外用テーブルベンチ



写真4  
会議室テーブル



写真5

写真5



写真6

写真6

